

県民健康実態調査 報告書

(令和4年度版)

**岐阜県保健環境研究所
岐阜県健康推進課**

県民健康実態調査報告書(令和4年度)

目次

I 報告書について	1
1. 目的と概要	1
2. データの解説	2
3. 令和4年度の結果(まとめ)	11
II 結果	13
1. 結果の概要(令和4年度)	15
(1)分析対象者について	15
(2)メタボリックシンドローム該当者(予備群含む)	17
(3)肥満該当者	19
(4)高血圧症有病者(予備群含む)	21
(5)糖尿病有病者(予備群含む)	23
(6)脂質異常症有病者	25
(7)習慣的喫煙者	27
2. 岐阜県全体	29
(1)健診受診者数及び検査項目別平均値	29
(2)検査項目別該当者割合	30
3. 市町村別集計	37
(1)市町村別検査項目別マップ及び数値表	37
(2)市町村別 標準化該当比の比較	55
4. 医療保険者別集計	98
(1)国民健康保険	98
ア 健診受診者数及び検査項目別平均値	98
イ 検査項目別該当者割合	99
(2)協会けんぽ(全国健康保険協会岐阜支部)	105
ア 健診受診者数及び検査項目別平均値	105
イ 検査項目別該当者割合	106
(3)健保組合	112
ア 健診受診者数及び検査項目別平均値	112
イ 検査項目別該当者割合	113
(4)共済組合	119
ア 健診受診者数及び検査項目別平均値	119
イ 検査項目別該当者割合	120

Ⅲ 詳細情報	127
1. 岐阜県全体	127
(1) 特定健診の状況	127
(2) 生活習慣病重症化予防のためのレセプトと特定健診との突合（市町村別）	131

I 報告書について

1 目的と概要

(1) 目的

岐阜県民の健康状態や生活習慣病の実態を把握し、地域及び医療保険者ごとの健康課題を明らかにすることで、効果的な健康づくり施策の立案・実施に役立てる目的で「県民健康実態調査事業」を実施しています。

(2) 背景と現状

平成 20 年度から、生活習慣病発症の前段階とされるメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査（以下「特定健診」という。）及び特定保健指導が、医療保険者を実施主体として開始されました。特定健診で得られるデータを分析することは、県民の健康づくりや生活習慣病予防対策を講ずる上で非常に重要であると考えられます。そこで、岐阜県では平成 28 年度から県内の医療保険者の協力を得て、特定健診データを集約・分析する「県民健康実態調査事業」を開始し、市町村単位や医療保険者ごとの健康課題の把握に取り組んできました。

しかしながら、従来の手法では、協力を得られた医療保険者のデータに限られ、令和 2 年度までの各年度において特定健診全対象者の約 35%程度（約 30 万人）の解析に留まっていました。

こうした状況を踏まえ、令和 3 年度版からは厚生労働省が管理する「匿名医療保険等関連情報データベース（以下「NDB」という。）」を活用することとし、県民のほぼ全ての特定健診データと、それに紐づく医療情報を用いた分析が可能となりました。NDB には、特定健診情報とレセプト情報が匿名化された形で一元的に収集・管理されており、健診データと医療情報を一体的に把握することが可能です。

本報告書は、令和 4 年度の特定健診データとレセプト情報を用いた解析を行い、県民の健康状態や生活習慣病の状況に加え、医療機関の受診状況等について、分析を行いました。

(3) 今後の方針

NDB の活用により、従来に比べて収集可能なデータの網羅性が向上するとともに、健診結果とレセプト情報を組み合わせた分析が可能となりました。今後は、県民の健康・生活習慣病の傾向や医療の利用状況などをより詳細に分析し、予防施策や健康づくりの効果を見える化していく等内容の充実を引き続き図り、岐阜県や各市町村がより効果的な健康施策を立案できるよう支援するとともに、県民の皆様が自身の健康管理に役立てられる情報提供を進めてまいります。

2 データの解説

(1) 本報告書の結果を活用する場合の注意点について

- 1 本報告書は、厚生労働省の管理する NDB からデータを得て、その分析結果をまとめたものです。分析に用いた特定健診に関するデータ数は、岐阜県の受診対象者の約5割をカバーしていると推定されます。したがって、本報告書の結果は、必ずしも岐阜県あるいは市町村など、分析対象集団の全体像を反映しているものではなく、該当年度に特定健診を受診された方の結果に基づく集計であることをご了解ください。
- 2 本報告書での医療保険者の区分は、医療保険制度の種類を表す「法別番号」により、国民健康保険、全国健康保険協会（協会けんぽ）、健康保険組合（健保組合）、共済組合の4つとしています。本報告書の結果を活用する際には、医療保険者ごとに、受診者数、年齢構成、受診率が異なること、個別健診や集団健診、実施時期、健診受診時間等の健診体制が異なることを念頭において使用してください。また、これらの違いにより、本報告書の結果のみから、地域住民全体の健康状態を推定することはできないことをご了解ください。
- 3 本報告書では、健診項目ごとに分析を行っているため、全項目を受診していない方のデータも分析の対象としています。そのため各分析項目で、分析対象者の総数が異なることがあります。
- 4 平成20年11月18日厚生労働省令第159号により、平成21年4月からは実施年度中に75歳になる75歳未満の者も特定健診の対象に含まれることになりましたが、統計処理を行う上で、年度内年齢が40歳以上75歳未満の者を分析対象としています。
- 5 本報告書は、個人情報情報を削除したデータによる分析のため、総合的な評価を行うことはできませんが、「個人」レベルでの評価を行うことはできません。そのため「個人」の評価や「特定保健指導参加者」の評価については、医療保険者が主となり、検査データと特定保健指導のデータを使いながら取り組んでください。
- 6 本報告書に掲載している数値は四捨五入のため、内訳合計が総数と合わないことがあります。
- 7 本報告書では血糖検査について、空腹時血糖とHbA1cの両方を測定している場合、「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」（令和6年4月 厚生労働省健康・生活衛生局）に従い、空腹時血糖の結果を優先して該当者の判定に用いています。
- 8 平成25年度から、HbA1cの測定値が従来用いられてきたHbA1c(JDS)からHbA1c(NGSP)に変更されました。このため、本報告書で用いたHbA1c値は全てHbA1c(NGSP)です。
- 9 本報告書では、結果の公表によって特定の個人が第三者に識別されないよう、「匿

名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）の最小集計単位の原則に従い、該当者数などの数値が10未満の場合には、マスク処理を行っています（該当数値を推計可能な他の数値も含めてマスク処理します。ただし、該当数値が0の場合には原則表示します）。また、市町村ごとでの集計を行う場合には、以下のとおりとします。

- ア）人口2,000人未満の白川村については、最小集計単位の原則上は該当者数が表示できませんが、政策的な有益性を理由に、厚生労働省から特別に承諾を得られたことから、人口2,000人以上25,000人未満の市町村と同じ取扱いとします。
- イ）人口2,000人以上25,000人未満の市町村については、該当者数などの数値が20未満の場合には、マスク処理を行います（該当数値が0の場合は原則表示します）。
- ウ）人口25,000人以上の市町村では、該当者数などの数値が10未満の場合には、マスク処理を行います（該当数値が0の場合は原則表示します）。

（2）検査項目別平均値及び標準偏差の作成方法について

本報告書では、県全体及び各医療保険者について検査項目ごとの平均値と標準偏差を記述しています。その算出方法については以下のとおりとなっています。

1 資料

分析には、該当年度に特定健診を受診した、岐阜県内に住所情報を有する、40歳以上75歳未満のデータを用いました。なお、項目ごとに分析を行っているため、全項目を受診していない方のデータも分析対象としました。そのため、項目ごとに対象人数が異なります。

2 検査項目

分析対象とした項目は、身長、体重、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c としました。

なお BMI については、身長及び体重の両データを基に再計算した値を分析対象としました。

（3）有病者等該当割合の作成方法について

本報告書では、検査データを基に各種生活習慣病について有病者（予備群を含む場合もあります）に該当する者と該当しない者とに区分し、その集計結果を記述しています。その判定方法等については以下のとおりとなっています。

1 資料

該当年度に特定健診を受診した、岐阜県内に住所情報を有する、40歳以上75歳未満のデータを用いました。なお、項目ごとに分析を行っているため、全項目を受診していない方のデータも分析対象としました。

ただし、高血圧症、糖尿病、脂質異常症の判定においては、服薬の有無が未入力

の方や、検査項目の不足等の理由により判定が不可能な方は、分析対象から除外しました。また、使用するデータの範囲は、「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」（令和6年4月 厚生労働省健康・生活衛生局）のデータ範囲のチェックを使用し、その範囲外のデータは除外しました（下図「分析に使用したデータの範囲」参照）。

2 検査項目と判定区分の設定

分析対象とした項目は、身長、体重、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c 及び標準的な質問票としました。なお BMI については、身長及び体重の両データを基に再計算した値を分析対象としました。

判定区分は、「都道府県健康増進計画改定ガイドライン（確定版）」（平成 19 年 4 月 厚生労働省健康局）の参酌標準を使用しました（下図「生活習慣病該当者の判定区分とその定義」参照）。

なお糖尿病の年齢別該当者割合（県全体）については、「標準的な健診・保健指導プログラム（令和 6 年度版）」（令和 6 年 4 月 厚生労働省健康・生活衛生局）を参考に、保健指導レベルを超える区分についても調査を行いました。

分析に使用したデータの範囲

項目	単位	最小値 — 最大値
身長	cm	100 – 250
体重	kg	20 – 250
BMI	kg/m ²	10 – 99.9
腹囲	cm	40 – 250
収縮期血圧	mmHg	60 – 300
拡張期血圧	mmHg	30 – 150
中性脂肪	mg/dL	10 – 2000
HDL コレステロール	mg/dL	10 – 500
LDL コレステロール	mg/dL	20 – 1000
空腹時血糖	mg/dL	20 – 600
HbA1c(NGSP)	%	3 – 20

生活習慣病該当者の判定区分とその定義

判定区分	区分の定義
メタボリックシンドローム該当者	腹囲が男性は85cm以上、女性は90cm以上であり、かつ下記の項目に2つ以上該当する者 ① 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、もしくはコレステロールを下げる薬を服用 ② 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬を服用 ③ 空腹時血糖110mg/dl以上、またはHbA1c 6.0%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用
メタボリックシンドローム予備群該当者	腹囲が男性は85cm以上、女性は90cm以上であり、かつ下記の項目のうち1つに該当する者 ① 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、もしくはコレステロールを下げる薬を服用 ② 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬を服用 ③ 空腹時血糖110mg/dl以上、またはHbA1c 6.0%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用
肥満該当者	次の3項目のいずれかに該当する者 ① BMIが25以上かつ腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上 ② BMIのみ25以上 ③ 腹囲のみ男性85cm以上、女性90cm以上
高血圧症有病者	収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧が90mmHg以上の者、もしくは血圧を下げる薬を服用する者
高血圧症予備群該当者	① 収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満、かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者 ② 収縮期血圧が140mmHg未満、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者 ただし、血圧を下げる薬を服用する者を除く

判定区分	区分の定義
糖尿病有病者	空腹時血糖126mg/dl以上、またはHbA1c 6.5%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者
糖尿病予備群該当者	空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満、またはHbA1c 6.0%以上6.5未満の者 ただしインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者を除く
(※)糖尿病について保健指導判定値を超えるレベルと判断される者	空腹時血糖100mg/dl以上126mg/dl未満、またはHbA1c 5.6%以上6.5未満の者 ただしインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者を除く
脂質異常症有病者	中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはLDLコレステロール140mg/dl以上、もしくはコレステロールを下げる薬を服用する者
習慣的に喫煙している者	「合計100本以上、または6ヶ月以上吸っている者」であり、「最近1ヶ月間も吸っている者」

(4) 標準化該当比について

本報告書では、各市町村における生活習慣病該当者の分布状況を調査するため、市町村毎に各生活習慣病についての標準化該当比を算出し、その集計結果をグラフ及びマップ等で記述しています。その算出方法等については以下のとおりとなっています。

ア 資料

岐阜県全体のデータとして、該当年度に特定健診を受診した、岐阜県内に住所情報を有する、40歳以上75歳未満のデータを用いました。

イ 検査項目と判定区分の設定

分析対象とした項目は、メタボリックシンドローム、肥満、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、習慣的喫煙者としました。

判定区分は、「(3) 有病者等該当割合の作成方法について」の「イ 検査項目と判定区分の設定」と同様としました。

ウ 標準化該当比の計算

生活習慣病の発症率は、年齢によって異なることが考えられます。例えば 40 歳代の多い地域と 70 歳代の多い地域とでは、その年齢構成の違いが要因となって発症率に差が生じることが考えられます。そのため各市町村によって年齢構成が異なることを補正する目的で、標準化死亡比 (SMR) の計算方法に準じ、各検査項目について有病者 (予備群を含む場合もある) に該当する者の「標準化該当比」(岐阜県全体の結果 (基準) と当該市町村の結果を比較した値) を算出しました。

その算出のための式は、以下の通りです。

$$\theta_i = \frac{D_i}{E_i} \times 100$$

θ_i : i 地域の標準化該当比 D_i : i 地域の有病者判定該当者数 E_i : i 地域の期待該当者数

$$E_i = \sum_{k=1}^K (n_{ik} \times P_k)$$

n_{ik} : i 地域の性別 k 年齢階級の受診者(判定可能)数

P_k : 岐阜県全体の性別 k 年齢階級別該当者の出現率

※上記の算出式について

以下のような受診者データを有する架空の自治体 (X 市) を例とした場合。

	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70-74 歳
X 市の受診者数(検査を受けた人数)	A(人)	B(人)	C(人)	D(人)	E(人)	F(人)	G(人)
県全体の受診者数(検査を受けた人数)	H(人)	I(人)	J(人)	K(人)	L(人)	M(人)	N(人)
県全体の有病者判定該当者数(当該検査の結果から有病者の区分に該当した人数)	O(人)	P(人)	Q(人)	R(人)	S(人)	T(人)	U(人)

この X 市の期待該当者数を上記の算定式を用いて算出すると、

$$A \times \frac{O}{H} + B \times \frac{P}{I} + C \times \frac{Q}{J} + D \times \frac{R}{K} + E \times \frac{S}{L} + F \times \frac{T}{M} + G \times \frac{U}{N} \quad (\text{人}) \quad \text{となります。}$$

そして X 市の有病者判定該当者数を仮に Y (人) とすると、X 市の標準化該当比は、

$$\frac{Y}{A \times \frac{O}{H} + B \times \frac{P}{I} + C \times \frac{Q}{J} + D \times \frac{R}{K} + E \times \frac{S}{L} + F \times \frac{T}{M} + G \times \frac{U}{N}} \times 100 \quad \text{となります。}$$

エ 区間推定

各市町村間の年齢構成の違いを補正する目的で「標準化該当比」を算出しましたが、それでもなお各市町村間での人口の違いによる影響を受けることが考えられます。上記の算定式で得られる期待該当者数は、人口の少ない市町村では必然的に小さくなります。「標準化該当比」の算出においてはこの期待該当者数は分母となるため、分母の小さくなる人口の少ない市町村の方が、分母の大きくなる人口の多い市町村よりも、有病者判定該当者数の増減の影響を受けやすくなり、測定誤差を生じる可能性は高くなります。そのため区間推定により、岐阜県内全住民のデータを調査した場合に得ることのできる標準化該当比（母集団の標準化該当比）を推定し、県全体の基準との比較を行いました。

区間推定については、国立保健医療科学院の横山徹爾先生が公開している「標準化該当比計算シート」を参考に、95%上限値及び 95%下限値を算出し、その間を 95%の確からしさで「母集団の標準化該当比」を含んでいると考えられる範囲（95%信頼区間）としました。

オ データの読み方と注意点について

標準化該当比は、岐阜県全体を 100（基準）としているため、当該市町村の標準化該当比が 100 より大きい場合は、当該市町村での該当者の数が県全体（基準）よりも多く、100 より小さい場合は、当該市町村での該当者の数が県全体（基準）よりも少ないことを意味しています。

95%信頼区間は、統計上の手法を用いて 95%の確からしさで「母集団の標準化該

当比（この場合は、岐阜県内全住民のデータを調査（全数調査）した結果得られる標準化該当比を意味する）」を含むと考えられる範囲を算出したものであり、95%上限値及び95%下限値とは、その上限と下限をそれぞれ表しています。例えば、ある市町村の標準化該当比の95%下限値が100以上の場合、全数調査した時の当該市町村における該当者の数は、県全体（基準）よりも少なくなる可能性が極めて低いことになります。このことは逆説的に、全数調査時における当該市町村の該当者の数が県全体（基準）よりも多いという結果について、偶然では無く可能性として十分起こり得る（有意である）ことを示します。

それとは逆に95%上限値が100以下の場合、全数調査時における当該市町村の該当者の数が県全体（基準）よりも少ないという結果について、偶然では無く可能性として十分起こり得る（有意である）ことを示します。

一方、95%上限値が100以上でかつ95%下限値が100以下である市町村の場合、全数調査時における当該市町村の該当者の数が、県全体（基準）よりも多いことも少ないことも可能性として両方起こり得る（有意差はみられない）ので、どちらとも言えないということになります。

※95%上限値が100以上でかつ95%下限値が100以下である市町村の区分について

この場合上記のとおり、全数調査時における該当者の数が県全体（基準）よりも多いか少ないかを明確に論じることはできません。ただし県民の方々への情報提供ということを考慮し、この範囲に区分される市町村を、今回のデータから算出した標準化該当比（標本の標準化該当比）が100以上であるか否かで便宜的にあえて2つに分けております。そのため本報告書データの読み方については、下記「▽と▲の区分標記に関する注意点」をご参照ください。

本報告書では、上記によって求めた数値を下記のとおり4段階に区分しました。

「標準化該当比<100」かつ「95%信頼区間の上限<100」の時・・・

県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない（▽▽）

「標準化該当比<100」かつ「95%信頼区間の上限≥100」の時・・・

今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある（▽）※

「標準化該当比>100」かつ「95%信頼区間の下限≤100」の時・・・

今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある（▲）※

「標準化該当比>100」かつ「95%信頼区間の下限>100」の時・・・

県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い（▲▲）

カ マップ化及びグラフ化について

県内地域の標準化該当比の傾向を見るために、メタボリックシンドローム該当者（予備群含む）、肥満該当者、高血圧症有病者（予備群含む）、糖尿病有病者（予備群含む）、脂質異常症有病者、習慣的喫煙者の項目について、マップ化とグラフ化を行いました。なおマップ化の色分けは次の通りとしました。

凡例	色	区分
▽▽		県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽※		今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲※		今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲		県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

※▽と▲の区分標記に関する注意点

今回の計算で得られた標準化該当比では、県全体（基準）よりも低い結果、あるいは県全体（基準）よりも高い結果となりました。しかし、岐阜県内の全住民データを調査した場合に得ることのできる標準化該当比（母集団の標準化該当比）を推定したところ、その値は県全体（基準）よりも高くなること、あるいは低くなること、両方の可能性があります。そのため、再度データ収集を行って別の標本（例えばデータ数や保険者の数が異なるなど）で計算すると、標準化該当比は逆の結果、すなわち県全体（基準）よりも高い結果、岐阜県全体よりも低い結果にそれぞれなる可能性もまたあります。そのため今回の結果が偶然である可能性が高いということになり、統計学的にはこれらの区分は「県全体（基準）よりも高いか低いかはどちらとも言えない」という解釈になることにご留意ください。

キ 標準化該当比の経年変化について

各市町村における生活習慣病該当者の年度毎の変化を調査するため、標準化該当比の経年変化をグラフ化しました。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率（県全体の有病者判定該当者数(当該検査の結果から有病者の区分に該当した人数)を県全体の受診者数(検査を受けた人数)で除したもの)が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられます。そのため基準は該当年度ではなく、令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率に固定し、これに各年度各市町村の年齢階級毎の受診者数を掛けて期待該当者数を算出のうえ、標準化該当比を算出（上記（４）ウの算出式の場合、HからUは令和元年度データを用い、その他AからG及びYは各年度のデータを用いる）しました。

3 令和4年度の結果（まとめ）

本調査は、特定健診受診者約 48 万 1 千人分（岐阜県の特定健診受診者総数の約 99% に相当）のデータを用いて分析を行い、県民の生活習慣病の状況や地域差、医療機関の受診状況等について把握しました。

（1）優先的に対応すべき健康課題

①若年期からの肥満・メタボリックシンドロームへの対策

男性においては、40 代前半からメタボリックシンドローム該当者（予備群を含む）が約 3 割、肥満が約 4 割と高い水準にあり、その割合は加齢とともに増加する傾向がみられます。このことから、若年期からの肥満及びメタボリックシンドローム対策が重要であり、若年期からの生活習慣の改善に向けた早期介入、対策が必要であると考えられます。

②中高年期の重症化予防対策

高血圧症及び糖尿病の有病者割合は、男女ともに加齢に伴い顕著に増加しており、特に 60 歳以上では高血圧有病者が大きく増加する状況がみられます。

また、これらの疾患に加え、脂質異常症を併せ持つ者も多く、複数の生活習慣病を有する者への対応が重要と考えられます。これらの結果から、中高年期における重症化予防のための継続的な支援とともに、医療機関と連携した対応の強化が必要であると考えられます。

③特定健診未受診者対策

高血圧症、糖尿病及び脂質異常症について、特定健診データとレセプト情報との突合を行ったところ、これら生活習慣病についての通院歴が有る者のうち、50%以上が特定健診を未受診である結果となりました。（なお、NDB へのレセプト情報の格納時期に関連して、解析は令和 3 年度のデータを用いて行いました。）

これらの未受診者は健康状態の把握が困難であり、保健指導につなげにくいことから、保険者や医療機関との連携による受診勧奨の強化が重要な課題であると考えます。

（2）地域による特徴

標準化該当比の分析から、生活習慣病の分布には地域差がみられます。メタボリックシンドローム及び肥満については、県西部を中心に該当者が多い市町村がみられる一方、県北部及び東部では比較的少ない傾向がみられます。

高血圧症については、県の東部及び西部において該当者が多い市町村がみられる一方、北部では少ない傾向がみられます。糖尿病については、県南部に該当者が多い市町村がみられるものの、全体的には市町村間の差は比較的小さいです。脂質異常症については大きな地域差はみられにくいものの、女性では南部でやや高い傾向がみられます。

さらに、習慣的喫煙者については、男女ともに県北部から東部にかけて該当者が多い市町村がみられます。

これらのことから、地域ごとの健康課題の特徴を踏まえた、重点的かつきめ細やかな対策が必要であると考えられます。

(3) その他の健康課題

生活習慣に関する課題としては、まず習慣的喫煙者が男性で約3割と高い水準にあります。加齢とともに減少する傾向はみられるものの、高齢者においても一定割合で喫煙が継続されている状況です。このため、引き続き禁煙支援を推進していく必要があります。

また、女性においては低体重に該当する者の割合が多く、多くの市町村で10%以上となっており、将来的なフレイルや骨粗しょう症のリスクを踏まえた栄養指導の重要性が示唆されます。

加えて、特定保健指導の対象者については、男性のおよそ17%～25%、女性のおよそ5%～11%が動機付け支援以上に該当しています。特に男性では積極的支援の対象者の割合が高い傾向がみられます。このことから、ハイリスク者への個別支援の充実とともに、行動変容を促す効果的な保健指導の実施が求められます。

さらに、特定健診データとレセプト情報を突合した分析により、生活習慣病に関する医療の受診状況と健康状態を一体的に把握できるようになりました。高血圧では重症域に該当する者のうち未治療者が一定数存在し、また糖尿病では治療中であっても健診未受診の者がみられます。これらの結果から、健診から医療への受診勧奨に加え、医療機関との情報共有を図りながら一体的な支援を行うことが重要であると考えられます。

(4) 総括

以上の結果から、本県においては、若年期からの肥満対策、中高年期における生活習慣病の発症及び重症化予防、並びに医療機関と連携した特定健診未受診者対策が重要な課題であると考えられます。

今後は、地域特性に応じた重点的な対策を講じるとともに、NDB データを活用した対象者の把握及び継続的な支援を強化し、より効果的な健康づくり施策の推進を図ってまいります。

Ⅱ 結 果

1 結果の概要（令和4年度）

（1）分析対象者について

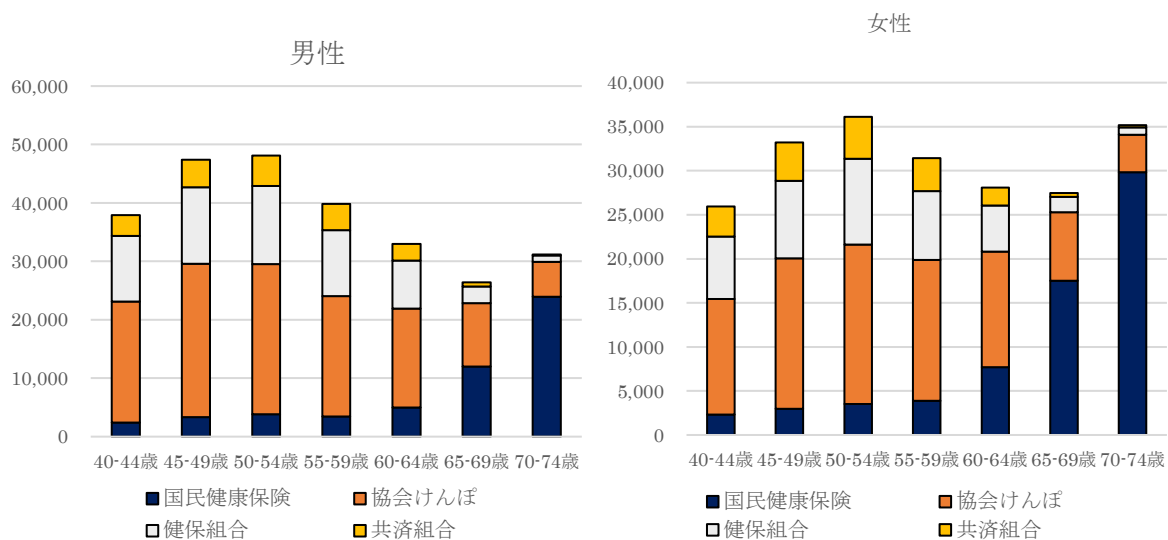
今回の報告書では、令和元年度から令和4年度までの間に特定健診を受診した岐阜県に住所情報のある方を解析対象としました。

データ総数はいずれの年度も50万件近くに達しており、厚生労働省の公表する岐阜県の特定健診者総数の約99%をカバーしています（参考a）。この高いカバー率から、岐阜県の年齢階級別人口との比較を行い、特定健診受診率を推定したところ、男性よりも女性の受診率が低く、また年齢が高くなるほど受診率に減少傾向がみられました（参考b、c、d）。

表1 分析対象者の性別保険者別年齢構成表

		令和4年度 年代別							合計
		40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
男性	国民健康保険	2,436	3,363	3,843	3,466	4,997	11,991	23,939	54,035
	協会けんぽ	20,684	26,226	25,705	20,571	16,915	10,835	5,971	126,907
	健保組合	11,252	13,085	13,369	11,282	8,212	2,880	1,094	61,174
	共済組合	3,543	4,743	5,188	4,508	2,874	703	185	21,744
	合計	37,915	47,417	48,105	39,827	32,998	26,409	31,189	263,860
女性	国民健康保険	2,307	2,989	3,508	3,892	7,714	17,500	29,831	67,741
	協会けんぽ	13,146	17,077	18,124	15,978	13,108	7,776	4,260	89,469
	健保組合	7,073	8,784	9,723	7,807	5,224	1,744	815	41,170
	共済組合	3,416	4,349	4,752	3,765	2,048	437	252	19,019
	合計	25,942	33,199	36,107	31,442	28,094	27,457	35,158	217,399

図1 分析対象者の性別保険者別年齢構成グラフ



<参考> a 岐阜県の特定健診受診者総数に対する解析データのカバー率について

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
※特定健康診査受診者数	483,514	481,022	502,448	489,440
解析対象データ数(再掲)	482,404	475,952	497,254	481,259
カバー率(%)	99.8	98.9	99.0	98.3

※「特定健康診査・特定保健指導・メタボリックシンドロームの状況（都道府県別一覧）」（厚生労働省）

<参考> b 岐阜県人口（令和2年国勢調査結果）

	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	合計
男性	63,022	74,849	64,444	60,061	57,258	63,709	73,040	456,383
女性	60,888	73,412	65,247	63,060	61,244	69,458	80,010	473,319
総数	123,910	148,261	129,691	123,121	118,502	133,167	153,050	929,702

<参考> c （表1の再掲）分析対象者合計

令和4年度								
	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	合計
男性	37,915	47,417	48,105	39,827	32,998	26,409	31,189	263,860
女性	25,942	33,199	36,107	31,442	28,094	27,457	35,158	217,399
総数	63,857	80,616	84,212	71,269	61,092	53,866	66,347	481,259

<参考> d 特定健診受診率の見積もり（c表/b表×100）

令和4年度								
	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	合計
男性	60.2	63.4	74.6	66.3	57.6	41.5	42.7	57.8
女性	42.6	45.2	55.3	49.9	45.9	39.5	43.9	45.9
総数	51.5	54.4	64.9	57.9	51.6	40.4	43.3	51.8

(2) メタボリックシンドローム該当者（予備群含む）

メタボリックシンドローム該当者及びその予備群は女性よりも男性に多くみられます。

また、メタボリックシンドローム該当者の割合は加齢とともに増加する傾向がみられ、こうした傾向は各保険者ともに共通しています。これらの傾向は前回までの報告書の結果と概ね一致しています。（年齢階級によっては、保険者間の該当者割合に差がみられますが、保険者によってデータ総数にバラつきがあるため、この高低のみをもって一概に判断することは難しいと考えられます。）

* メタボリックシンドローム該当者

腹囲男性 85cm 以上、女性 90cm 以上かつ下記の項目の 2 つ以上に該当する者

① 中性脂肪 150mg/dl 以上、または HDL コレステロール 40mg/dl 未満、もしくはコレステロールを下げる薬を服用

② 収縮期血圧 130mmHg 以上、または拡張期血圧 85mmHg 以上、もしくは血圧を下げる薬を服用

③ 空腹時血糖 110mg/dl 以上、または HbA1c 6.0% 以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用

* メタボリックシンドローム予備群

腹囲男性 85cm 以上、女性 90cm 以上かつ上記の項目の 1 つに該当する者

図2-1 メタボリックシンドローム該当者の割合

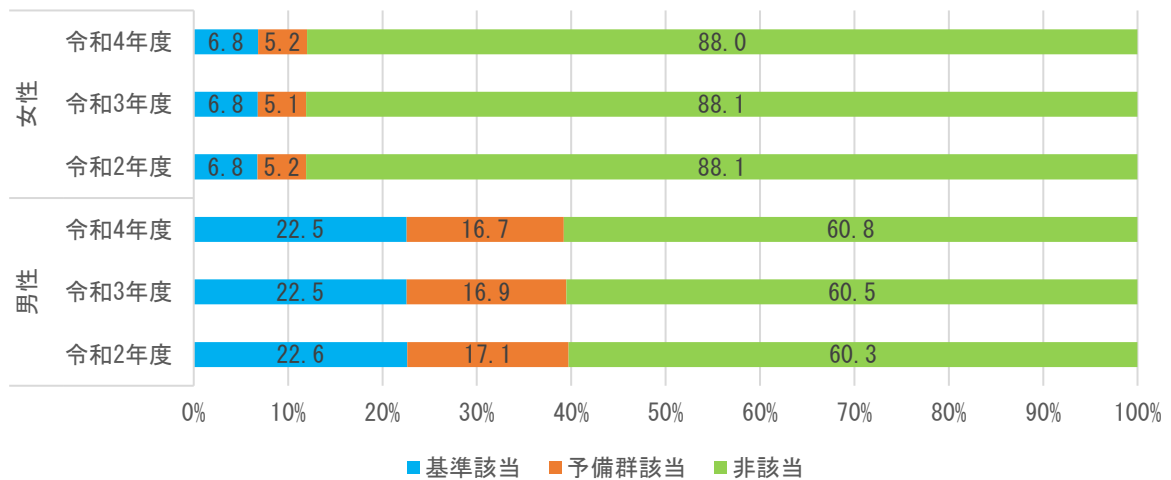


図2-2 年代別医療保険者別メタボリックシンドローム該当者の割合
(令和4年度(男性))

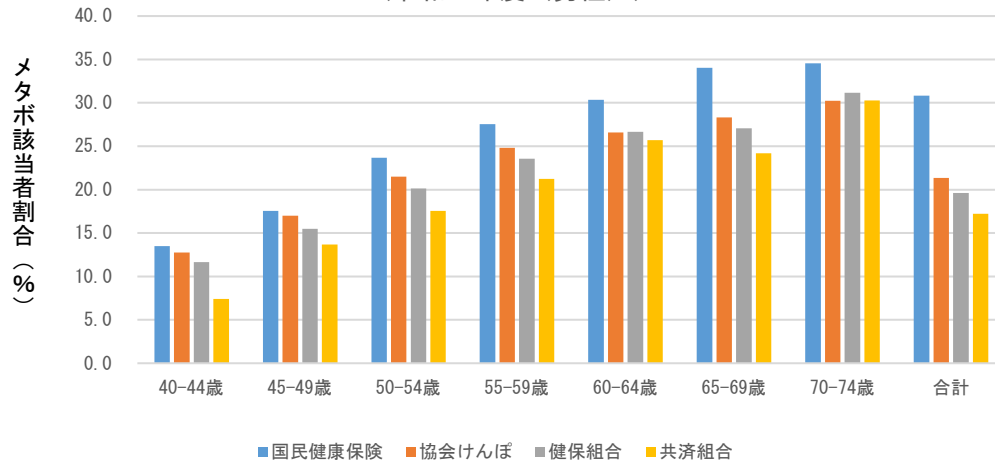
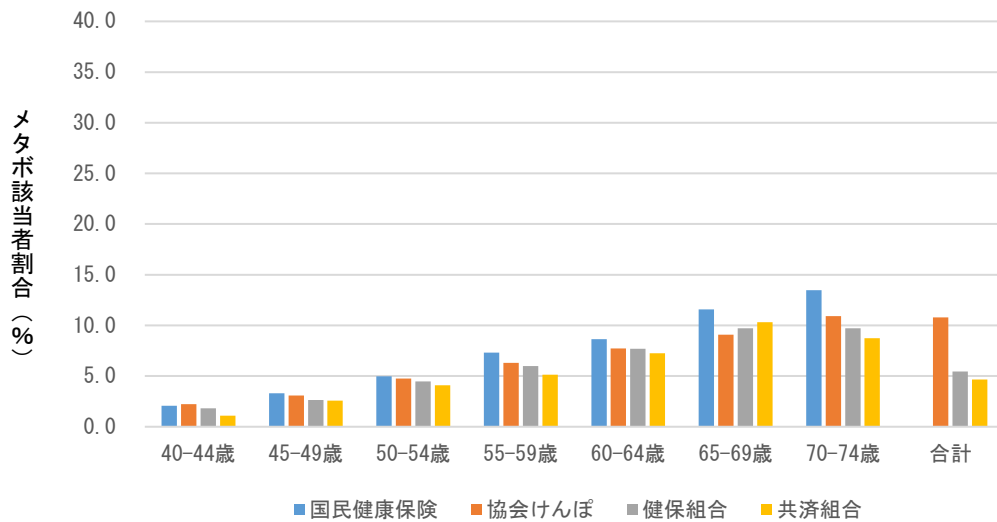


図2-3 年代別医療保険者別メタボリックシンドローム該当者の割合
(令和4年度(女性))



(3) 肥満該当者

肥満該当者は、女性よりも男性に多い傾向がみられます。特に男性の場合、40 歳代前半ですでに 40%以上が肥満に該当し、高齢期になるまでその高割合は続く傾向がみられます。そのため肥満対策は、40 歳以下のできるだけ若い時期に開始することが重要と考えられます。なお、これらの傾向は前回までの報告書の結果と概ね一致しています。(年齢階級によっては、保険者間の該当者割合に差がみられますが、保険者によってデータ総数にバラつきがあるため、この高低のみをもって一概に判断することは難しいと考えられます。)

- * 肥満該当者は次の 3 項目のいずれかに該当する者
- ①BMI が 25 以上かつ腹囲が男性 85cm 以上、女性 90cm 以上
 - ②BMI のみ 25 以上
 - ③腹囲のみ男性 85cm 以上、女性 90cm 以上

図3-1 肥満該当者の割合

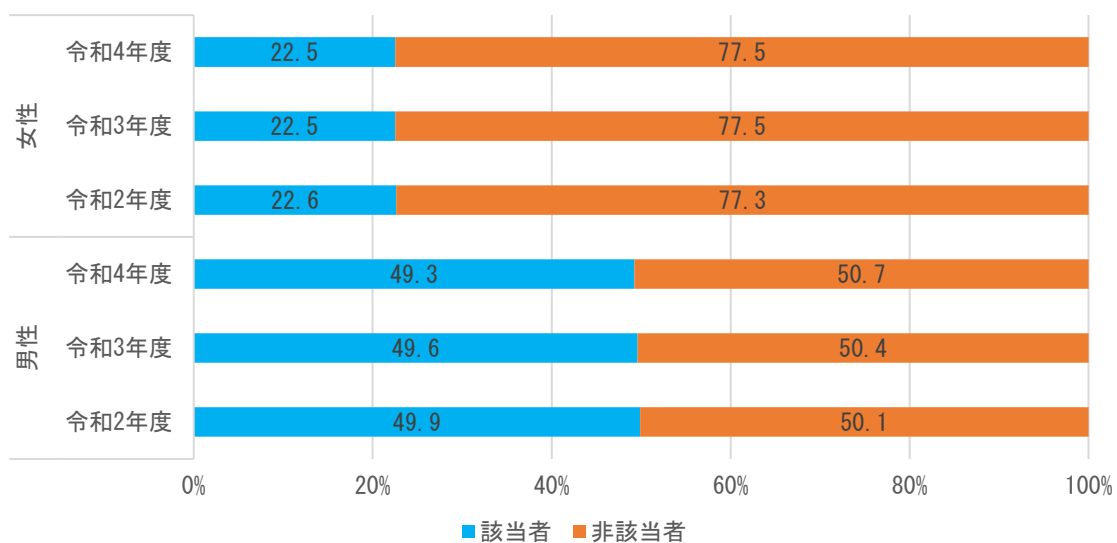


図3-2 年代別医療保険者別肥満該当者の割合
(令和4年度(男性))

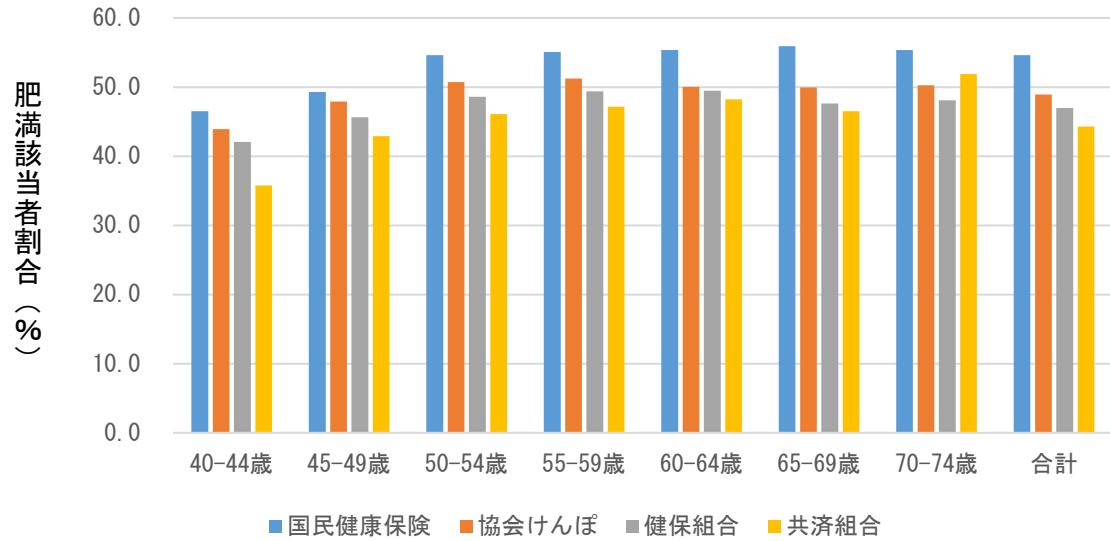
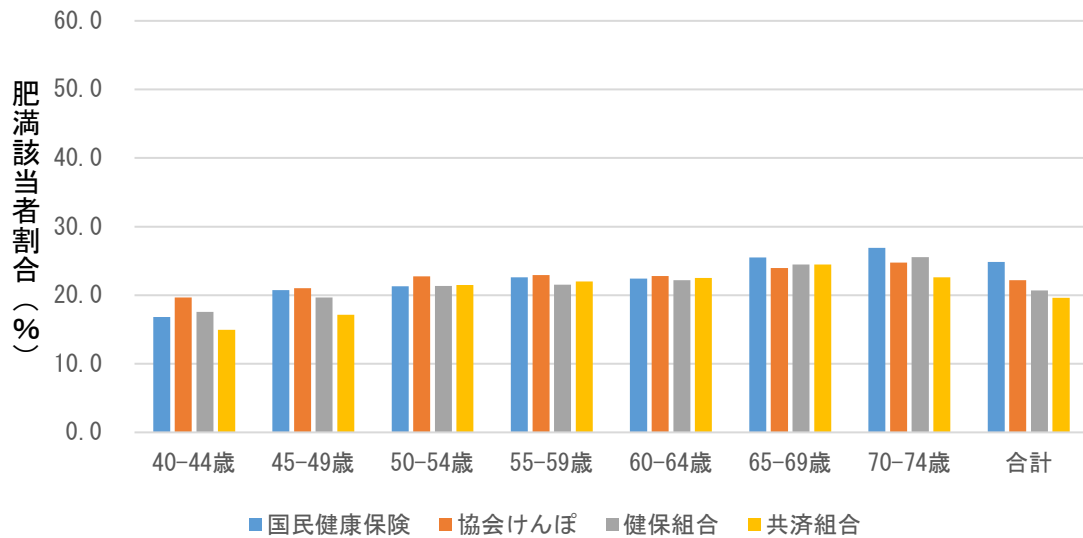


図3-3 年代別医療保険者別肥満該当者の割合
(令和4年度(女性))



(4) 高血圧症有病者（予備群含む）

高血圧症有病者及びその予備群の該当割合は、男性の方が女性よりもやや高い傾向があります。高血圧症有病者の該当割合は、加齢によって増加する傾向が男女とも顕著にみられ、男性は60代前半、女性は60代後半において、その割合は50%近くに達しています。そのため男女とも対策は壮年期から講じることが重要と考えられます。なお、これらの傾向は前回までの報告書の結果と概ね一致しています。（年齢階級によっては、保険者間の該当者割合に差がみられますが、保険者によってデータ総数にバラつきがあるため、この高低のみをもって一概に判断することは難しいと考えられます。）

*** 高血圧症有病者**

収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧が90mmHg以上の者、もしくは血圧を下げる薬を服用する者

*** 高血圧症予備群（血圧を下げる薬を服用する者を除く）**

- ① 収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満、かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者
- ② 収縮期血圧が140mmHg未満、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者

図4-1 高血圧症有病者の割合

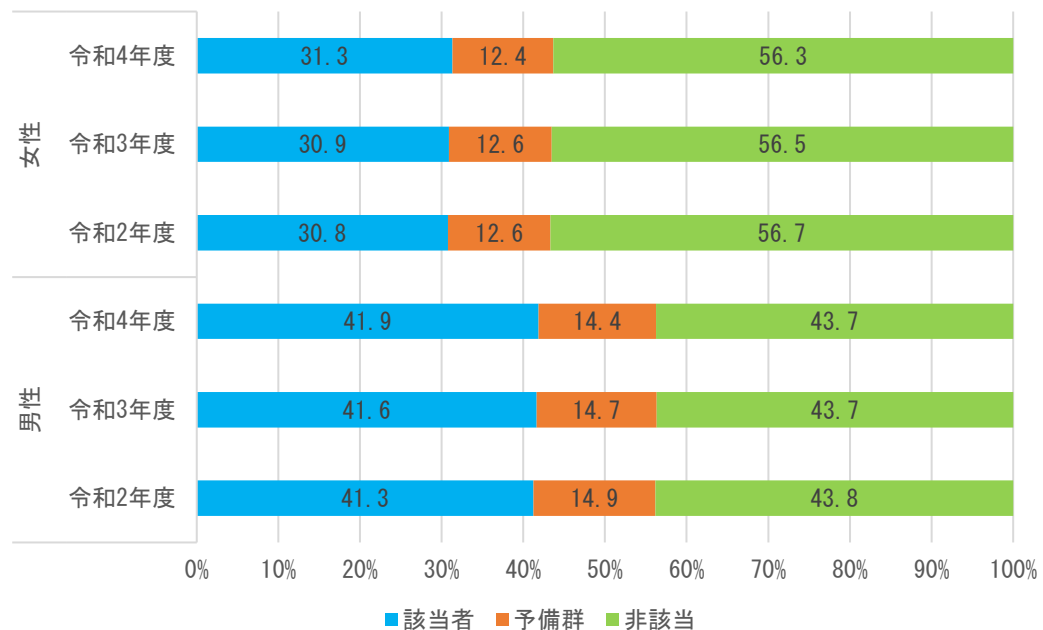


図4-2 年代別医療保険者別高血圧症有病者の割合
(令和4年度(男性))

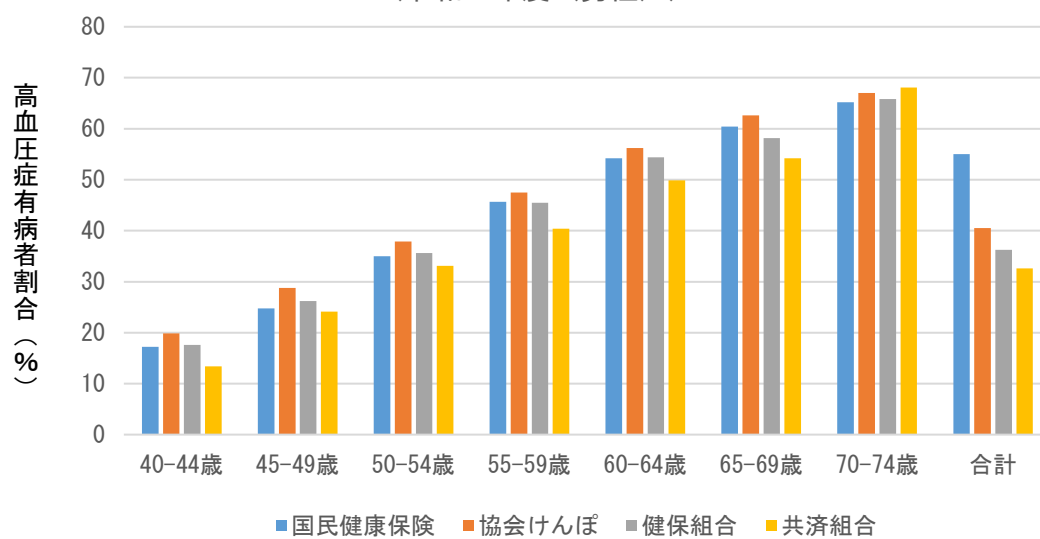
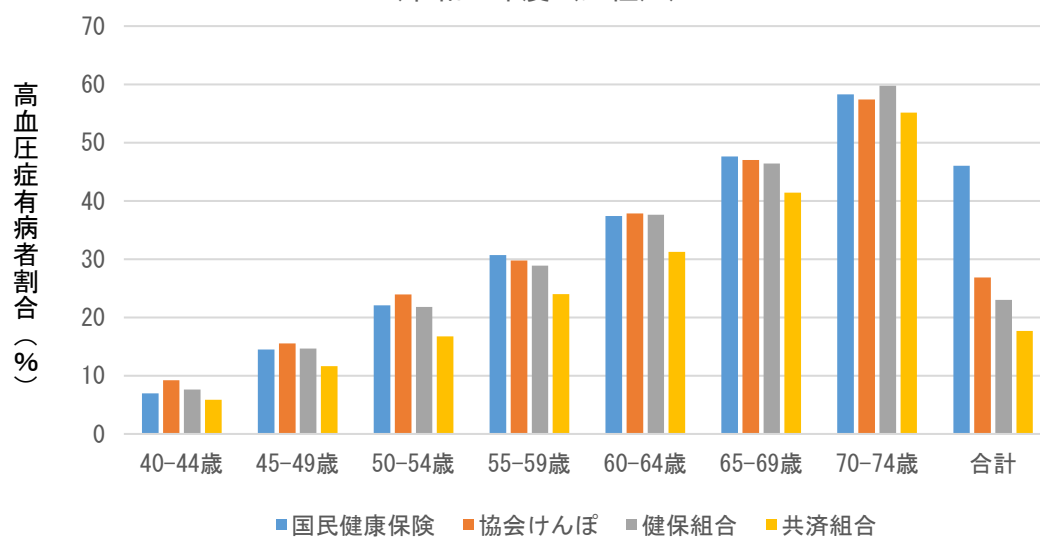


図4-3 年代別医療保険者別高血圧症有病者の割合
(令和4年度(女性))



(5) 糖尿病有病者（予備群含む）

糖尿病有病者及びその予備群の該当割合は、男性の方が女性に比べてやや高い傾向にあり、加齢による該当者割合の増加も男性の方が顕著にみられます。なお、これらの傾向は前回までの報告書の結果と概ね一致しています。（年齢階級によっては、保険者間の該当者割合に差がみられますが、保険者によってデータ総数にバラつきがあるため、この高低のみをもって一概に判断することは難しいと考えられます。）

* 糖尿病有病者
空腹時血糖 126mg/dl 以上、または HbA1c 6.5%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者

* 糖尿病予備群
空腹時血糖 110mg/dl 以上 126mg/dl 未満、または HbA1c 6.0%以上 6.5%未満の者
ただしインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者を除く

図5-1 糖尿病有病者の割合

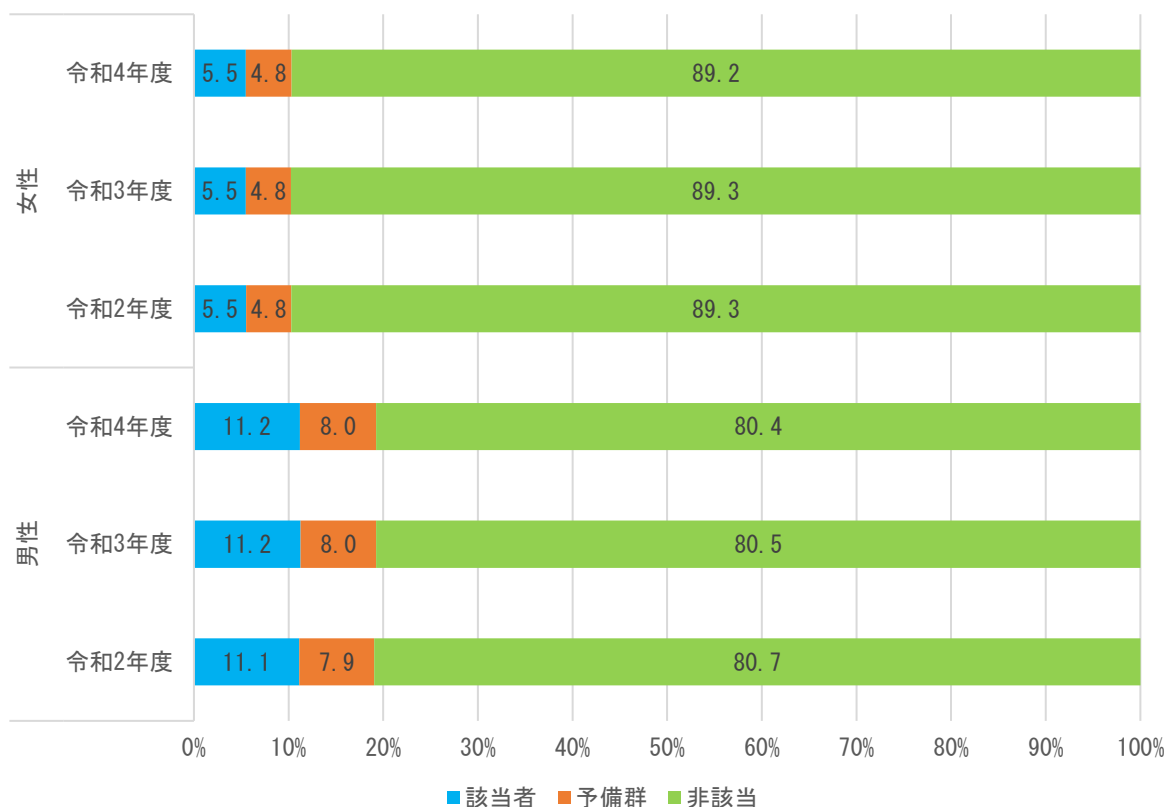


図5-2 年代別医療保険者別糖尿病有病者の割合
(令和4年度(男性))

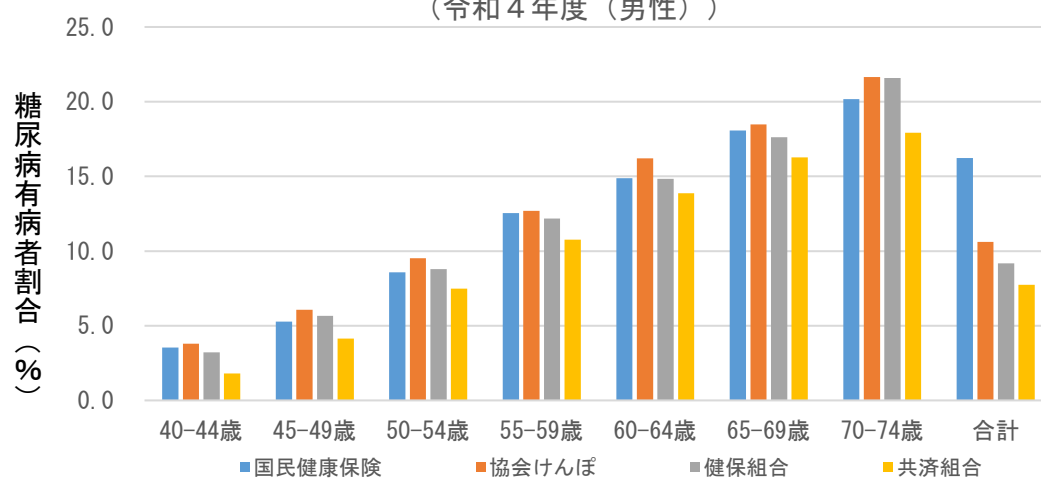
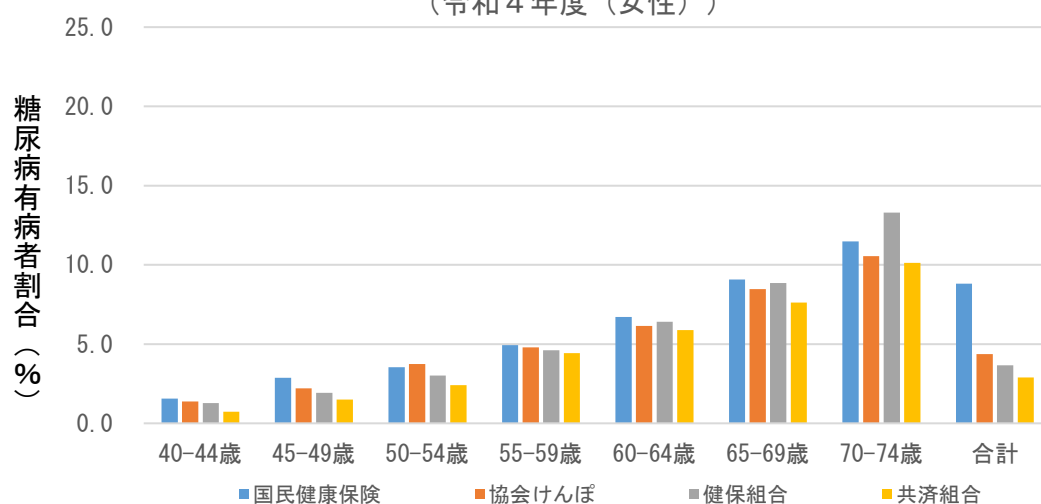


図5-3 年代別医療保険者別糖尿病有病者の割合
(令和4年度(女性))



(6) 脂質異常症有病者

脂質異常症有病者の該当割合は、男性では40代前半からすでに50%程度と高く、高齢期までその高割合は続く傾向がみられます。一方女性では、50代前半から加齢とともに該当者割合が増加し、60代前半で約60%以上の高割合に達しています。そのため男性は40歳以下から、女性は50歳以下からその対策を講じることが重要と考えられます。なお、これらの傾向は前回までの報告書の結果と概ね一致しています。(保険者間の該当者割合に差がみられますが、保険者によってデータ総数にバラつきがあるため、この高低のみをもって一概に判断することは難しいと考えられます。)

* 脂質異常症有病者

中性脂肪 150mg/dl 以上、または HDL コレステロール 40mg/dl 未満、または LDL コレステロール 140mg/dl 以上、もしくはコレステロールを下げる薬を服用する者

図6-1 脂質異常症有症者の割合

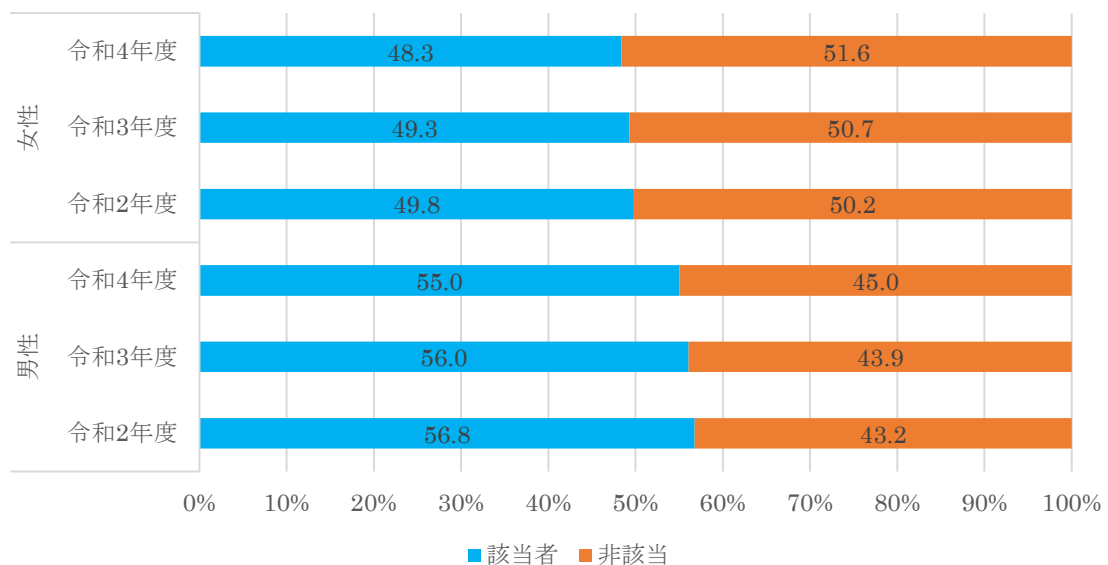


図6-2 年代別医療保険者別脂質異常症有病者の割合
(令和4年度(男性))

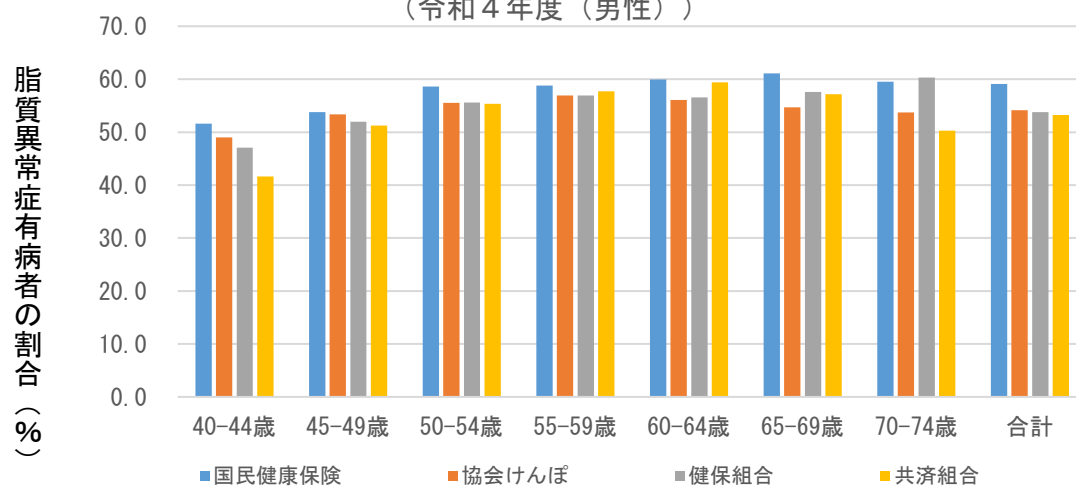
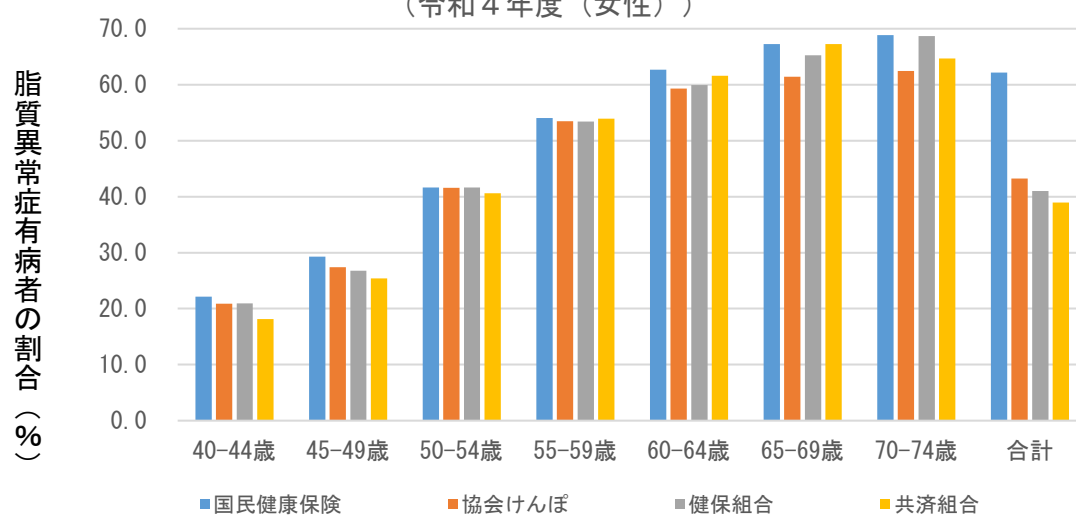


図6-3 年代別医療保険者別脂質異常症有病者の割合
(令和4年度(女性))



(7) 習慣的喫煙者

習慣的な喫煙については男性の該当割合が高く、加齢にともないその割合は低下するものの、60代後半においても概ね20%以上が喫煙習慣を維持している結果となりました。(保険者間の該当者割合に差が顕著にみられますが、保険者によって各年齢階級のデータ総数にバラつきがあるため、この高低のみをもって一概に判断することは難しいと考えられます。)

* 現在、習慣的に喫煙している者

「合計100本以上、または6ヶ月以上吸っている者」であり、「最近1ヶ月間も吸っている者」

図7-1 習慣的喫煙者の割合

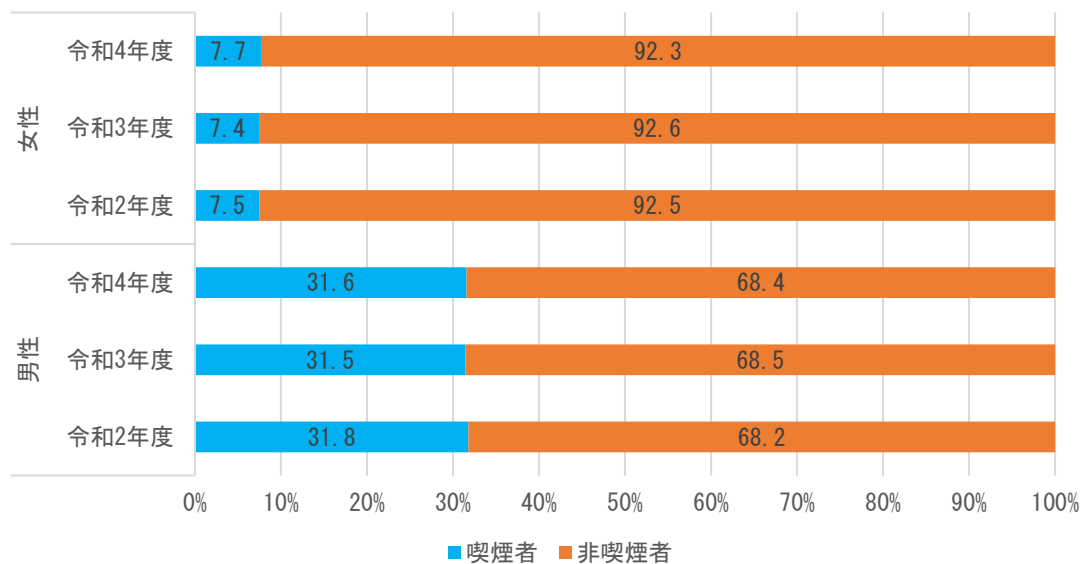


図7-2 年代別医療保険者別習慣的喫煙者の割合
(令和4年度(男性))

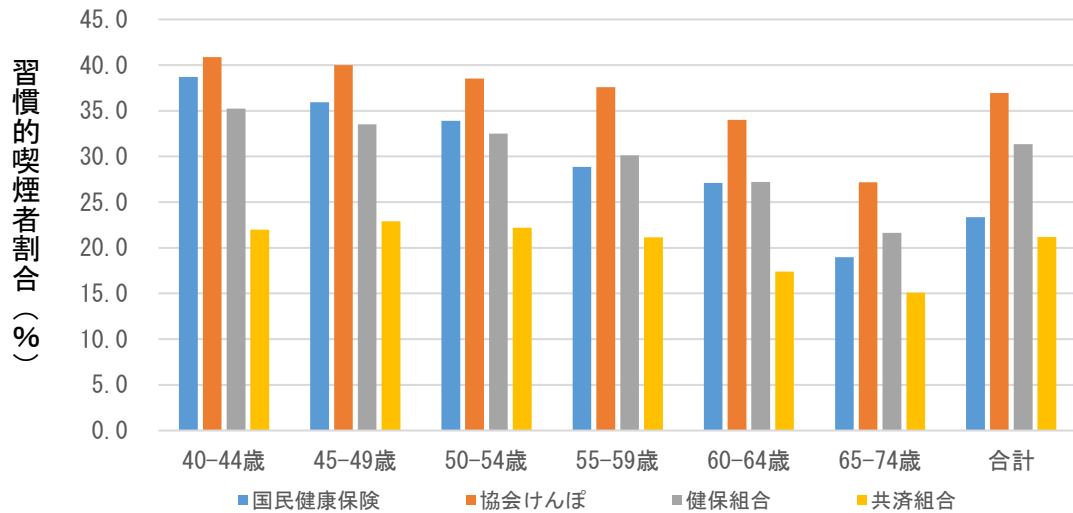
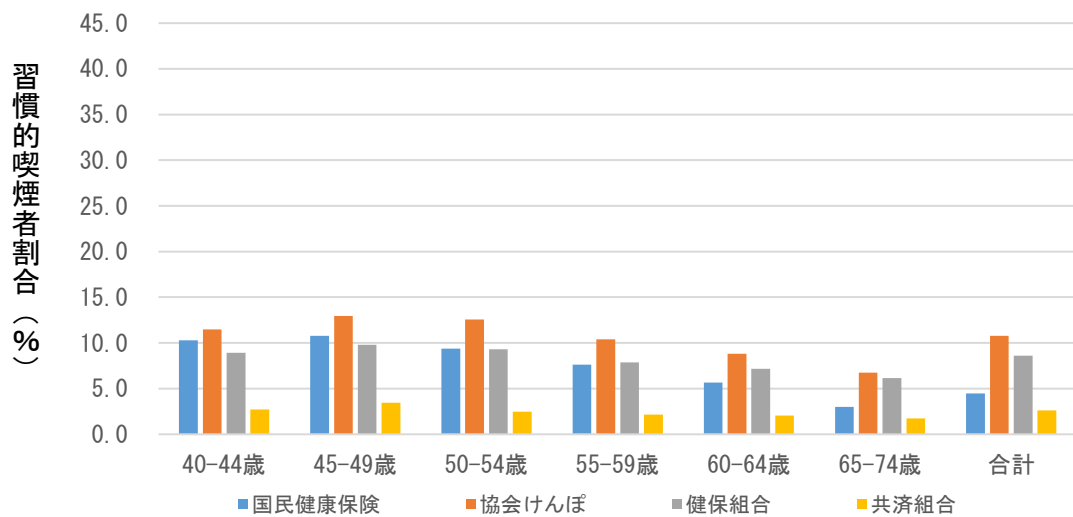


図7-3 年代別医療保険者別習慣的喫煙者の割合
(令和4年度(女性))



※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、この年代は65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

2 岐阜県全体

ア 健診受診者及び検査項目別平均値

岐阜県全体の受診者数

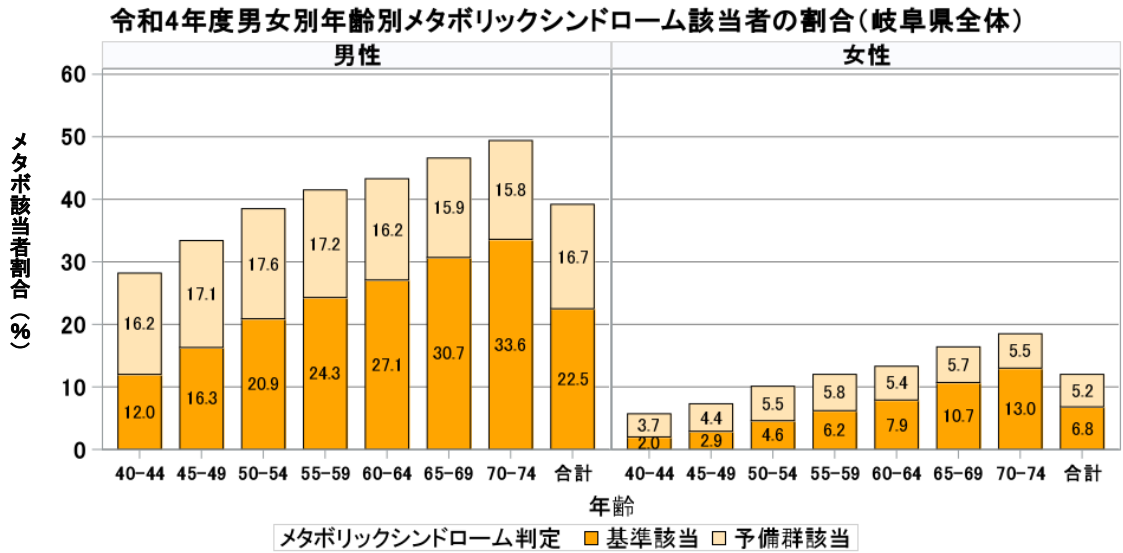
			年代別							合計
			40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	人数	37,915	47,417	48,105	39,827	32,998	26,409	31,189	263,860
		割合(%)	14.4	18.0	18.2	15.1	12.5	10.0	11.8	100
	女性	人数	25,942	33,199	36,107	31,442	28,094	27,457	35,158	217,399
		割合(%)	11.9	15.3	16.6	14.5	12.9	12.6	16.2	100
	合計	人数	63,857	80,616	84,212	71,269	61,092	53,866	66,347	481,259
		割合(%)	13.3	16.8	17.5	14.8	12.7	11.2	13.8	100
令和3年度	男性	人数	39,754	49,349	46,840	38,979	33,212	28,282	32,746	269,162
		割合(%)	14.8	18.3	17.4	14.5	12.3	10.5	12.2	100
	女性	人数	27,921	36,218	36,744	32,125	29,331	28,731	37,022	228,092
		割合(%)	12.2	15.9	16.1	14.1	12.9	12.6	16.2	100
	合計	人数	67,675	85,567	83,584	71,104	62,543	57,013	69,768	497,254
		割合(%)	13.6	17.2	16.8	14.3	12.6	11.5	14.0	100
令和2年度	男性	人数	40,023	48,632	42,736	38,309	31,595	27,264	31,199	259,758
		割合(%)	15.4	18.7	16.5	14.8	12.2	10.5	12.0	100
	女性	人数	27,302	35,079	32,863	30,818	27,149	28,044	34,939	216,194
		割合(%)	12.6	16.2	15.2	14.3	12.6	13.0	16.2	100
	合計	人数	67,325	83,711	75,599	69,127	58,744	55,308	66,138	475,952
		割合(%)	14.2	17.6	15.9	14.5	12.3	11.6	13.9	100

検査項目別平均値

		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
BMI	度数	263,857	217,392	269,156	228,085	259,755	216,189
	平均値 (kg/m ²)	24.0	22.2	24.0	22.3	24.1	22.3
	標準偏差 (kg/m ²)	3.6	3.9	3.6	3.8	3.6	3.8
腹囲	度数	263,842	217,362	269,140	228,049	259,743	216,156
	平均値 (cm)	84.9	79.2	84.9	79.3	85.0	79.4
	標準偏差 (cm)	9.8	10.3	9.7	10.2	9.6	10.1
収縮期血圧	度数	263,854	217,389	269,160	228,081	259,748	216,181
	平均値 (mmHg)	127.6	123.4	127.8	123.4	128.0	123.5
	標準偏差 (mmHg)	16.6	18.0	16.8	18.0	16.7	17.9
拡張期血圧	度数	263,847	217,386	269,150	228,076	259,742	216,179
	平均値 (mmHg)	79.5	73.8	79.4	73.7	79.5	73.7
	標準偏差 (mmHg)	11.5	11.3	11.5	11.3	11.6	11.2
中性脂肪	度数	263,773	217,358	269,082	228,058	259,687	216,164
	平均値 (mg/dl)	129.3	95.9	130.2	96.4	132.9	96.8
	標準偏差 (mg/dl)	98.7	61.1	98.9	61.8	102.1	62.1
HDL コレステロール	度数	263,808	217,360	269,111	228,051	259,719	216,165
	平均値 (mg/dl)	58.8	71.5	58.7	71.3	58.6	71.3
	標準偏差 (mg/dl)	15.7	17.2	15.6	17.2	15.7	17.2
LDL コレステロール	度数	263,736	217,331	268,996	227,911	259,652	216,121
	平均値 (mg/dl)	122.9	123.9	124.2	125.2	125.1	126.1
	標準偏差 (mg/dl)	31.2	30.6	31.6	31.1	31.6	31.3
GOT	度数	263,813	217,372	269,120	228,065	259,724	216,170
	平均値 (IU/L)	24.2	21.5	24.6	21.7	24.7	21.6
	標準偏差 (IU/L)	12.4	8.9	12.5	9.6	12.7	9.3
GPT	度数	263,810	217,366	269,122	228,057	259,723	216,171
	平均値 (IU/L)	26.9	18.7	27.7	19.0	27.8	18.7
	標準偏差 (IU/L)	18.7	12.7	19.4	13.1	19.7	13.1
γ-GTP	度数	263,734	217,356	269,030	228,051	259,632	216,156
	平均値 (IU/L)	45.0	24.8	45.7	24.8	46.9	24.7
	標準偏差 (IU/L)	52.8	26.3	53.7	26.9	55.0	26.1
空腹時血糖	度数	201,237	160,080	204,064	166,233	195,193	154,924
	平均値 (mg/dl)	100.1	93.0	100.1	93.0	100.1	93.0
	標準偏差 (mg/dl)	20.6	14.4	20.9	14.6	21.2	14.8
HbA1c	度数	231,247	194,714	236,141	203,497	228,004	193,556
	平均値 (%)	5.7	5.6	5.7	5.6	5.7	5.6
	標準偏差 (%)	0.7	0.5	0.7	0.5	0.7	0.5

イ 検査項目別該当者割合

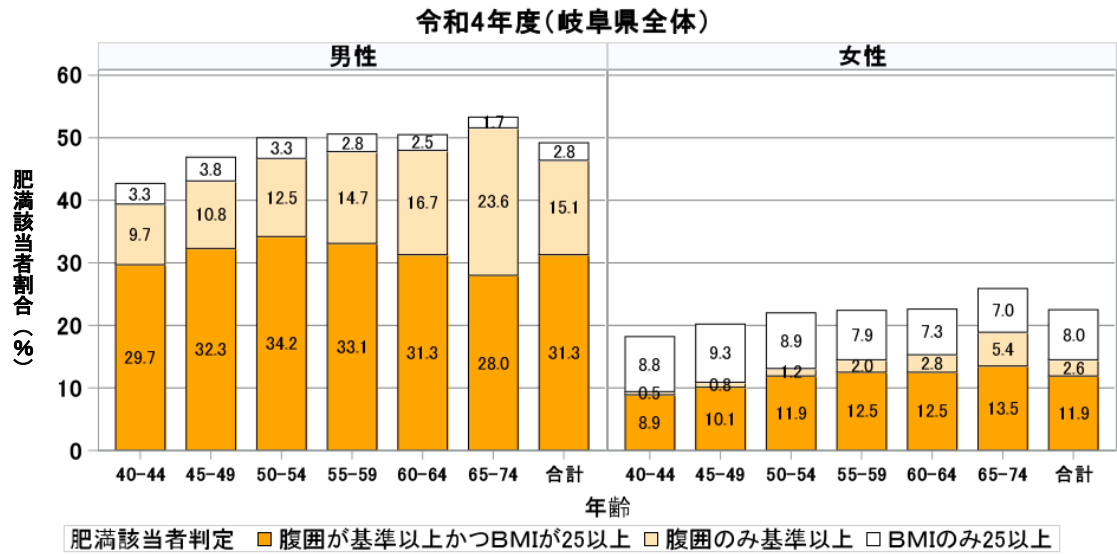
(1) メタボリックシンドローム該当者



メタボリックシンドローム該当者の割合(岐阜県全体)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	4,540	7,724	10,035	9,673	8,937	8,099	10,476	59,484
			割合(%)	12.0	16.3	20.9	24.3	27.1	30.7	33.6	22.5
		予備群該当	人数	6,150	8,112	8,444	6,848	5,339	4,185	4,936	44,014
			割合(%)	16.2	17.1	17.6	17.2	16.2	15.9	15.8	16.7
	女性	非該当	人数	27,224	31,580	29,625	23,305	18,718	14,119	15,772	160,343
			割合(%)	71.8	66.6	61.6	58.5	56.7	53.5	50.6	60.8
		合計	人数	37,914	47,416	48,104	39,826	32,994	26,403	31,184	263,841
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
令和4年度	男性	基準該当	人数	506	970	1,663	1,953	2,229	2,944	4,587	14,852
			割合(%)	2.0	2.9	4.6	6.2	7.9	10.7	13.0	6.8
		予備群該当	人数	960	1,450	1,978	1,832	1,521	1,570	1,934	11,245
			割合(%)	3.7	4.4	5.5	5.8	5.4	5.7	5.5	5.2
	女性	非該当	人数	24,463	30,773	32,466	27,653	24,338	22,939	28,632	191,264
			割合(%)	94.3	92.7	89.9	88.0	86.6	83.6	81.4	88.0
		合計	人数	25,929	33,193	36,107	31,438	28,088	27,453	35,153	217,361
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 肥満該当者



肥満該当者の割合(岐阜県全体)

				年代別						合計		
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	※65-74歳			
令和4年度	男性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	1,248	1,788	1,586	1,103	826	960	7,511	
				割合(%)	3.3	3.8	3.3	2.8	2.5	1.7	2.8	
			腹囲のみ基準以上	人数	3,692	5,114	6,010	5,854	5,518	13,608	39,796	
				割合(%)	9.7	10.8	12.5	14.7	16.7	23.6	15.1	
		腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	11,272	15,319	16,433	13,188	10,329	16,118	82,659		
			割合(%)	29.7	32.3	34.2	33.1	31.3	28	31.3		
		非該当	人数	21,702	25,193	24,075	19,681	16,320	26,902	133,873		
			割合(%)	57.2	53.1	50	49.4	49.5	46.7	50.7		
	合計	人数	37,914	47,414	48,104	39,826	32,993	57,588	263,839			
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		女性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	2,279	3,078	3,220	2,489	2,037	4,371	17,474
					割合(%)	8.8	9.3	8.9	7.9	7.3	7	8
	腹囲のみ基準以上			人数	135	253	447	636	792	3,374	5,637	
				割合(%)	0.5	0.8	1.2	2	2.8	5.4	2.6	
	腹囲が基準以上かつBMIが25以上		人数	2,307	3,356	4,298	3,927	3,505	8,448	25,841		
			割合(%)	8.9	10.1	11.9	12.5	12.5	13.5	11.9		
	非該当		人数	21,207	26,504	28,142	24,385	21,754	46,412	168,404		
			割合(%)	81.8	79.9	77.9	77.6	77.4	74.1	77.5		
	合計		人数	25,928	33,191	36,107	31,437	28,088	62,605	217,356		
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、この年代は65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

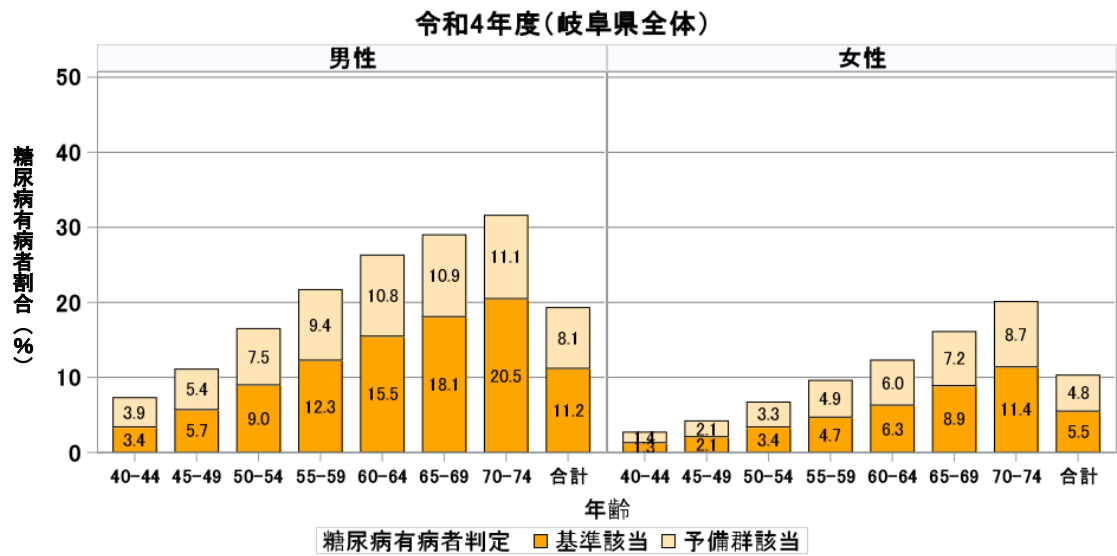
(3) 高血圧症有病者



高血圧症有病者の割合(岐阜県全体)

			年代別							合計
			40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
男性	基準該当	人数	6,989	12,954	17,560	18,311	18,112	16,086	20,453	110,465
		割合(%)	18.4	27.3	36.5	46.0	54.9	60.9	65.6	41.9
	予備群該当	人数	5,833	7,638	7,454	5,904	4,372	3,206	3,570	37,977
		割合(%)	15.4	16.1	15.5	14.8	13.3	12.1	11.5	14.4
	非該当	人数	25,093	26,824	23,091	15,612	10,514	7,115	7,165	115,414
女性		割合(%)	66.2	56.6	48.0	39.2	31.9	26.9	23.0	43.7
	合計	人数	37,915	47,416	48,105	39,827	32,998	26,407	31,188	263,856
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	基準該当	人数	2,112	4,881	8,027	9,107	10,451	12,985	20,461	68,024
		割合(%)	8.1	14.7	22.2	29.0	37.2	47.3	58.2	31.3
女性	予備群該当	人数	2,140	3,494	4,429	4,121	3,836	3,962	4,891	26,873
		割合(%)	8.3	10.5	12.3	13.1	13.7	14.4	13.9	12.4
	非該当	人数	21,690	24,824	23,650	18,212	13,805	10,509	9,805	122,495
		割合(%)	83.6	74.8	65.5	57.9	49.1	38.3	27.9	56.4
	合計	人数	25,942	33,199	36,106	31,440	28,092	27,456	35,157	217,392
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 糖尿病有病者



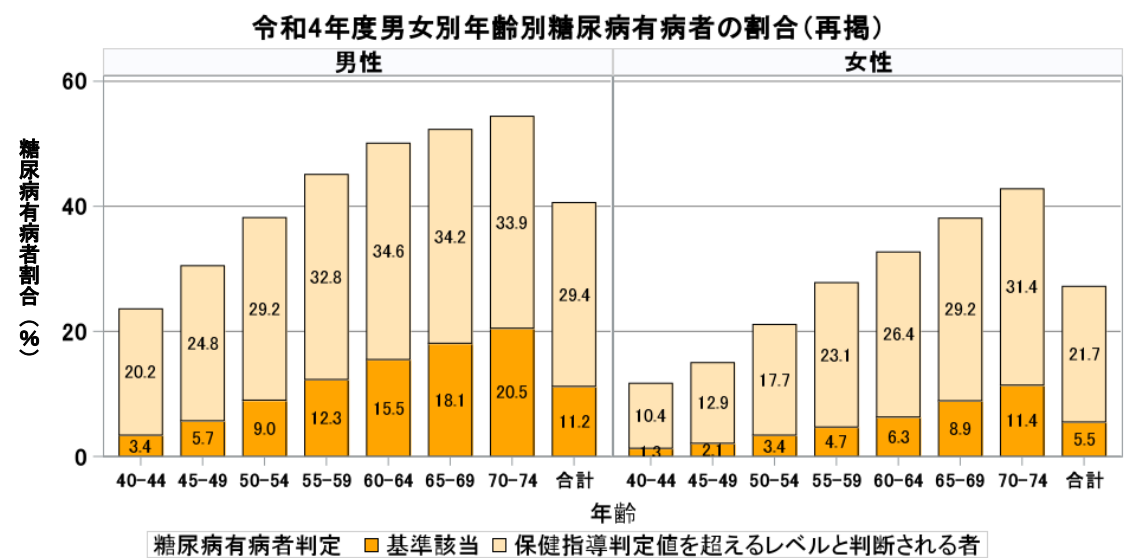
糖尿病有病者の割合(岐阜県全体)

			年代別							合計
			40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
男性	基準該当	人数	1,289	2,692	4,321	4,883	5,078	4,775	6,378	29,416
		割合(%)	3.4	5.7	9.0	12.3	15.5	18.1	20.5	11.2
	予備群該当	人数	1,454	2,560	3,577	3,732	3,532	2,867	3,462	21,184
		割合(%)	3.9	5.4	7.5	9.4	10.8	10.9	11.1	8.1
	非該当	人数	35,003	41,973	40,031	31,055	24,235	18,674	21,276	212,247
女性		割合(%)	92.7	88.9	83.5	78.3	73.8	71.0	68.4	80.7
	合計	人数	37,746	47,225	47,929	39,670	32,845	26,316	31,116	262,847
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	基準該当	人数	330	693	1,205	1,479	1,770	2,422	3,993	11,892
		割合(%)	1.3	2.1	3.4	4.7	6.3	8.9	11.4	5.5
女性	予備群該当	人数	360	694	1,181	1,533	1,680	1,966	3,042	10,456
		割合(%)	1.4	2.1	3.3	4.9	6.0	7.2	8.7	4.8
	非該当	人数	25,125	31,623	33,547	28,266	24,496	22,935	28,000	193,992
		割合(%)	97.3	95.8	93.4	90.4	87.7	83.9	79.9	89.7
	合計	人数	25,815	33,010	35,933	31,278	27,946	27,323	35,035	216,340
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

糖尿病有病者（再掲）：保健指導判定値を超えるレベルと判断される者の割合

※糖尿病については、下記に示す保健指導判定値による区分も調査を行った。

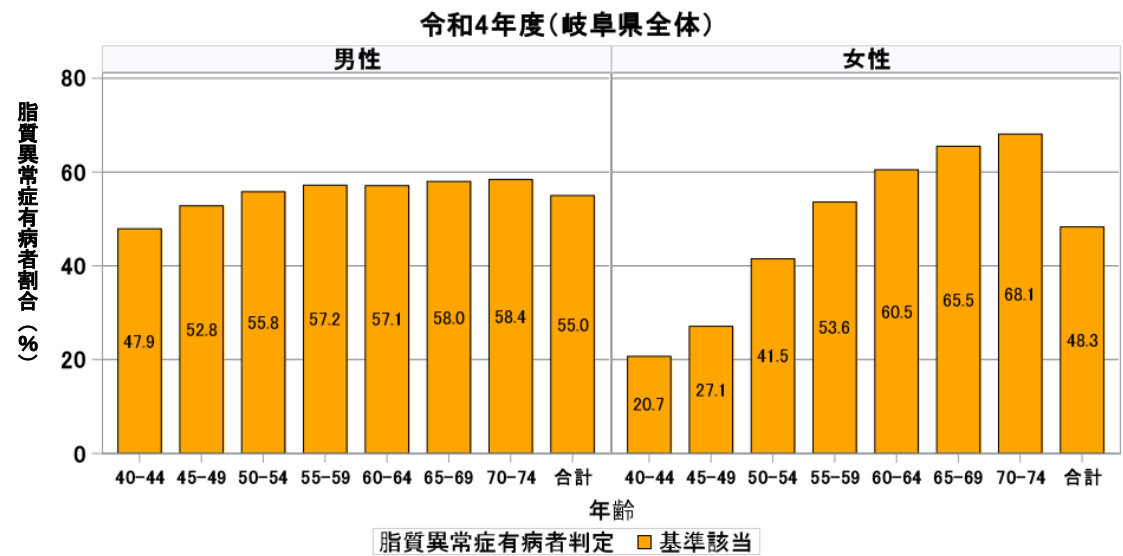
* 糖尿病有病者
空腹時血糖 126mg/dl 以上、または HbA1c 6.5%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者
* 糖尿病について保健指導判定値を超えるレベルと判断される者
空腹時血糖 100mg/dl 以上 126mg/dl 未満、または HbA1c 5.6%以上 6.5%未満の者
ただしインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者を除く



糖尿病有病者の割合(岐阜県全体(再掲))

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	1,289	2,692	4,321	4,883	5,078	4,775	6,378	29,416
			割合 (%)	3.4	5.7	9.0	12.3	15.5	18.1	20.5	11.2
		保健指導判定値を超えるレベルと判断されるもの	人数	7,643	11,699	13,997	13,014	11,374	8,991	10,537	77,255
			割合 (%)	20.2	24.8	29.2	32.8	34.6	34.2	33.9	29.4
		非該当	人数	28,814	32,834	29,611	21,773	16,393	12,550	14,201	156,176
	女性		割合 (%)	76.3	69.5	61.8	54.9	49.9	47.7	45.6	59.4
		合計	人数	37,746	47,225	47,929	39,670	32,845	26,316	31,116	262,847
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		基準該当	人数	330	693	1,205	1,479	1,770	2,422	3,993	11,892
			割合 (%)	1.3	2.1	3.4	4.7	6.3	8.9	11.4	5.5
	女性	保健指導判定値を超えるレベルと判断されるもの	人数	2,689	4,258	6,368	7,221	7,369	7,981	11,013	46,899
			割合 (%)	10.4	12.9	17.7	23.1	26.4	29.2	31.4	21.7
		非該当	人数	22,796	28,059	28,360	22,578	18,807	16,920	20,029	157,549
			割合 (%)	88.3	85.0	78.9	72.2	67.3	61.9	57.2	72.8
		合計	人数	25,815	33,010	35,933	31,278	27,946	27,323	35,035	216,340
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

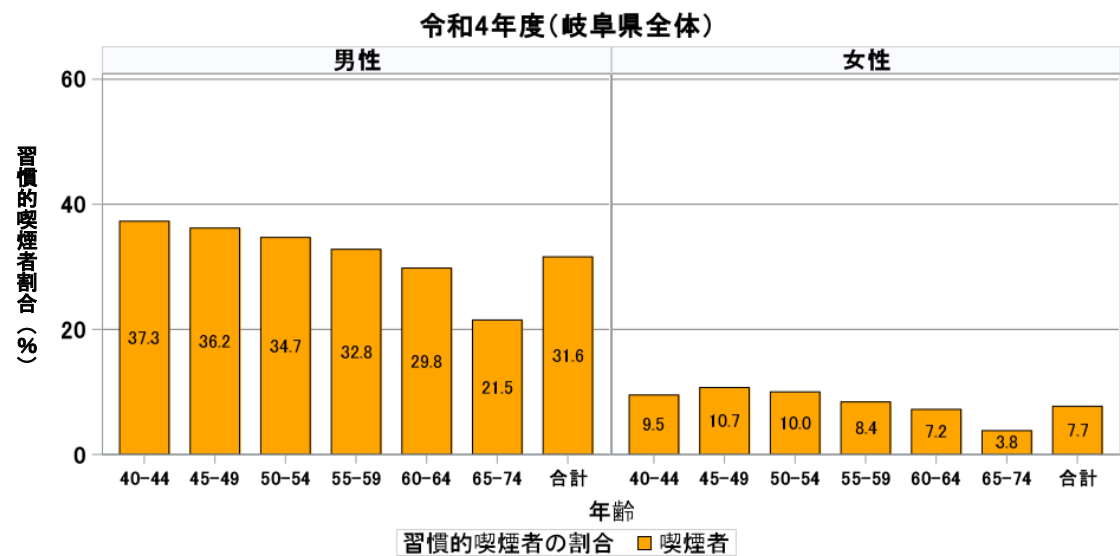
(5) 脂質異常症有病者



脂質異常症有病者の割合(岐阜県全体)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数 割合(%)	18,155 47.9	25,020 52.8	26,826 55.8	22,765 57.2	18,837 57.1	15,307 58.0	18,196 58.4	145,106 55.0
		非該当	人数 割合(%)	19,747 52.1	22,389 47.2	21,275 44.2	17,050 42.8	14,155 42.9	11,092 42.0	12,977 41.6	118,685 45.0
		合計	人数 割合(%)	37,902 100.0	47,409 100.0	48,101 100.0	39,815 100.0	32,992 100.0	26,399 100.0	31,173 100.0	263,791 100.0
	女性	基準該当	人数 割合(%)	5,357 20.7	9,010 27.1	14,966 41.5	16,847 53.6	16,998 60.5	17,971 65.5	23,923 68.1	105,072 48.3
		非該当	人数 割合(%)	20,579 79.3	24,185 72.9	21,129 58.5	14,591 46.4	11,086 39.5	9,480 34.5	11,232 31.9	112,282 51.7
		合計	人数 割合(%)	25,936 100.0	33,195 100.0	36,095 100.0	31,438 100.0	28,084 100.0	27,451 100.0	35,155 100.0	217,354 100.0

(6) 習慣的喫煙者



習慣的喫煙者の割合(岐阜県全体)

				年代別						合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	※65-74歳	
令和4年度	男性	喫煙者	人数	14,141	17,173	16,703	13,079	9,844	12,374	83,314
			割合 (%)	37.3	36.2	34.7	32.8	29.8	21.5	31.6
		非喫煙者	人数	23,773	30,242	31,401	26,748	23,154	45,224	180,542
			割合 (%)	62.7	63.8	65.3	67.2	70.2	78.5	68.4
	女性	喫煙者	人数	2,469	3,545	3,625	2,652	2,010	2,395	16,696
			割合 (%)	9.5	10.7	10.0	8.4	7.2	3.8	7.7
		非喫煙者	人数	23,472	29,654	32,481	28,790	26,084	60,220	200,701
			割合 (%)	90.5	89.3	90.0	91.6	92.8	96.2	92.3
	合計	人数	人数	25,941	33,199	36,106	31,442	28,094	62,615	217,397
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、この年代は65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

3 市町村別集計

(1) 市町村別 検査項目別マップ及び数値表

各市町村における生活習慣病該当者（予備群含む）の分布状況を調査するため、市町村毎に標準化該当比を算出し、その集計結果をグラフ及びマップ等で記載しました。その算出及び記載の方法等については、「I 報告書について」をご覧ください。

○メタボリックシンドローム該当者（予備群含む）の概況

県内の状況を地域別でみると、男女ともに県北部及び東部に該当者の少ない市町村が存在し、他方の県西部に該当者の多い市町村が存在する様相を呈しています。特に県南西部では、県全体（基準）と比較して有意に該当者が多い市町村が存在しています。なおこれらの傾向は、前回までの報告書の結果とも概ね一致しています。

*メタボリックシンドローム該当者

腹囲男性 85cm 以上、女性 90cm 以上かつ下記の項目の 2 つ以上に該当する者

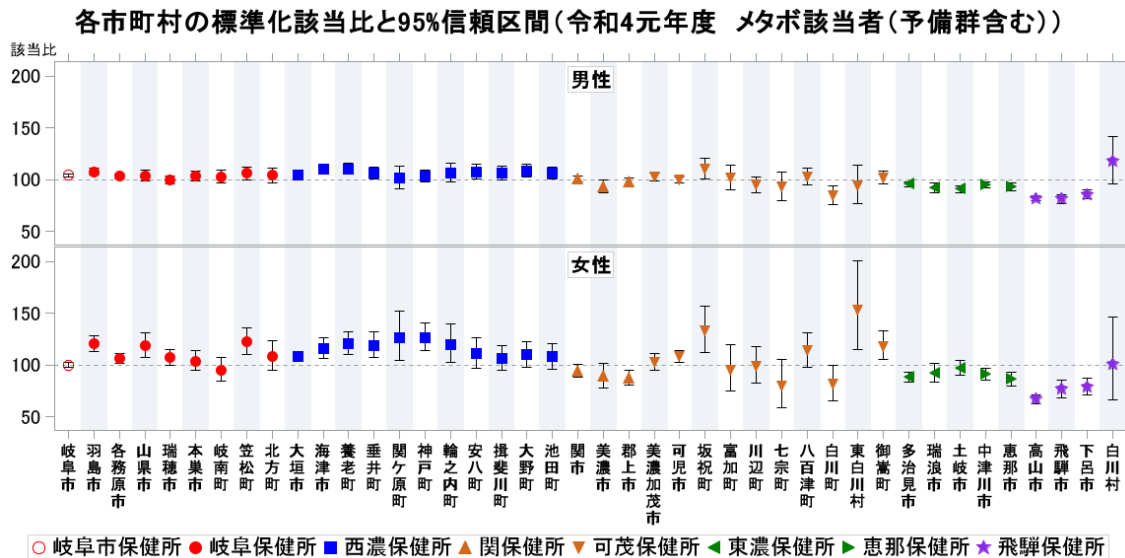
①中性脂肪 150mg/dl 以上、または HDL コレステロール 40mg/dl 未満、もしくはコレステロールを下げる薬を服用

②収縮期血圧 130mmHg 以上、または拡張期血圧 85mmHg 以上、もしくは血圧を下げる薬を服用

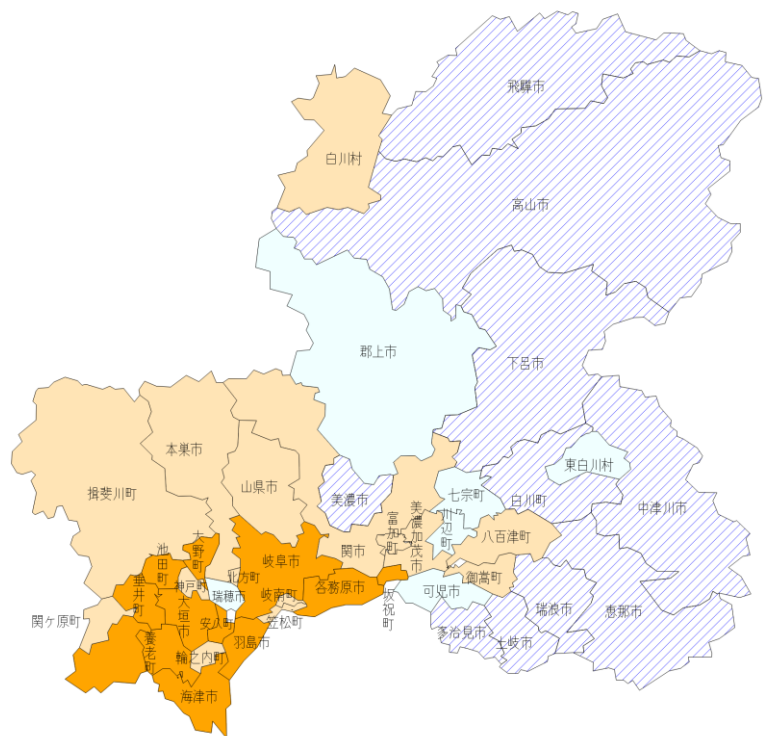
③空腹時血糖 110mg/dl 以上、または HbA1c 6.0%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用

*メタボリックシンドローム予備群

腹囲男性 85cm 以上、女性 90cm 以上かつ上記の項目の 1 つに該当する者



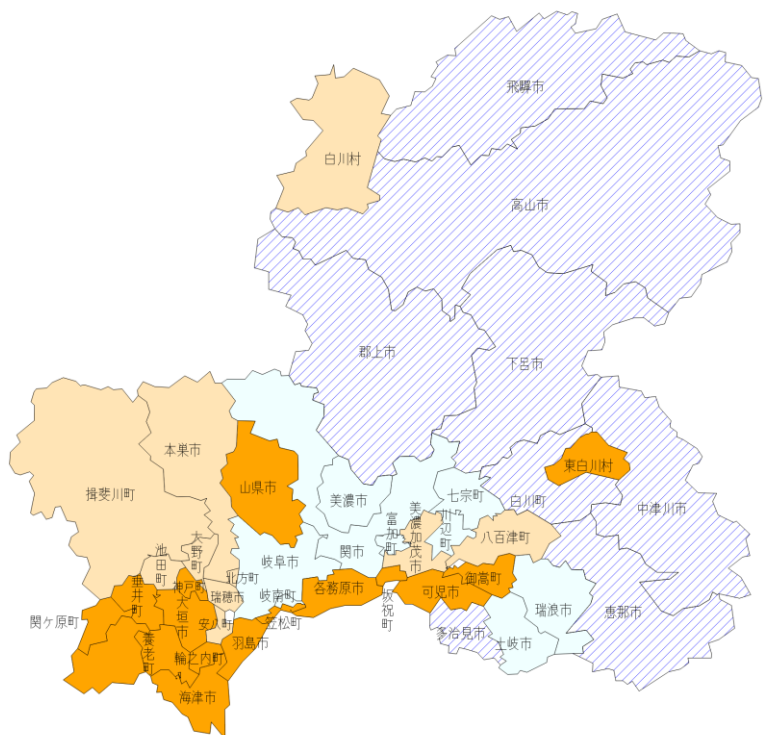
メタボ該当者(予備群含む)(令和4年度(男性))



区分

- 県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

メタボ該当者(予備群含む)(令和4年度(女性))



区分

- 県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

メタボ該当者(予備群含む)(令和4年度(男性))

区域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化		95%信頼区間		区分
					該当比	下限値	上限値		
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	20657	19876.6	103.9	102.5	105.4	▲▲	
		羽島市	3718	3459.8	107.5	104.0	111.0	▲▲	
	岐阜保健所	各務原市	7346	7109.9	103.3	101.0	105.7	▲▲	
		山梨市	1322	1274.5	103.7	98.2	109.5	▲	
	瑞穂市	瑞穂市	2748	2756.5	99.7	96.0	103.5	▽	
		本巣市	1820	1765.5	103.1	98.4	107.9	▲	
	岐阜町	岐阜町	1235	1201.9	102.8	97.1	108.6	▲	
		笠松町	1164	1098.4	106.0	100.0	112.2	▲	
	北方町	北方町	865	832.3	103.9	97.1	111.1	▲	
		大垣市	8357	7982.2	104.7	102.5	107.0	▲▲	
西濃圏域	海津市	海津市	2001	1818.3	110.0	105.3	115.0	▲▲	
		養老町	1644	1487.6	110.5	105.2	116.0	▲▲	
	垂井町	垂井町	1387	1302.9	106.5	100.9	112.2	▲▲	
		関ヶ原町	325	320.1	101.5	90.8	113.2	▲	
	神戸町	神戸町	1266	1226.0	103.3	97.7	109.1	▲	
		輪之内町	563	528.7	106.5	97.9	115.7	▲	
	安八町	安八町	918	854.6	107.4	100.6	114.6	▲▲	
		揖斐川町	1109	1044.9	106.1	100.0	112.6	▲	
	大野町	大野町	1193	1103.6	108.1	102.1	114.4	▲▲	
		池田町	1276	1204.5	105.9	100.2	111.9	▲▲	
中濃圏域	関保健所	関市	4238	4223.1	100.4	97.4	103.4	▲	
		美濃市	891	958.8	92.9	86.9	99.2	▽▽	
	郡上市	郡上市	2425	2491.2	97.3	93.5	101.3	▽	
		美濃加茂市	2722	2664.3	102.2	98.4	106.1	▲	
	可児市	可児市	5122	5127.3	99.9	97.2	102.7	▽	
		坂祝町	473	428.2	110.5	100.7	120.9	▲▲	
	富加町	富加町	287	282.6	101.6	90.2	114.0	▲	
		川辺町	554	586.0	94.5	86.8	102.7	▽	
	七宗町	七宗町	183	197.5	92.7	79.7	107.1	▽	
		八百津町	622	606.5	102.6	94.7	110.9	▲	
東濃圏域	白川町	白川町	359	423.7	84.7	76.2	94.0	▽▽	
		東白川村	103	109.7	93.9	76.6	113.9	▽	
	御嵩町	御嵩町	1076	1056.9	101.8	95.8	108.1	▲	
		多治見市	5480	5740.8	95.5	92.9	98.0	▽▽	
	瑞浪市	瑞浪市	1746	1899.3	91.9	87.7	96.3	▽▽	
		土岐市	2854	3140.0	90.9	87.6	94.3	▽▽	
	恵那保健所	中津川市	4065	4301.3	94.5	91.6	97.5	▽▽	
		恵那市	2490	2678.6	93.0	89.3	96.7	▽▽	
	飛騨保健所	高山市	4031	4938.8	81.6	79.1	84.2	▽▽	
		飛騨市	1232	1519.8	81.1	76.6	85.7	▽▽	
	下呂市	下呂市	1525	1784.3	85.5	81.2	89.9	▽▽	
		白川村	106	90.4	117.2	96.0	141.8	▲	
期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。									
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。									
区分：▽▽：県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない ▽：今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある ▲：今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある ▲▲：県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い									

メタボ該当者(予備群含む)(令和4年度(女性))

区域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化		95%信頼区間		区分
					該当比	下限値	上限値		
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	5132	5135.1	99.9	97.2	102.7	▽	
		羽島市	1014	841.9	120.4	113.1	128.1	▲▲	
	岐阜保健所	各務原市	1873	1761.9	106.3	101.5	111.2	▲▲	
		山県市	402	339.4	118.4	107.1	130.6	▲▲	
		瑞穂市	710	663.1	107.1	99.3	115.2	▲	
		本巣市	460	443.6	103.7	94.4	113.6	▲	
		岐阜南町	272	286.0	95.1	84.1	107.1	▽	
		笠松町	340	277.9	122.3	109.7	136.1	▲▲	
		北方町	240	221.2	108.5	95.2	123.1	▲▲	
	西濃圏域	西濃保健所	大垣市	2096	1931.3	108.5	103.9	113.3	▲▲
海津市			512	440.9	116.1	106.3	126.6	▲▲	
		養老町	464	384.0	120.8	110.1	132.4	▲▲	
		垂井町	373	313.5	119.0	107.2	131.7	▲▲	
		関ヶ原町	117	92.4	126.6	104.7	151.7	▲▲	
		神戸町	341	269.4	126.6	113.5	140.8	▲▲	
		輪之内町	165	137.7	119.8	102.3	139.6	▲▲	
		安八町	222	200.3	110.9	96.8	126.4	▲▲	
		揖斐川町	317	298.0	106.4	95.0	118.8	▲	
		大野町	315	287.4	109.6	97.8	122.4	▲	
中濃圏域	関保健所	池田町	317	294.3	107.7	96.2	120.3	▲	
		関市	973	1034.9	94.0	88.2	100.1	▽	
		美濃市	225	252.4	89.1	77.9	101.6	▽	
		郡上市	582	665.8	87.4	80.5	94.8	▽	
	可茂保健所	美濃加茂市	654	636.4	102.8	95.0	110.9	▲	
		可児市	1296	1199.2	108.1	102.3	114.1	▲▲	
		坂祝町	142	107.1	132.6	111.7	156.3	▲▲	
		富加町	73	76.7	95.2	74.6	119.7	▽	
		川辺町	130	131.6	98.8	82.5	117.3	▽	
		七宗町	48	60.6	79.2	58.4	105.0	▽	
東濃圏域		八百津町	186	163.4	113.8	96.0	131.4	▲	
		白川町	95	117.0	81.2	65.7	99.3	▽▽	
		東白川村	53	34.6	153.3	114.9	200.6	▲▲	
		御嵩町	293	248.0	118.1	105.0	132.5	▲▲	
	東濃保健所	多治見市	1321	1505.6	87.7	83.1	92.6	▽▽	
		瑞浪市	453	491.5	92.2	83.9	101.1	▽	
	恵那保健所	土岐市	734	758.4	96.8	89.9	104.0	▽	
		中津川市	933	1029.7	90.6	84.9	96.6	▽▽	
		恵那市	585	679.2	86.1	79.3	93.4	▽▽	
		高山市	898	1341.9	66.9	62.6	71.4	▽▽	
飛騨圏域	飛騨保健所	飛騨市	316	412.9	76.5	68.3	85.5	▽▽	
		下呂市	398	504.3	78.9	71.4	87.1	▽▽	
		白川村	27	26.8	100.8	66.4	146.6	▲	
期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。									
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。									
区分：▽▽：県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない ▽：今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある ▲：今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある ▲▲：県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い									

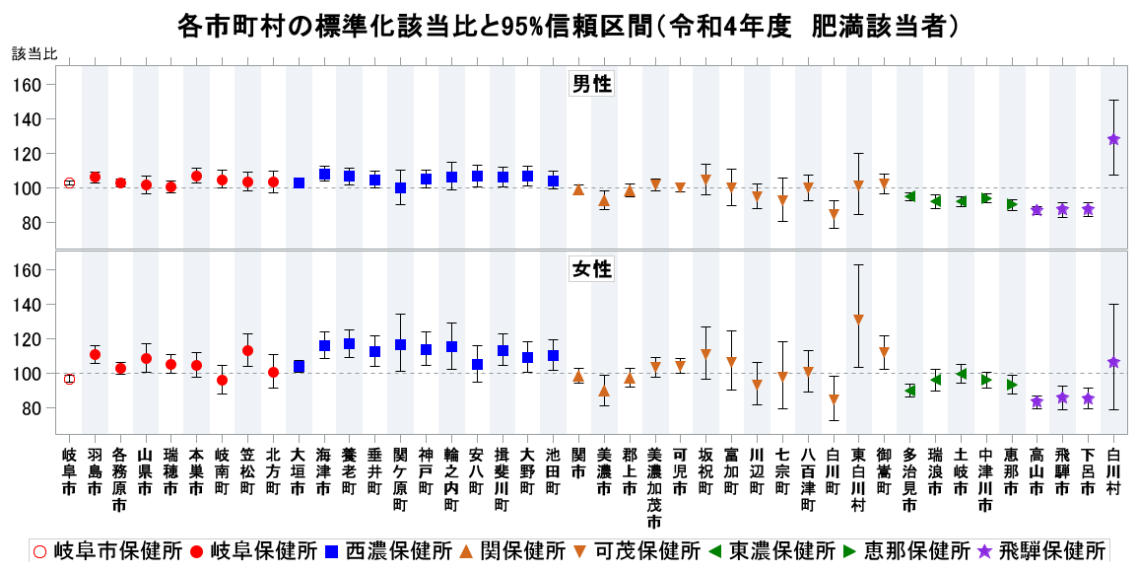
○肥満該当者の概況

県内の状況を地域別でみると、男性及び女性ともに、おおよそ県北部及び東部に該当者の少ない市町村が存在し、他方の県西部に該当者の多い市町村が存在する様相を呈しています。なおこれらの傾向は、前回までの報告書の結果とも概ね一致しています。

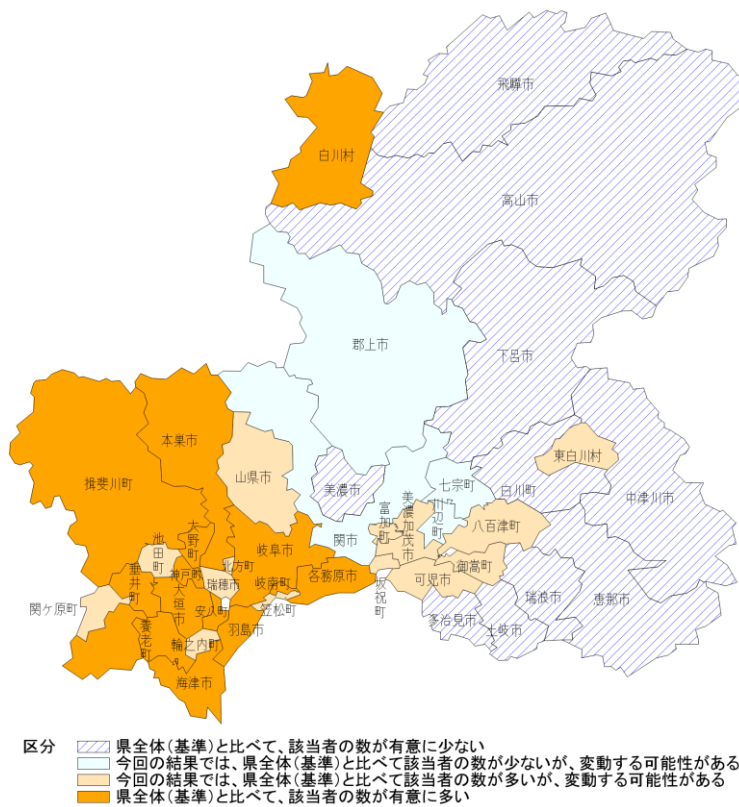
- * 肥満該当者は次の3項目のいずれかに該当する者

 - ①BMI が25 以上かつ腹囲が男性 85cm 以上、女性 90cm 以上
 - ②BMI のみ 25 以上
 - ③腹囲のみ男性 85cm 以上、女性 90cm 以上

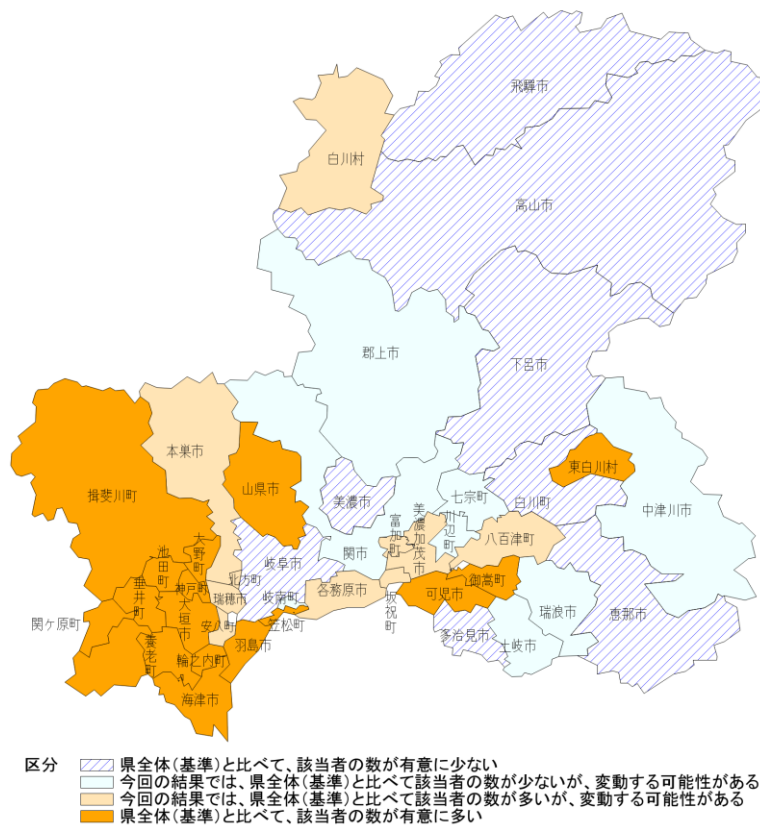
※BMI=体重(kg)÷(身長(m))²



肥満該当者(令和4年度(男性))



肥満該当者(令和4年度(女性))



肥満該当者(令和4年度 男性)

区域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化 該当比	95%信頼区間		区分	圏域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化 該当比	95%信頼区間		区分
						下限値	上限値								下限値	上限値	
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	25834	25043.6	103.2	101.9	104.4	▲▲	岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	9439	9743.4	96.9	94.9	98.8	▽▽
		羽島市	4626	4351.1	106.3	103.3	109.4	▲▲			羽島市	1758	1586.3	110.8	105.7	116.1	▲▲
	岐阜県保健所	各務原市	9250	8968.8	103.1	101.0	105.3	▲▲		岐阜県保健所	各務原市	3438	3331.3	103.2	99.8	106.7	▲▲
		山県市	1608	1579.4	101.8	96.9	106.9	▲			山県市	671	617.6	108.7	100.6	117.2	▲▲
	瑞穂市	瑞穂市	3534	3508.8	100.7	97.4	104.1	▲▲		瑞穂市	瑞穂市	1346	1275.4	105.5	100.0	111.3	▲
		本巣市	2373	2215.2	107.1	102.9	111.5	▲▲			本巣市	855	814.9	104.9	98.0	112.2	▲
	岐阜南町	岐阜南町	1616	1538.0	105.1	100.0	110.3	▲▲		岐阜南町	岐阜南町	532	551.4	96.5	88.5	105.0	▽
		笠松町	1438	1383.5	103.9	98.6	109.5	▲			笠松町	592	522.2	113.4	104.4	122.9	▲▲
	北方町	北方町	1094	1058.1	103.4	97.4	109.7	▲		北方町	北方町	431	426.8	101.0	91.7	111.0	▲
		大垣市	10412	10092.1	103.2	101.2	105.2	▲▲			西濃圏域	西濃保健所	大垣市	3858	3698.5	104.3	101.0
海津市	海津市	2445	2258.3	108.3	104.0	112.6	▲▲	海津市	926	796.1			116.3	108.9	124.1	▲▲	
	養老町	1967	1840.2	106.9	102.2	111.7	▲▲	養老町	養老町	817		696.5	117.3	109.4	125.6	▲▲	
垂井町	垂井町	1729	1648.3	104.9	100.0	110.0	▲▲		垂井町	垂井町		672	595.8	112.8	104.4	121.7	▲▲
	関ヶ原町	396	395.9	100.0	90.4	110.4	▲▲	関ヶ原町		関ヶ原町		196	167.5	117.0	101.2	134.6	▲▲
神戸町	神戸町	1627	1543.6	105.4	100.3	110.7	▲▲		神戸町	神戸町		564	494.0	114.2	104.9	124.0	▲▲
	輪之内町	709	664.4	106.7	99.0	114.9	▲▲	輪之内町		輪之内町		299	259.0	115.4	102.7	129.3	▲▲
安八町	安八町	1152	1076.1	107.1	101.0	113.4	▲▲		安八町	安八町		395	375.6	105.2	95.0	116.1	▲▲
	揖斐川町	1371	1289.1	106.4	100.8	112.1	▲▲	揖斐川町		揖斐川町		596	525.3	113.5	104.5	122.9	▲▲
大野町	大野町	1483	1387.0	106.9	101.5	112.5	▲▲		大野町	大野町		585	534.3	109.5	100.8	118.7	▲▲
	池田町	1589	1520.9	104.5	99.4	109.7	▲	池田町		池田町	614	556.0	110.4	101.9	119.5	▲▲	
中濃圏域	関保健所	関市	5270	5307.3	99.3	96.6	102.0		▽	中濃圏域	関保健所	関市	1913	1939.9	98.6	94.2	103.1
		美濃市	1109	1192.3	98.0	87.6	98.7	▽▽	美濃市			416	463.0	89.8	81.4	98.9	▽▽
	郡上市	郡上市	3024	3065.2	93.7	95.2	102.2	▽	郡上市		郡上市	1170	1200.1	97.5	92.0	103.2	▽
		美濃加茂市	3461	3388.9	102.1	98.8	105.6	▲▲			美濃加茂市	1284	1238.6	103.7	98.1	109.5	▲▲
	可児市	6513	6485.9	100.4	98.0	102.9	▲▲	可児市	可児市		2406	2302.5	104.5	100.4	108.8	▲▲	
	坂祝町	558	531.2	105.1	96.5	114.1	▲▲		坂祝町		坂祝町	218	196.2	111.1	96.8	126.9	▲▲
	富加町	354	352.8	100.3	90.1	111.3	▲▲	富加町			富加町	152	142.5	106.7	90.4	125.0	▲
	川辺町	693	728.5	95.1	88.2	102.5	▽		川辺町		川辺町	229	245.1	93.4	81.7	106.4	▽
	七宗町	220	236.6	93.0	81.1	106.1	▽	七宗町			七宗町	102	104.3	97.8	79.7	118.7	▽
	八百津町	741	740.9	100.0	92.9	107.5	▲		八百津町		八百津町	289	286.5	100.9	89.6	113.2	▲
白川町	432	510.4	84.6	76.8	93.0	▽▽	白川町	白川町		176	207.4	84.9	72.8	98.4	▽▽		
東濃圏域	東白川村	東白川村	135	133.2	101.3	85.0		120.0	▲	東濃圏域	東白川村	東白川村	80	61.1	131.0	103.9	163.1
		御嵩町	1352	1320.2	102.4	97.0	108.0	▲	御嵩町			508	453.5	112.0	102.5	122.2	▲▲
	東濃保健所	多治見市	6840	7177.4	95.3	93.1	97.6	▽▽	東濃保健所		多治見市	2515	2788.0	90.2	86.7	93.8	▽▽
		瑞浪市	2199	2383.8	92.2	88.4	96.2	▽▽			瑞浪市	883	919.0	96.1	89.8	102.6	▽
	恵那保健所	土岐市	3643	3953.0	92.2	89.2	95.2	▽▽	恵那保健所		土岐市	1430	1432.8	99.8	94.7	105.1	▽
		中津川市	5083	5409.3	94.0	91.4	96.6	▽▽			中津川市	1860	1932.3	96.3	91.9	100.7	▽
	飛騨保健所	恵那市	3006	3328.3	90.3	87.1	93.6	▽▽	飛騨保健所		恵那市	1168	1249.1	93.5	88.2	99.0	▽▽
		高山市	5366	6171.6	86.9	84.6	89.3	▽▽			高山市	2098	2515.2	83.4	79.9	87.1	▽▽
	飛騨市	飛騨市	1638	1873.4	87.4	83.3	91.8	▽▽	飛騨市		飛騨市	639	744.7	85.8	79.3	92.7	▽▽
		下呂市	1933	2201.7	87.8	83.9	91.8	▽▽			下呂市	781	914.2	85.4	79.5	91.6	▽▽
白川村	白川村	143	111.7	128.0	107.9	150.7	▲▲	白川村	白川村	51	47.9	106.5	79.3	140.0	▲		

期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。

区分：▽▽:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない

▽:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある

▲:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある

▲▲:県全体(基準)と比べて、該当者の数が多い

肥満該当者(令和4年度 女性)

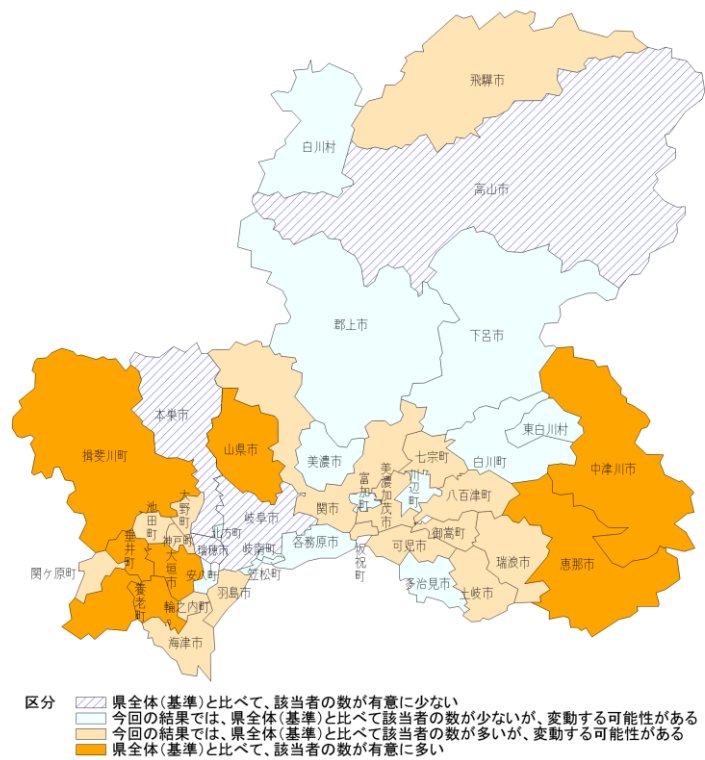
区域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化 該当比	95%信頼区間		区分	圏域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化 該当比	95%信頼区間		区分
						下限値	上限値								下限値	上限値	
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	25834	25043.6	103.2	101.9	104.4	▲▲	岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	9439	9743.4	96.9	94.9	98.8	▽▽
		羽島市	4626	4351.1	106.3	103.3	109.4	▲▲			羽島市	1758	1586.3	110.8	105.7	116.1	▲▲
	各務原市	9250	8968.8	103.1	101.0	105.3	▲▲	各務原市		3438	3331.3	103.2	99.8	106.7	▲▲		
		山県市	1608	1579.4	101.8	96.9	106.9			▲▲	山県市	671	617.6	108.7	100.6	117.2	▲▲
	瑞穂市	3534	3508.8	100.7	97.4	104.1	▲▲	瑞穂市		1346	1275.4	105.5	100.0	111.3	▲▲		
	本巣市	2373	2215.2	107.1	102.9	111.5	▲▲	本巣市		855	814.9	104.9	98.0	112.2	▲▲		
	岐阜南町	1616	1538.0	105.1	100.0	110.3	▲▲	岐阜南町		532	551.4	96.5	88.5	105.0	▽		
	笠松町	1438	1383.5	103.9	98.6	109.5	▲▲	笠松町		592	522.2	113.4	104.4	122.9	▲▲		
	北方町	1094	1058.1	103.4	97.4	109.7	▲▲	北方町		431	426.8	101.0	91.7	111.0	▲▲		
	西濃圏域	西濃保健所	大垣市	10412	10092.1	103.2	101.2	105.2		▲▲	西濃圏域	西濃保健所	大垣市	3858	3698.5	104.3	101.0
海津市			2445	2258.3	108.3	104.0	112.6	▲▲	海津市	926			796.1	116.3	108.9	124.1	▲▲
養老町		1967	1840.2	106.9	102.2	111.7	▲▲	養老町	817	696.5		117.3	109.4	125.6	▲▲		
垂井町		1729	1648.3	104.9	100.0	110.0	▲▲	垂井町	672	595.8		112.8	104.4	121.7	▲▲		
関ヶ原町		396	395.9	100.0	90.4	110.7	▲▲	関ヶ原町	196	167.5		117.0	101.2	134.6	▲▲		
神戸町		1627	1543.6	105.4	100.3	110.4	▲▲	神戸町	564	494.0		114.2	104.9	124.0	▲▲		
輪之内町		709	664.4	106.7	99.0	114.9	▲▲	輪之内町	299	259.0		115.4	102.7	129.3	▲▲		
安八町		1152	1076.1	107.1	101.0	113.4	▲▲	安八町	395	375.6		105.2	95.0	116.1	▲▲		
揖斐川町		1371	1289.1	106.4	100.8	112.1	▲▲	揖斐川町	596	525.3		113.5	104.5	122.9	▲▲		
大野町		1483	1387.0	106.9	101.5	112.5	▲▲	大野町	585	534.3		109.5	100.8	118.7	▲▲		
中濃圏域	関保健所	池田町	1589	1520.9	104.5	99.4	109.7	▲▲	中濃圏域	関保健所	池田町	614	556.0	110.4	101.9	119.5	▲▲
		関市	5270	5307.3	99.3	98.6	102.0	▽			関市	1913	1939.9	98.6	94.2	103.1	▽
	美濃市	1109	1192.3	93.7	87.6	98.7	▽▽	美濃市		416	463.0	89.8	81.4	98.9	▽▽		
	郡上市	3024	3065.2	98.0	95.2	102.2	▽	郡上市		1170	1200.1	97.5	92.0	103.2	▽		
	可茂保健所	美濃加茂市	3461	3388.9	102.1	98.8	105.6	▲▲		可茂保健所	美濃加茂市	1284	1238.6	103.7	98.1	109.5	▲▲
		可見市	6513	6485.9	100.4	98.0	102.9	▲▲			可見市	2406	2302.5	104.5	100.4	108.8	▲▲
	坂祝町	558	531.2	100.5	96.5	114.1	▲▲	坂祝町		218	196.2	111.1	96.8	126.9	▲▲		
	富加町	354	352.8	100.3	90.1	111.3	▲▲	富加町		152	142.5	106.7	90.4	125.0	▲▲		
	川辺町	693	728.5	95.1	88.2	102.5	▽	川辺町		229	245.1	93.4	81.7	106.4	▽		
	七宗町	220	236.6	93.0	81.1	106.1	▽	七宗町		102	104.3	97.8	79.7	118.7	▽		
東濃圏域	東濃保健所	八百津町	741	740.9	100.0	92.9	107.5	▽▽	東濃圏域	東濃保健所	八百津町	289	286.5	100.9	89.6	113.2	▲▲
		白川町	432	510.4	84.6	76.8	93.0	▲▲			白川町	176	207.4	84.9	72.8	98.4	▽▽
	東白川村	135	133.2	101.3	85.0	120.0	▲▲	東白川村		80	61.1	131.0	103.9	163.1	▲▲		
	御嵩町	1352	1320.2	102.4	97.0	108.0	▲▲	御嵩町		508	453.5	112.0	102.5	122.2	▲▲		
	多治見市	6840	7177.4	95.3	93.1	97.6	▽▽	多治見市		2515	2788.0	90.2	86.7	93.8	▽▽		
	瑞浪市	2199	2383.8	92.2	88.4	96.2	▽▽	瑞浪市		883	919.0	96.1	89.8	102.6	▽		
	土岐市	3643	3953.0	92.2	89.2	95.2	▽▽	土岐市		1430	1432.8	99.8	94.7	105.1	▽		
	中津川市	5083	5409.3	94.0	91.4	96.6	▽▽	中津川市		1860	1932.3	96.3	91.9	100.7	▽		
	恵那市	3006	3328.3	90.3	87.1	93.6	▽▽	恵那市		1168	1249.1	93.5	88.2	99.0	▽		
	飛騨保健所	5366	6171.6	86.9	84.6	89.3	▽▽	飛騨保健所		2098	2515.2	83.4	79.9	87.1	▽▽		
飛騨圏域	飛騨保健所	富山市	1638	1873.4	87.4	83.3	91.8	▽▽	飛騨圏域	飛騨保健所	富山市	639	744.7	85.8	79.3	92.7	▽▽
		飛騨市	1933	2201.7	87.8	83.9	91.8	▽▽			飛騨市	781	914.2	85.4	79.5	91.6	▽
	白川村	143	111.7	128.0	107.9	150.7	▲▲	白川村		51	47.9	106.5	79.3	140.0	▲		

県内の状況を地域別でみると、男性及び女性ともに、県の東部と西部に県全体（基準）と比べて該当者が有意に多い市町村がみられます。一方、男性及び女性ともに、県北部に、県全体（基準）と比べて該当者が有意に少ない市町村がみられます。これらの傾向は、前回までの報告書の結果とも概ね一致しています。

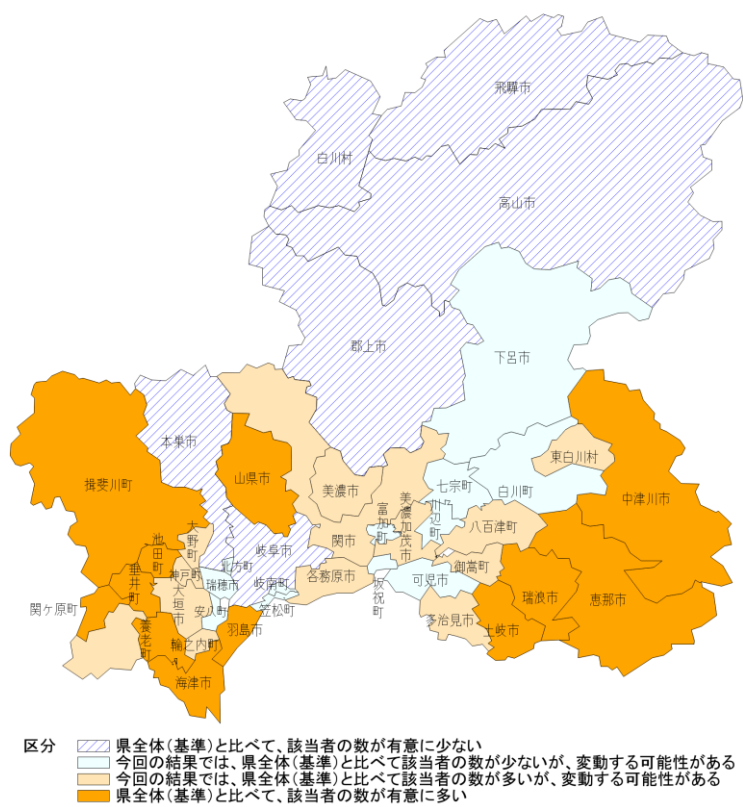
②収縮期血圧が140mmHg未満、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者



高血圧症有病者(予備群含む)(令和4年度(男性))



高血圧症有病者(予備群含む)(令和4年度(女性))



高血圧症有病者(予備群含む)(令和4年度 男性)

圏域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	該当比	95%信頼区間		区分
						下限値	上限値	
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	27865	28425.4	98.0	96.9	99.2	▽▽
		羽島市	5071	4954.3	102.4	99.6	105.2	▲
	岐阜保健所	各務原市	10075	10149.4	99.3	97.3	101.2	▽
		山県市	1935	1847.8	104.7	100.1	109.5	▲▲
	瑞穂市	瑞穂市	3762	3906.4	96.3	93.2	99.4	▽▽
		本巣市	2386	2530.4	94.3	90.5	98.2	▽▽
	岐阜南町	岐阜南町	1654	1695.2	97.6	92.9	102.4	▽
		笠松町	1531	1569.5	97.5	92.7	102.6	▽
	北方町	北方町	1158	1182.0	98.0	92.4	103.8	▽
		大垣市	11637	11366.0	102.2	100.4	104.1	▲▲
西濃圏域	西濃保健所	大垣市	2715	2632.7	103.1	99.3	107.1	▲
		海津市	2291	2160.0	106.1	101.8	110.5	▲▲
	垂井町	垂井町	1964	1857.3	105.7	101.1	110.5	▲▲
		関ヶ原町	486	464.8	104.6	95.5	114.3	▲
	神戸町	神戸町	1767	1752.6	100.8	96.2	105.6	▲
		輪之内町	758	757.0	100.1	93.1	107.5	▲
	安八町	安八町	1202	1221.8	98.4	92.9	104.1	▽
		揖斐川町	1622	1521.5	106.6	101.5	111.9	▲▲
	大野町	大野町	1657	1584.0	104.6	99.6	109.8	▲
		池田町	1751	1721.1	101.7	97.0	106.6	▲
中濃圏域	関保健所	関市	6125	6054.7	101.2	98.6	103.7	▲
		美濃市	1364	1368.2	99.3	93.1	103.6	▽
	可茂保健所	郡上市	3549	3635.9	97.6	94.4	100.9	▽
		美濃加茂市	3889	3780.2	102.9	99.7	106.2	▲▲
	可児市	可児市	7316	7308.1	100.1	97.8	102.4	▲
		坂祝町	647	621.0	104.2	96.3	112.5	▲▲
	富加町	富加町	403	407.7	98.9	89.4	109.0	▽
		川辺町	814	847.9	96.0	89.5	102.8	▽
	七宗町	七宗町	296	293.9	100.7	89.6	112.9	▲
		八百津町	929	889.5	104.4	97.8	111.4	▲
東濃圏域	白川町	白川町	624	629.0	99.2	91.6	107.3	▽
		東白川村	152	162.2	93.7	79.4	109.8	▽
	御嵩町	御嵩町	1556	1523.6	102.1	97.1	107.3	▲
		多治見市	8149	8263.0	98.6	96.5	100.8	▽
	瑞浪市	瑞浪市	2816	2728.2	103.2	99.4	107.1	▲
		土岐市	4622	4496.9	102.8	99.8	105.8	▲
	恵那保健所	中津川市	6423	6162.4	104.2	101.7	106.8	▲▲
		恵那市	4099	3875.4	105.8	102.6	109.1	▲▲
	飛騨保健所	高山市	6541	7112.7	92.0	89.7	94.2	▽▽
		飛騨市	2214	2211.0	100.1	96.0	104.4	▲
飛騨圏域	下呂市	下呂市	2509	2599.6	96.5	92.8	100.4	▽
		白川村	118	131.6	89.7	74.2	107.4	▽

期待者数は、岐阜県全体の該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。

- 区分:▽▽:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

高血圧症有病者(予備群含む)(令和4年度 女性)

圏域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	該当比	95%信頼区間		区分
						下限値	上限値	
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	18074	18611.0	97.1	95.7	98.5	▽▽
		羽島市	3240	3058.9	105.9	102.3	109.6	▲▲
	岐阜保健所	各務原市	6413	6397.4	100.2	97.8	102.7	▲
		山県市	1331	1243.7	107.0	101.3	112.9	▲▲
	瑞穂市	瑞穂市	2334	2397.7	97.3	93.4	101.4	▽
		本巣市	1496	1621.3	92.3	87.7	97.1	▽▽
	岐阜南町	岐阜南町	999	1032.4	96.8	90.9	103.0	▽
		笠松町	991	1009.7	98.1	92.1	104.5	▽
	北方町	北方町	794	798.9	99.4	92.6	106.5	▽
		大垣市	7086	6986.0	101.4	99.1	103.8	▲
西濃圏域	西濃保健所	大垣市	1786	1617.8	110.4	105.3	115.6	▲▲
		海津市	1525	1408.1	108.3	102.9	113.9	▲▲
	垂井町	垂井町	1262	1136.8	111.0	105.0	117.3	▲▲
		関ヶ原町	378	339.1	111.5	100.5	123.3	▲▲
	神戸町	神戸町	1044	985.7	105.9	99.6	112.5	▲
		輪之内町	540	500.3	107.9	99.0	117.4	▲
	安八町	安八町	726	729.2	99.6	92.4	107.1	▽
		揖斐川町	1205	1100.9	109.5	103.4	115.8	▲▲
	大野町	大野町	1066	1046.6	101.9	95.8	108.2	▲
		池田町	1141	1067.1	106.9	100.8	113.3	▲▲
中濃圏域	関保健所	関市	3847	3764.8	102.2	99.0	105.5	▲
		美濃市	942	922.4	102.1	95.7	108.9	▲
	可茂保健所	郡上市	2136	2442.9	87.4	83.8	91.2	▽▽
		美濃加茂市	2371	2292.3	103.4	99.3	107.7	▲
	可児市	可児市	4243	4335.6	97.9	94.9	100.9	▽
		坂祝町	379	392.3	96.6	87.1	106.8	▽
	富加町	富加町	271	279.5	96.9	85.7	109.2	▽
		川辺町	438	479.1	91.4	83.1	100.4	▽
	七宗町	七宗町	218	224.8	97.0	84.5	110.7	▽
		八百津町	613	603.3	101.6	93.7	110.0	▲
東濃圏域	白川町	白川町	409	430.8	94.9	86.0	104.6	▽
		東白川村	136	127.4	106.7	89.6	126.3	▲
	御嵩町	御嵩町	916	909.5	100.7	94.3	107.5	▲
		多治見市	5516	5489.1	100.5	97.9	103.2	▲
	瑞浪市	瑞浪市	2002	1787.3	112.0	107.2	117.0	▲▲
		土岐市	2921	2754.5	106.0	102.2	110.0	▲▲
	恵那保健所	中津川市	4034	3744.6	107.7	104.4	111.1	▲▲
		恵那市	2683	2483.6	108.0	104.0	112.2	▲▲
	飛騨保健所	高山市	4116	4882.2	84.3	81.7	86.9	▽▽
		飛騨市	1404	1515.4	92.6	87.9	97.6	▽▽
飛騨圏域	下呂市	下呂市	1793	1848.1	97.0	92.6	101.6	▽
		白川村	78	98.8	79.0	62.4	98.6	▽▽

期待者数は、岐阜県全体の該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。

- 区分:▽▽:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

○糖尿病有病者の概況

県内の状況を地域別でみると、男性及び女性ともに、県の南部に県全体（基準）と比べて該当者が有意に多い市町村がみられます。しかし、各市町村とも該当比は100付近に分布しており、大きな差が比較的小さい状況です。これらの傾向は、前回までの報告書の結果とも概ね一致しています。

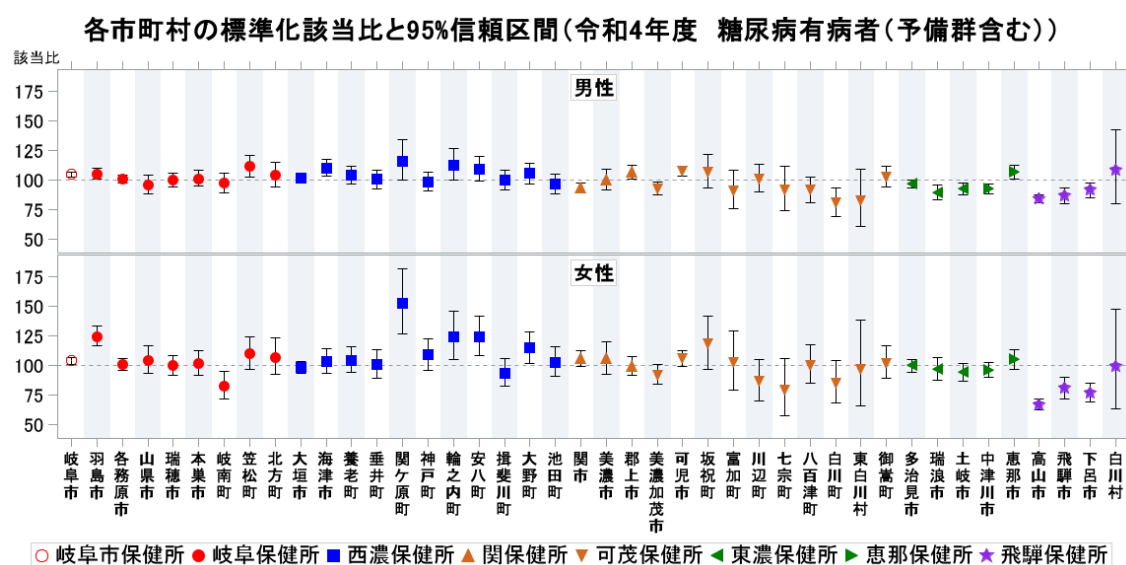
* 糖尿病有病者

空腹時血糖 126mg/dl 以上、または HbA1c 6.5%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者

* 糖尿病予備群

空腹時血糖 110mg/dl 以上 126mg/dl 未満、または HbA1c 6.0%以上 6.5%未満の者

ただしインスリン注射または血糖を下げる薬を服用する者を除く



A map of Aichi Prefecture with Gifu City (岐阜市) highlighted in orange. The city is centrally located, surrounded by other municipalities in Aichi, such as Gifu Prefecture (岐阜県) in light blue and neighboring prefectures in light green. The map shows the city's position relative to the surrounding regions.

- 47 -

糖尿病患者(予備群含む)(令和4年度 男性)

圏域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化		95%信頼区間		区分
					該当比	下限値	上限値		
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	10102	9615.7	105.1	103.0	107.1	▲▲	
		羽島市	1774	1681.6	105.5	100.6	110.5	▲▲	
	岐阜保健所	各務原市	3451	3431.0	100.6	97.3	104.0	▲	
		山梨市	619	644.0	96.1	88.7	104.0	▽	
	瑞穂市	瑞穂市	1298	1297.6	100.0	94.7	105.6	▲	
		本巣市	876	864.4	101.3	94.7	108.3	▲	
	岐阜南町	岐阜南町	544	558.7	97.4	89.4	105.9	▽	
		笠松町	592	530.5	111.6	102.8	121.0	▲▲	
	北方町	北方町	409	392.5	104.2	94.4	114.8	▲	
		大垣市	3911	3833.0	102.0	98.9	105.3	▲	
西濃圏域	西濃保健所	海津市	1004	909.5	110.4	103.7	117.4	▲▲	
		養老町	787	754.1	104.4	97.2	111.9	▲▲	
	垂井町	垂井町	629	624.9	100.7	92.9	108.8	▲▲	
		関ヶ原町	189	162.4	116.4	100.4	134.2	▲▲	
	神戸町	神戸町	589	596.5	98.7	90.9	107.1	▽	
		輪之内町	291	257.7	112.9	100.3	126.6	▲▲	
	安八町	安八町	453	414.3	109.3	99.5	119.9	▲▲	
		揖斐川町	535	534.9	100.0	91.7	108.9	▲▲	
	大野町	大野町	571	540.2	105.7	97.2	114.7	▲	
		池田町	562	581.6	96.6	88.8	105.0	▽	
中濃圏域	関保健所	関市	1930	2065.3	93.4	89.3	97.7	▽▽	
		美濃市	484	482.4	100.3	91.6	109.7	▲▲	
	可茂保健所	郡上市	1373	1285.3	106.8	101.2	112.6	▲▲	
		美濃加茂市	1172	1261.3	92.9	87.7	98.4	▽▽	
	可児市	可児市	2648	2460.4	107.6	103.6	111.8	▲▲	
		坂祝町	232	216.7	107.1	93.7	121.8	▲	
	富加町	富加町	128	140.5	91.1	76.0	108.3	▽	
		川辺町	298	294.7	101.1	90.0	113.3	▲	
	七宗町	七宗町	99	107.8	91.8	74.6	111.8	▽	
		八百津町	290	317.2	91.4	81.2	102.6	▽	
東濃圏域	東濃保健所	白川町	185	229.3	80.7	69.5	93.2	▽▽	
		東白川村	47	57.0	82.4	60.5	109.6	▲	
	御嵩町	御嵩町	539	524.8	102.7	94.2	111.8	▲	
		多治見市	2746	2835.5	96.8	93.3	100.5	▽	
	瑞浪市	瑞浪市	836	932.5	89.6	83.7	95.9	▽▽	
		土岐市	1410	1528.1	92.3	87.5	97.2	▽▽	
	恵那保健所	中津川市	1935	2097.3	92.3	88.2	96.5	▽▽	
		恵那市	1435	1346.3	106.6	101.1	112.2	▲▲	
	飛騨保健所	高山市	2064	2451.7	84.2	80.6	87.9	▽▽	
		飛騨市	675	779.4	86.6	80.2	93.4	▽▽	
飛騨圏域	下呂市	下呂市	838	915.1	91.6	85.5	98.0	▽▽	
		白川村	50	46.3	108.1	80.2	142.5	▲	

期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。

- 区分：▽▽:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

糖尿病患者(予備群含む)(令和4年度 女性)

圏域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化		95%信頼区間		区分
					該当比	上	下限値	上限値	
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	4506	4328.9	104.1	101.1	107.2	▲▲	
		羽島市	897	719.3	124.7	116.7	133.1	▲▲	
	岐阜保健所	各務原市	1512	1499.5	100.8	95.8	106.0	▲	
		山県市	311	297.8	104.4	93.1	116.7	▲	
	瑞穂市	瑞穂市	557	557.5	99.9	91.8	108.6	▽	
		本巣市	394	386.6	101.9	92.1	112.5	▲	
	岐阜南町	岐阜南町	198	239.3	82.7	71.6	95.1	▽▽	
		笠松町	259	236.0	109.7	96.8	124.0	▲	
	北方町	北方町	196	183.1	107.0	92.6	123.1	▲	
		大垣市	1602	1625.3	98.6	93.8	103.5	▽	
西濃圏域	西濃保健所	海津市	404	389.5	103.7	93.9	114.4	▲	
		養老町	355	339.2	104.7	94.1	116.1	▲	
	垂井町	垂井町	268	265.9	100.8	89.1	113.6	▲	
		関ヶ原町	124	81.2	152.6	126.9	182.0	▲▲	
	神戸町	神戸町	258	236.9	108.9	96.0	123.1	▲	
		輪之内町	147	118.3	124.2	105.0	146.0	▲▲	
	安八町	安八町	214	172.0	124.4	108.3	142.3	▲▲	
		揖斐川町	253	270.3	93.6	82.4	105.9	▽	
	大野町	大野町	284	247.5	114.7	101.8	128.9	▲	
		池田町	257	250.1	102.8	90.6	116.1	▲	
中濃圏域	関保健所	関市	940	887.9	105.9	99.2	112.9	▲	
		美濃市	233	220.4	105.7	92.6	120.2	▲	
	可茂保健所	郡上市	587	590.4	99.4	91.6	107.8	▽	
		美濃加茂市	486	527.9	92.1	84.1	100.6	▽	
	可児市	可児市	1065	1006.6	105.8	99.5	112.4	▲	
		坂祝町	111	94.0	118.1	97.1	142.2	▲	
	富加町	富加町	68	66.4	102.3	79.5	129.7	▲	
		川辺町	98	113.4	86.4	70.1	105.3	▽	
	七宗町	七宗町	44	55.7	79.0	57.4	106.0	▽	
		八百津町	148	147.6	100.3	84.8	117.8	▲	
東濃圏域	東濃保健所	白川町	89	104.8	84.9	68.2	104.5	▲	
		東白川村	30	30.9	97.1	65.5	138.7	▲	
	御嵩町	御嵩町	223	218.4	102.1	89.1	116.4	▲	
		多治見市	1302	1303.1	99.9	94.6	105.5	▽	
	瑞浪市	瑞浪市	409	421.9	96.9	87.8	106.8	▽	
		土岐市	609	645.8	94.3	87.0	102.1	▽	
	恵那保健所	中津川市	849	883.5	96.1	89.7	102.8	▽	
		恵那市	623	593.7	104.9	96.9	113.5	▲	
	飛騨保健所	高山市	776	1155.3	67.2	62.5	72.1	▽▽	
		飛騨市	296	367.1	80.6	71.7	90.4	▽▽	
飛騨圏域	下呂市	下呂市	342	445.1	76.8	68.9	85.4	▽▽	
		白川村	24	24.1	99.5	63.7	148.1	▽	

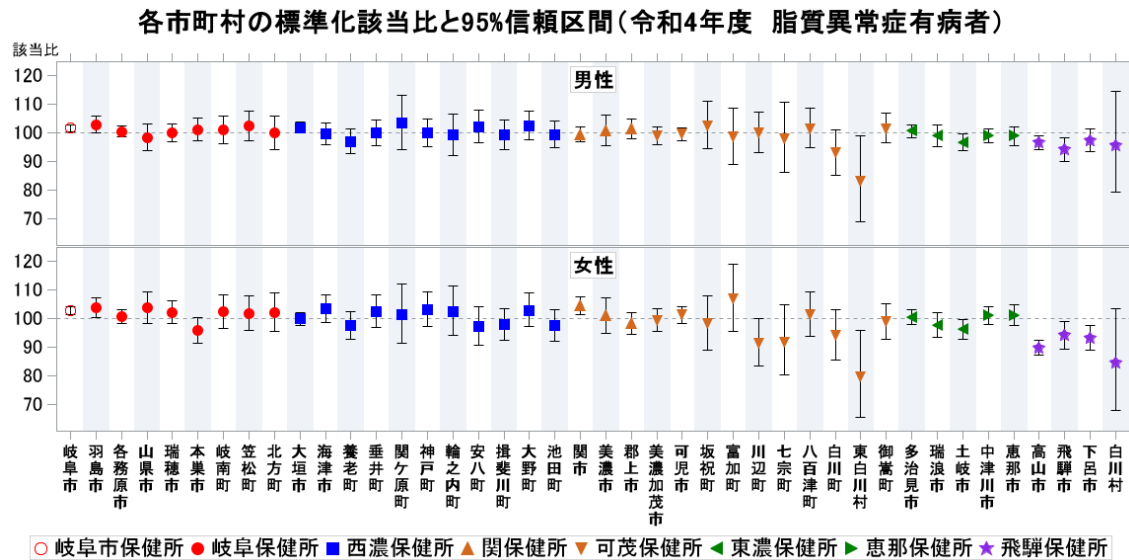
期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。

- 区分：▽▽:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲:今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲:県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

○脂質異常症有病者の概況

県内の状況を地域別でみると、男性及び女性ともに、該当者が有意に多い市町村は少なく、県全体としては該当比が 100 付近に分布しており、大きな差が比較的少ない状況です。これらの傾向は、前回までの報告書の結果とも概ね一致しています。

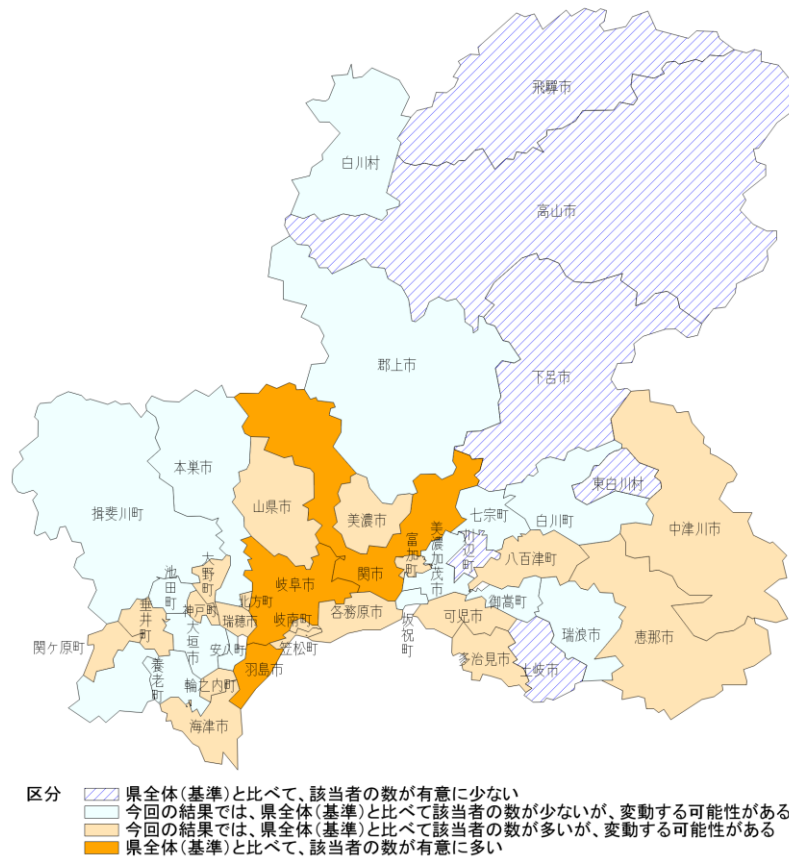
* 脂質異常症有病者
中性脂肪 150mg/dl 以上、または HDL コレステロール 40mg/dl 未満、または LDL コレステロール 140mg/dl 以上、もしくはコレステロールを下げる薬を服用する者



脂質異常症有病者(令和4年度(男性))



脂質異常症有病者(令和4年度(女性))



脂質異常症有病者（令和4年度 男性）

圏域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化		95%信頼区間		区分
					該当比	下限値	上限値		
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	28414	27977.8	101.6	100.4	102.7	▲▲	
		羽島市	4994	4859.7	102.8	99.9	105.7	▲	
	各務原市	各務原市	10056	10013.5	100.4	98.5	102.4	▲	
		山県市	1729	1760.8	98.2	93.6	102.9	▽	
	瑞穂市	瑞穂市	3912	3920.2	99.8	96.7	103.0	▽	
		本巣市	2493	2470.5	100.9	97.0	105.0	▲	
	岐阜南町	岐阜南町	1736	1719.0	101.0	96.3	105.9	▲	
		笠松町	1580	1545.0	102.3	97.3	107.4	▲	
	北方町	北方町	1181	1183.4	99.8	94.2	105.7	▽	
		大垣市	11468	11278.1	101.7	99.8	103.6	▲	
西濃圏域	西濃保健所	海津市	2508	2519.4	99.5	95.7	103.5	▽	
		養老町	1988	2052.4	96.9	92.7	101.2	▽	
		垂井町	1839	1841.6	99.9	95.3	104.5	▽	
		関ヶ原町	456	441.7	103.2	94.0	113.2	▲	
		神戸町	1720	1723.1	99.8	95.2	104.7	▽	
		輪之内町	735	741.4	99.1	92.1	106.6	▽	
		安八町	1225	1201.8	101.9	96.3	107.8	▲	
		揖斐川町	1423	1436.4	99.1	94.0	104.4	▲	
		大野町	1588	1550.1	102.4	97.5	107.6	▲	
		池田町	1690	1701.3	99.3	94.7	104.2	▽	
中濃圏域	関保健所	関市	5888	5926.8	99.3	96.8	101.9	▽	
		美濃市	1340	1330.7	100.7	95.4	106.2	▲	
	可茂保健所	郡上市	3461	3416.0	101.3	98.0	104.7	▲	
		美濃加茂市	3748	3787.9	98.9	95.8	102.2	▽	
		可児市	7203	7245.7	99.4	97.1	101.7	▽	
		坂祝町	605	590.5	102.5	94.5	111.0	▲	
		富加町	387	393.4	98.4	88.8	108.7	▽	
		川辺町	811	811.8	99.9	93.1	107.0	▽	
		七宗町	257	262.6	97.9	86.3	110.6	▽	
		八百津町	835	823.6	101.4	94.6	108.5	▽	
東白川村	白川町	527	567.6	92.8	85.1	101.1	▽		
	東白川村	123	148.5	82.8	68.8	98.8	▽		
東濃圏域	御嵩町	御嵩町	1493	1471.7	101.4	96.4	106.7	▲	
		多治見市	8053	8011.8	100.5	98.3	102.7	▲	
	東濃保健所	瑞浪市	2632	2662.5	98.9	95.1	102.7	▽	
		土岐市	4263	4416.8	96.5	93.6	99.5	▽	
	恵那保健所	中津川市	5975	6039.8	98.9	96.4	101.5	▽	
		恵那市	3663	3710.6	98.7	95.5	102.0	▽	
	飛騨圏域	飛騨保健所	高山市	6642	6886.8	96.4	94.1	98.8	▽▽
			飛騨市	1960	2085.1	94.0	89.9	98.3	▽▽
			下呂市	2386	2453.8	97.2	93.4	101.2	▽
			白川村	119	124.6	95.5	79.1	114.3	▽

期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。
区分：▽▽：県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽：今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲：今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲：県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

脂質異常症有病者（令和4年度 女性）

圏域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化		95%信頼区間		区分
					該当比	下限値	上限値		
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	21231	20706.9	102.5	101.2	103.9	▲▲	
		羽島市	3502	3378.4	103.7	100.3	107.1	▲▲	
	各務原市	各務原市	7103	7057.6	100.6	98.3	103.0	▲	
		山県市	1417	1366.7	103.7	98.3	109.2	▲	
	瑞穂市	2713	2658.1	102.1	98.3	106.0	▲		
	本巣市	1698	1775.2	95.7	91.2	100.3	▽		
	岐阜南町	1174	1148.4	102.2	96.5	108.3	▲		
	笠松町	1135	1115.2	101.8	95.9	107.9	▲		
	北方町	913	894.3	102.1	95.6	108.9	▲		
	大垣市	7784	7796.1	99.8	97.6	102.1	▽		
西濃圏域	海津市	1833	1773.5	103.4	98.7	108.2	▲		
	養老町	1507	1546.9	97.4	92.6	102.5	▽		
	垂井町	1291	1260.3	102.4	96.9	108.2	▲		
	関ヶ原町	377	372.5	101.2	91.2	112.0	▲		
	神戸町	1107	1074.5	103.0	97.0	109.3	▲		
	輪之内町	564	550.5	102.5	94.2	111.3	▲		
	安八町	780	803.0	97.1	90.4	104.2	▽		
	揖斐川町	1164	1191.2	97.7	92.2	103.5	▽		
	大野町	1189	1156.4	102.8	97.1	108.8	▲		
	池田町	1159	1189.6	97.4	91.9	103.2	▽		
中濃圏域	関保健所	4365	4175.8	104.5	101.5	107.7	▲▲		
	美濃市	1029	1020.9	100.8	94.7	107.1	▲		
	郡上市	2632	2684.3	98.1	94.3	101.9	▽		
	美濃加茂市	2552	2570.3	99.3	95.5	103.2	▽		
	可児市	4889	4833.4	101.1	98.3	104.0	▲		
	坂祝町	422	430.4	98.0	88.9	107.9	▽		
	富加町	329	308.2	106.8	95.5	118.9	▲		
	川辺町	485	531.4	91.3	83.3	99.8	▽▽		
	七宗町	223	243.1	91.7	80.1	104.6	▽		
	八百津町	664	655.4	101.3	93.7	109.3	▲		
東濃圏域	白川町	446	474.6	94.0	85.4	103.1	▽		
	東白川村	111	139.8	79.4	65.3	95.6	▽		
	御嵩町	988	999.0	98.9	92.8	105.3	▽		
	多治見市	6087	6064.0	100.4	97.9	102.9	▲		
	瑞浪市	1938	1987.2	97.5	93.2	102.0	▽		
	土岐市	2944	3062.4	96.1	92.7	99.7	▽▽		
	中津川市	4185	4150.5	100.8	97.8	103.9	▲		
	恵那市	2757	2727.6	101.1	97.3	104.9	▲		
	高山市	4842	5397.6	89.7	87.2	92.3	▽▽		
	飛騨市	1556	1656.6	93.9	89.3	98.7	▽▽		
飛騨圏域	下呂市	1897	2037.4	93.1	89.0	97.4	▽▽		
	白川村	90	106.9	84.2	67.7	103.5	▽		

期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。
区分：▽▽：県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽：今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲：今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲：県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

○習慣的喫煙者の概況

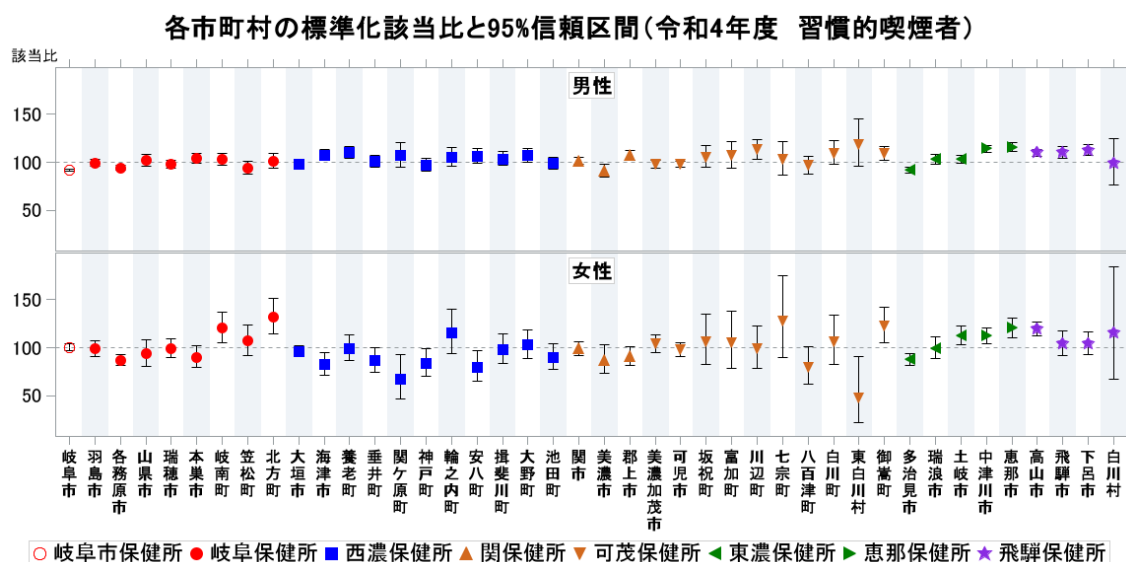
県内の状況を地域別でみると、男性では、県北部から東部にかけて該当者が有意に多い市町村が多くみられます。

女性では、県北部、県東部及び岐阜圏域の一部に該当者の有意に多い地域がみられます。ただし女性の喫煙者の総数は男性と比較して少ないために、地域間差が比較的大きくなる傾向があり、その影響とも考えられます。

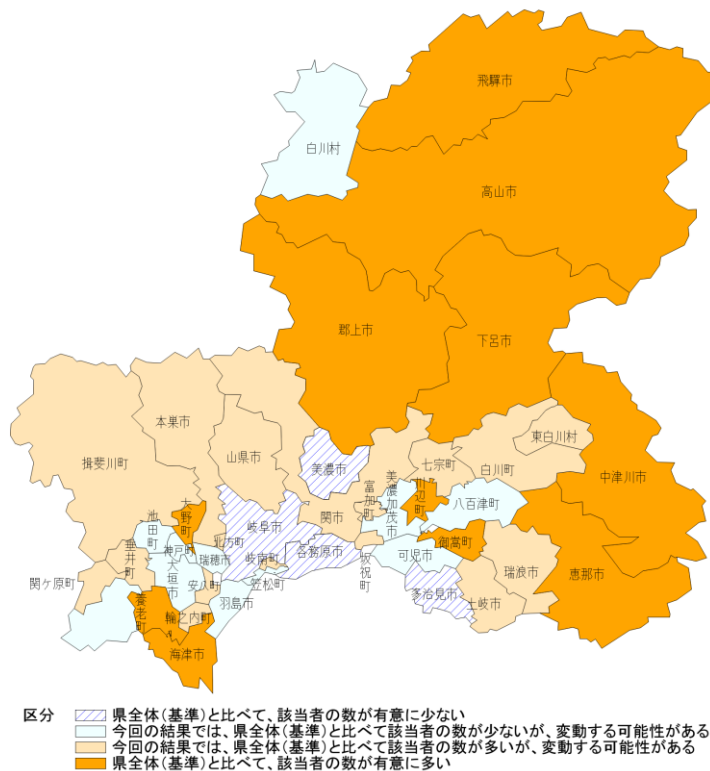
これらの傾向は、前回までの報告書の結果とも概ね一致しています。

* 現在、習慣的に喫煙している者

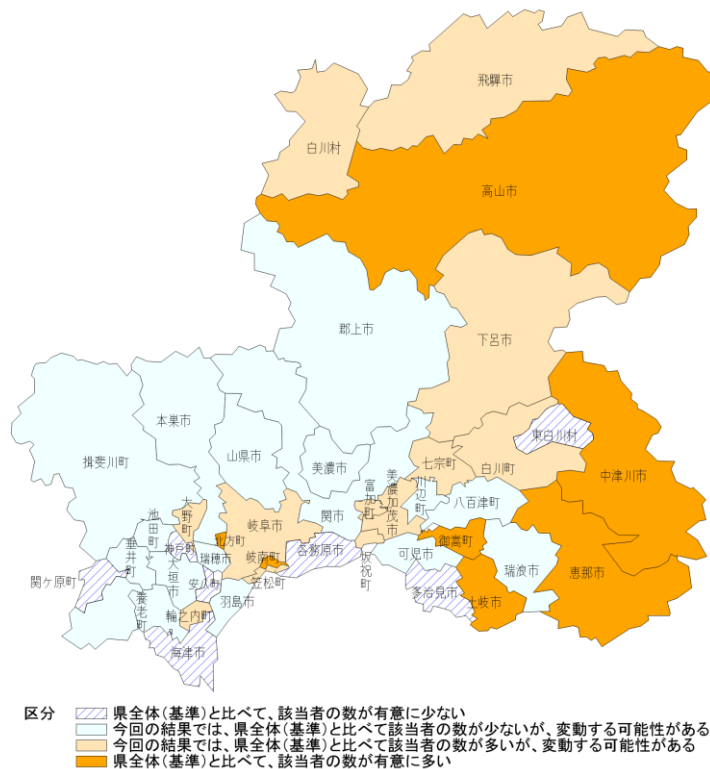
「合計 100 本以上、または 6 ヶ月以上吸っている者」であり、「最近 1 ヶ月間も吸っている者」



習慣的喫煙者(令和4年度(男性))



習慣的喫煙者(令和4年度(女性))



習慣的喫煙者(令和4年度 男性)

区域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化 該当比		95%信頼区間		区分
					下	上	下限値	上限値	
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	14894	16215.9	91.8	90.4	93.3	93.3	▽▽
		羽島市	2776	2796.6	99.3	95.6	103.0	103.0	▽
	岐阜保健所	各務原市	5459	5794.3	94.2	91.7	96.7	96.7	▽▽
		山県市	1000	979.8	102.1	95.8	108.6	108.6	▲
	瑞穂市	瑞穂市	2261	2313.6	97.7	93.7	101.8	101.8	▲
		本美市	1466	1410.9	103.9	98.7	109.4	109.4	▲
	岐南町	岐南町	1055	1026.5	102.8	96.7	109.2	109.2	▲
		安松町	840	892.4	94.1	87.9	100.7	100.7	▽
	北方町	北方町	709	700.3	101.2	93.9	109.0	109.0	▲
		大垣市	6436	6583.4	97.8	95.4	100.2	100.2	▽
	西濃保健所	海津市	1519	1409.0	107.8	102.5	113.4	113.4	▲▲
		養老町	1252	1137.9	110.0	104.0	116.3	116.3	▲▲
中濃圏域	関保保健所	垂井町	1088	1076.3	101.1	95.2	107.3	107.3	▲
		関ヶ原町	263	245.3	107.2	94.6	121.0	121.0	▲
	神戸町	神戸町	967	992.7	97.4	91.4	103.8	103.8	▽
		輪之内町	447	424.7	105.3	95.7	115.5	115.5	▲
	安八町	安八町	740	693.5	106.7	99.1	114.7	114.7	▲
		揖斐川町	819	790.6	103.6	96.6	110.9	110.9	▲
	大野町	大野町	957	894.2	107.0	100.4	114.0	114.0	▲▲
		池田町	988	994.2	99.4	93.3	105.8	105.8	▽
	関保保健所	関市	3452	3404.5	101.4	98.0	104.8	104.8	▲
		美濃市	680	746.0	91.1	84.4	98.3	98.3	▽▽
	可茂保健所	郡上市	2004	1867.1	107.3	102.7	112.1	112.1	▲
		美濃加茂市	2190	2236.9	97.9	93.8	102.1	102.1	▲▲
東濃圏域	可茂保健所	可児市	4124	4223.5	97.6	94.7	100.7	100.7	▽
		坂祝町	346	327.9	105.5	94.7	117.2	117.2	▲
	富加町	富加町	237	221.4	107.0	93.8	121.6	121.6	▲
		川辺町	517	456.5	113.2	103.7	123.4	123.4	▲▲
	七宗町	七宗町	137	133.0	103.0	86.5	121.8	121.8	▲
		八百津町	429	442.1	97.0	88.1	106.7	106.7	▽
	白川町	白川町	322	293.8	109.6	98.0	122.3	122.3	▲
		東白川村	94	79.1	118.9	96.1	145.5	145.5	▲
	御嵩町	御嵩町	911	832.9	109.4	102.4	116.7	116.7	▲▲
		多治見市	4190	4561.9	91.8	89.1	94.7	94.7	▽▽
	東濃保健所	瑞浪市	1581	1531.2	103.3	98.2	108.5	108.5	▲
		工坂市	2631	2596.7	102.9	99.0	106.9	106.9	▲
	恵那保健所	中津川市	3983	3481.7	114.4	110.9	118.0	118.0	▲▲
飛騨圏域	飛騨保健所	恵那市	2405	2076.4	115.8	111.2	120.5	120.5	▲▲
		富山市	4294	3906.2	109.9	106.7	113.3	113.3	▲
	飛騨市	飛騨市	1257	1140.0	110.3	104.3	116.5	116.5	▲
		下呂市	1526	1354.1	112.7	107.1	118.5	118.5	▲▲
	白川村	白川村	68	68.8	98.8	76.7	125.2	125.2	▽

期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。

区分: ▽▽: 県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽: 今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲: 今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲: 県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

(※)結果の公表によって特定の個人が第三者に識別されないよう、「匿名医療保険関連情報データベース(NDB)」の利用に関するガイドライン(第2版)」に従い、該当者数が20人未満の場合は、該当者数及び期待該当者数は表示しません。

習慣的喫煙者(令和4年度 女性)

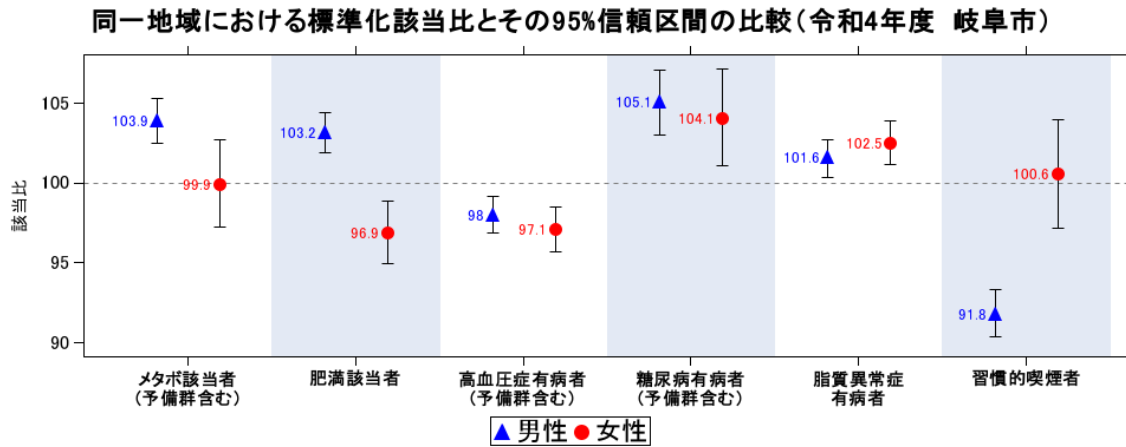
区域	保健所	市町村	該当者数	期待者数	標準化 該当比		95%信頼区間		区分
					下	上	下限値	上限値	
岐阜圏域	岐阜市保健所	岐阜市	3416	3397.1	100.6	97.2	104.0	104.0	▲
		羽島市	538	543.8	98.9	90.7	107.6	107.6	▽
	岐阜保健所	各務原市	997	1146.9	86.9	81.6	92.5	92.5	▽▽
		山県市	187	199.2	93.9	80.9	108.3	108.3	▽
	瑞穂市	瑞穂市	448	451.1	99.3	90.3	108.9	108.9	▽
		本美市	240	265.9	90.3	79.2	102.4	102.4	▽
	岐南町	岐南町	237	196.6	120.5	105.7	136.9	136.9	▲▲
		安松町	191	178.4	107.1	92.4	123.4	123.4	▲
	北方町	北方町	203	153.3	132.4	114.8	151.9	151.9	▲▲
		大垣市	1261	1309.5	96.3	91.1	101.8	101.8	▽
	西濃保健所	海津市	209	252.8	82.7	71.9	94.7	94.7	▽▽
		養老町	222	223.1	99.5	86.8	113.5	113.5	▽
中濃圏域	関保保健所	垂井町	180	207.5	86.7	74.5	100.4	100.4	▽
		関ヶ原町	36	53.5	67.2	47.1	93.1	93.1	▽▽
	神戸町	神戸町	134	160.2	83.7	70.1	99.1	99.1	▽▽
		輪之内町	102	88.1	115.7	94.3	140.5	140.5	▲
	安八町	安八町	102	127.9	79.7	65.0	96.8	96.8	▽▽
		揖斐川町	155	157.9	98.2	83.3	114.9	114.9	▽
	大野町	大野町	185	179.6	103.0	88.7	119.0	119.0	▲
		池田町	174	193.1	90.1	77.2	104.5	104.5	▽
	関保保健所	関市	655	662.1	98.9	91.5	106.8	106.8	▽
		美濃市	133	152.5	87.2	73.0	103.3	103.3	▽
	可茂保健所	郡上市	345	380.1	90.8	81.4	100.9	100.9	▽
		美濃加茂市	467	449.4	103.9	94.7	113.8	113.8	▲
東濃圏域	可茂保健所	可児市	801	818.6	97.8	91.2	104.9	104.9	▽
		坂祝町	68	63.8	106.5	82.7	135.0	135.0	▲
	富加町	富加町	50	47.5	105.2	78.1	138.7	138.7	▲
		川辺町	82	82.6	99.3	78.9	123.2	123.2	▽
	七宗町	七宗町	38	29.8	127.7	90.4	175.3	175.3	▲
		八百津町	68	85.2	79.8	62.0	101.2	101.2	▽
	白川町	白川町	68	64.1	106.0	82.3	134.4	134.4	▲
		東白川村(※)	< 20	-	48.1	21.9	91.3	91.3	▽▽
	御嵩町	御嵩町	181	147.6	122.7	105.4	141.9	141.9	▲▲
		多治見市	818	930.2	87.9	82.0	94.2	94.2	▽▽
	東濃保健所	瑞浪市	311	313.3	99.3	88.5	110.9	110.9	▽
		工坂市	559	496.3	112.6	103.5	122.4	122.4	▲▲
	恵那保健所	中津川市	740	659.8	112.2	104.2	120.5	120.5	▲▲
飛騨圏域	飛騨保健所	恵那市	493	409.7	120.3	110.0	131.5	131.5	▲▲
		富山市	1024	855.0	119.8	112.5	127.3	127.3	▲
	飛騨市	飛騨市	245	235.2	104.2	91.5	118.1	118.1	▲
		下呂市	307	294.0	104.4	93.1	116.8	116.8	▲
	白川村(※)	白川村	< 20	-	115.2	67.1	184.5	184.5	▲

期待者数は、岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。
標準化該当比は、実際の該当者数を期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が県全体(基準)よりも少ないことを示す。さらに標準化該当比の95%信頼区間を算出して、これらのデータを4段階に区分した。

区分: ▽▽: 県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
▽: 今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
▲: 今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
▲▲: 県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

(※)結果の公表によって特定の個人が第三者に識別されないよう、「匿名医療保険関連情報データベース(NDB)」の利用に関するガイドライン(第2版)」に従い、該当者数が20人未満の場合は、該当者数及び期待該当者数は表示しません。

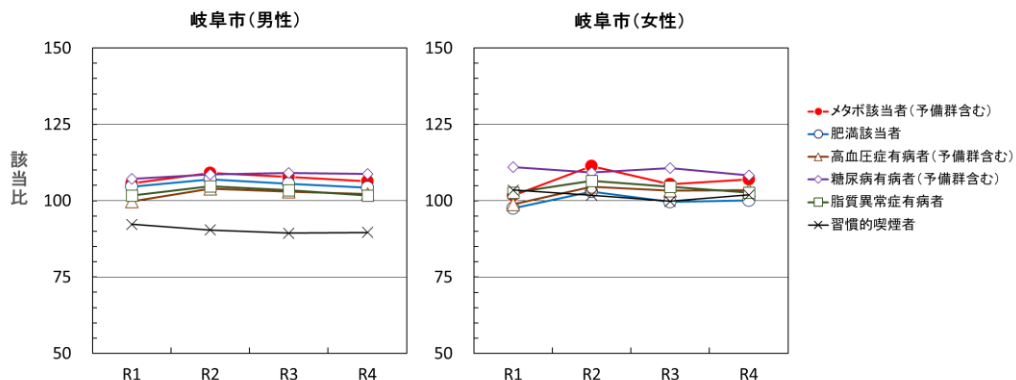
(2) 市町村別 標準化該当比の比較



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

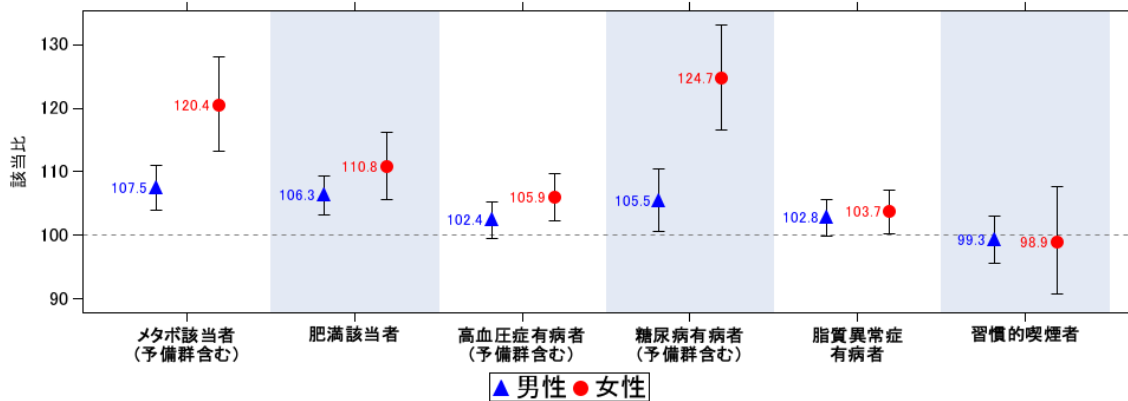
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

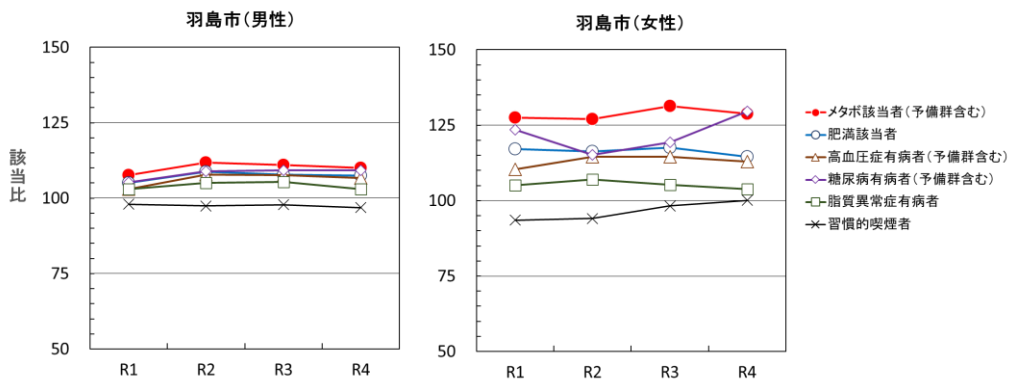
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 羽島市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

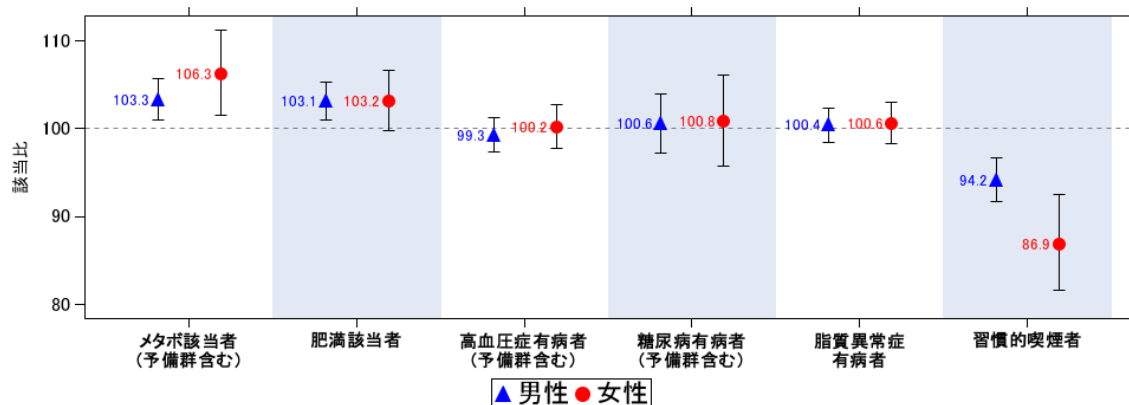
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

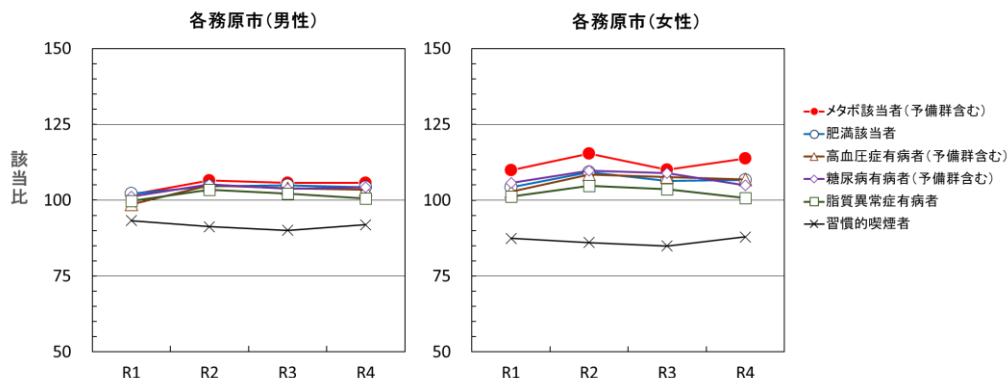
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 各務原市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

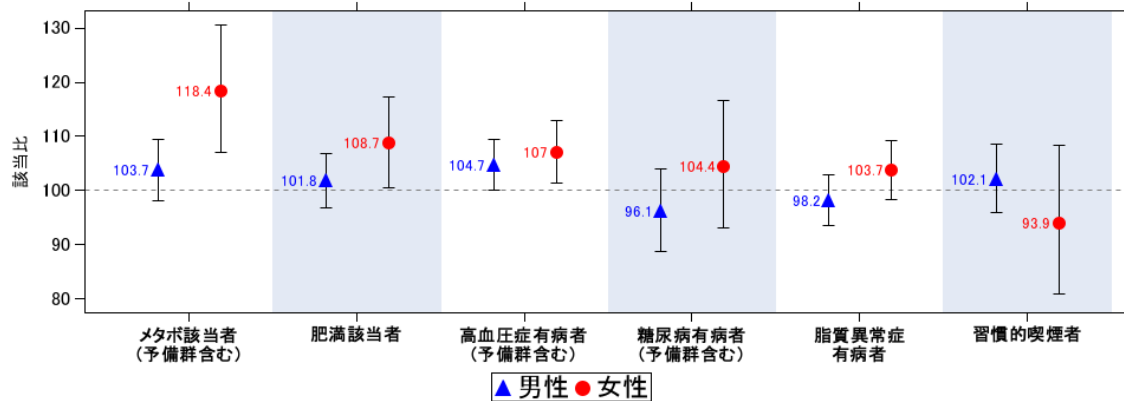
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは平成24年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

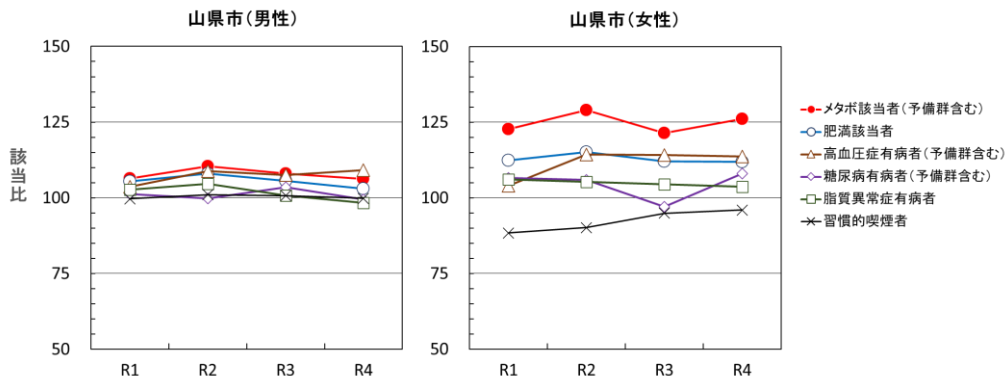
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 山県市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体(基準)よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

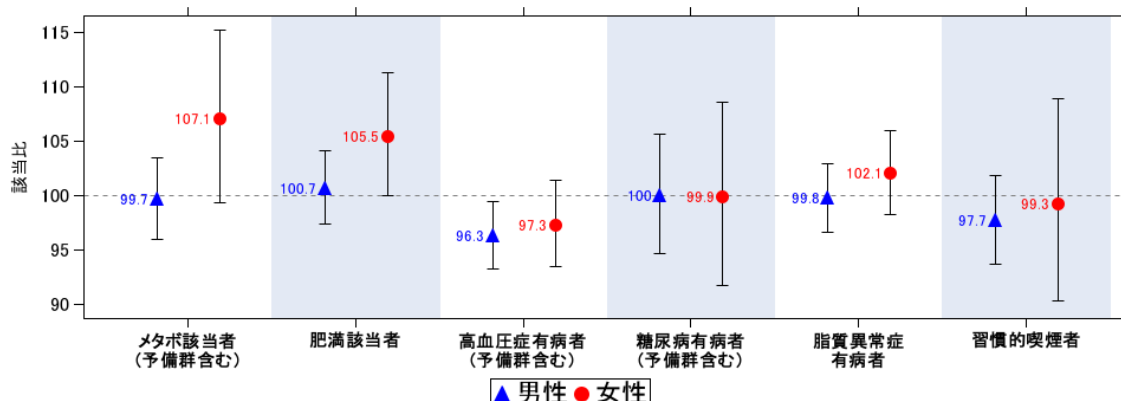
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県(全体)の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県(全体)の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

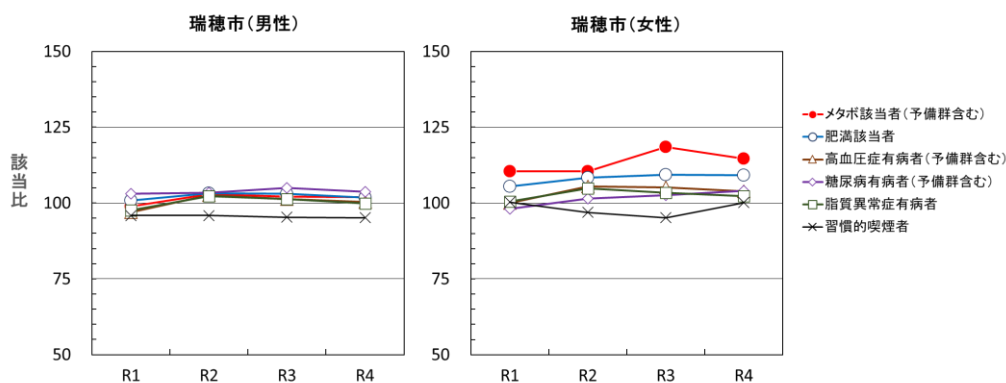
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 瑞穂市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

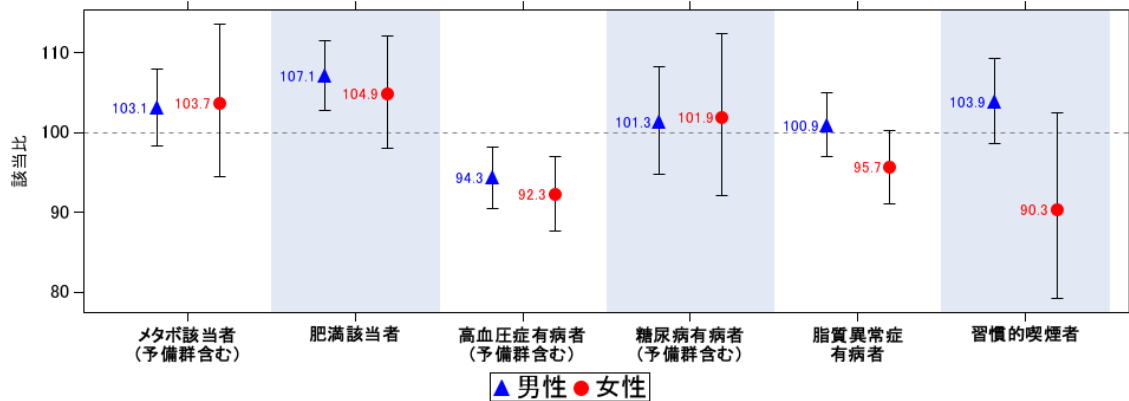
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性がある。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

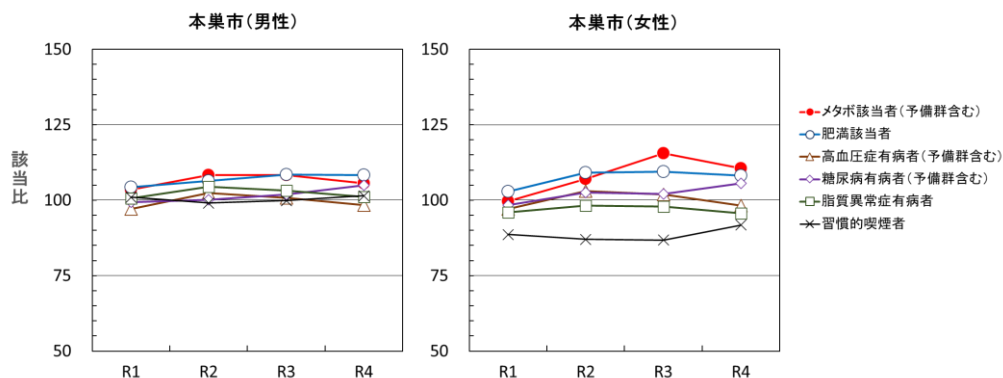
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 本巣市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

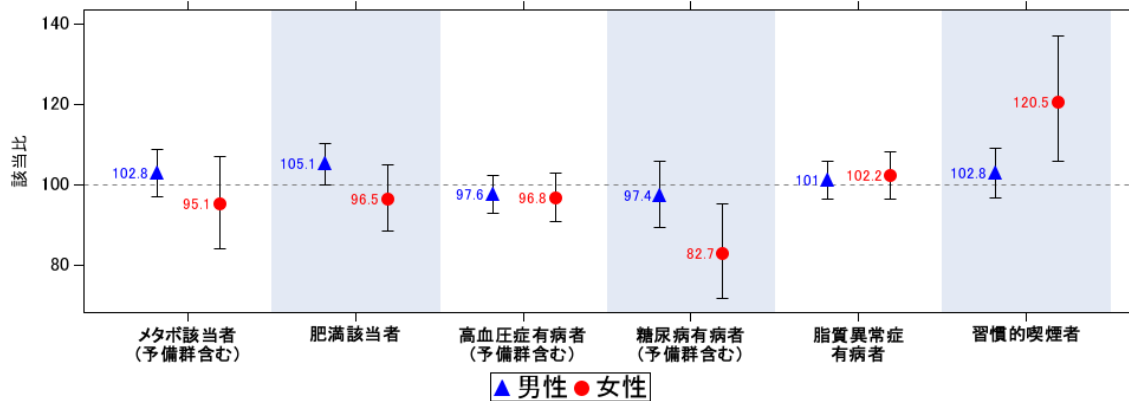
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

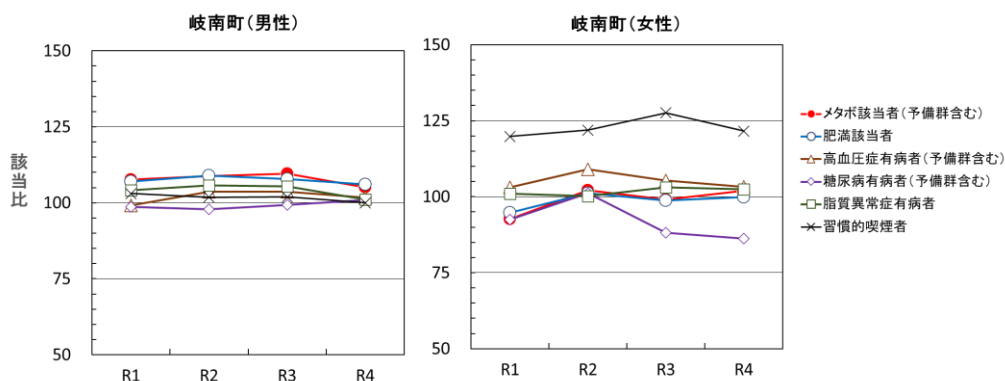
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 岐南町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該各市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

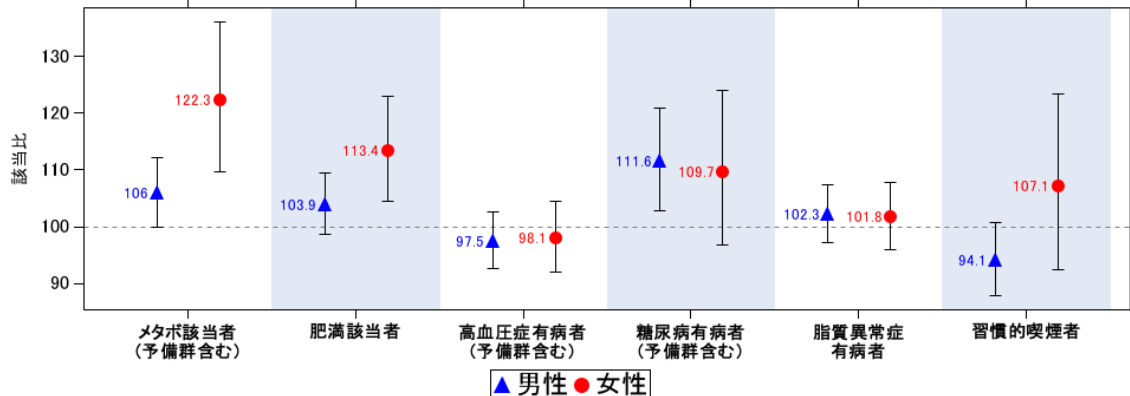
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

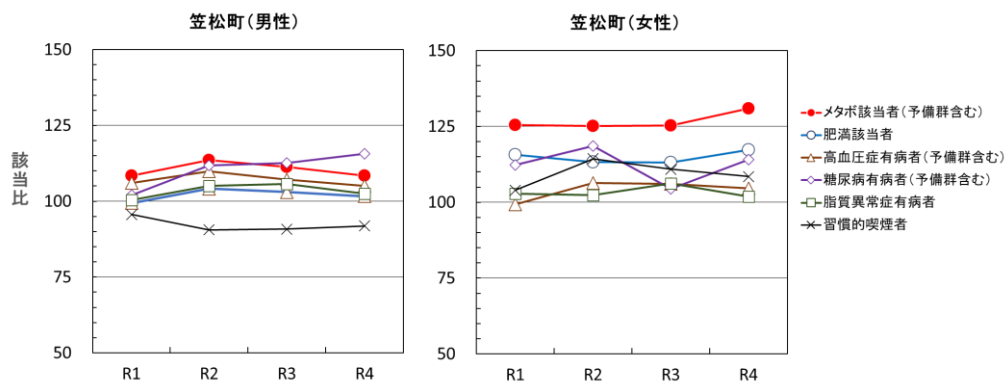
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較（令和4年度 笠松町）



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

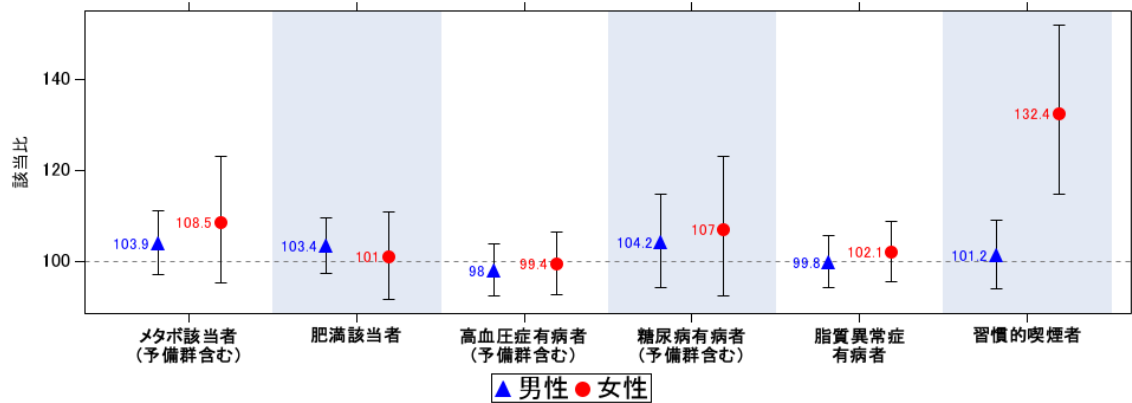
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

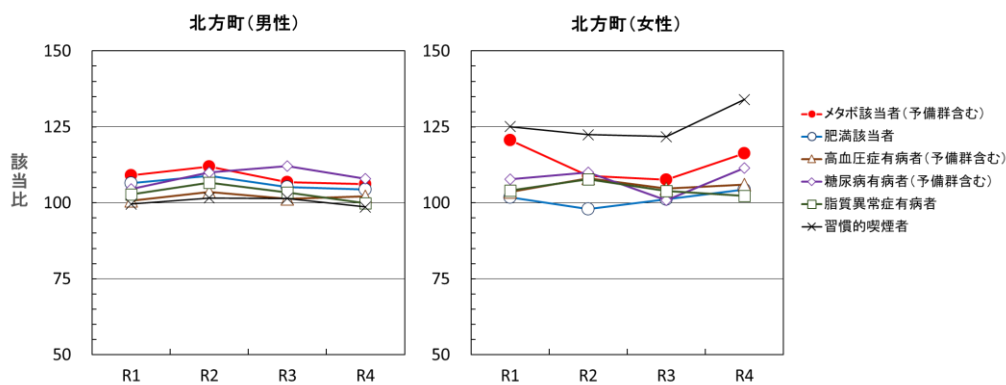
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 北方町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

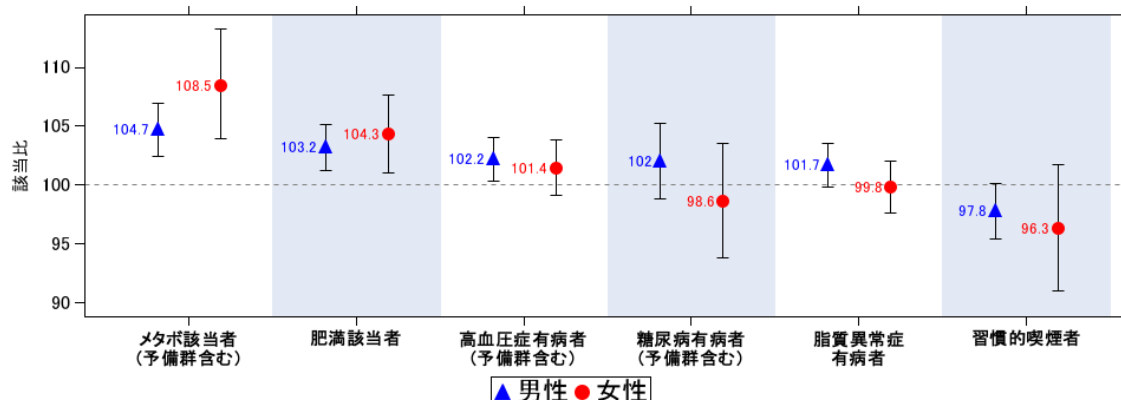
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

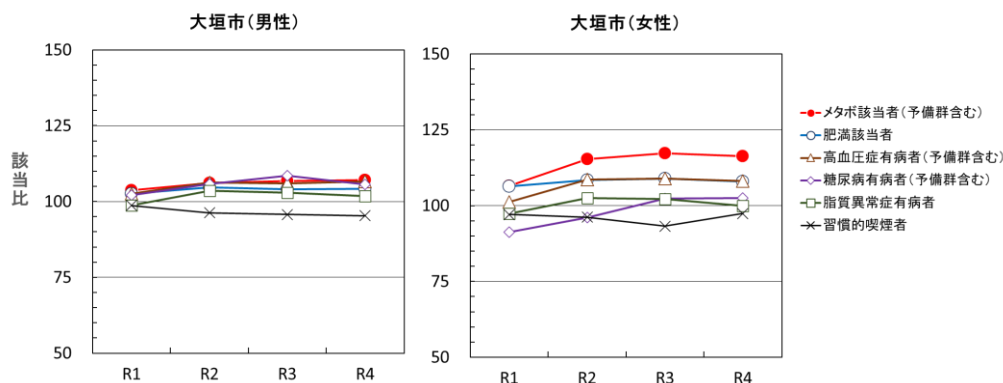
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 大垣市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

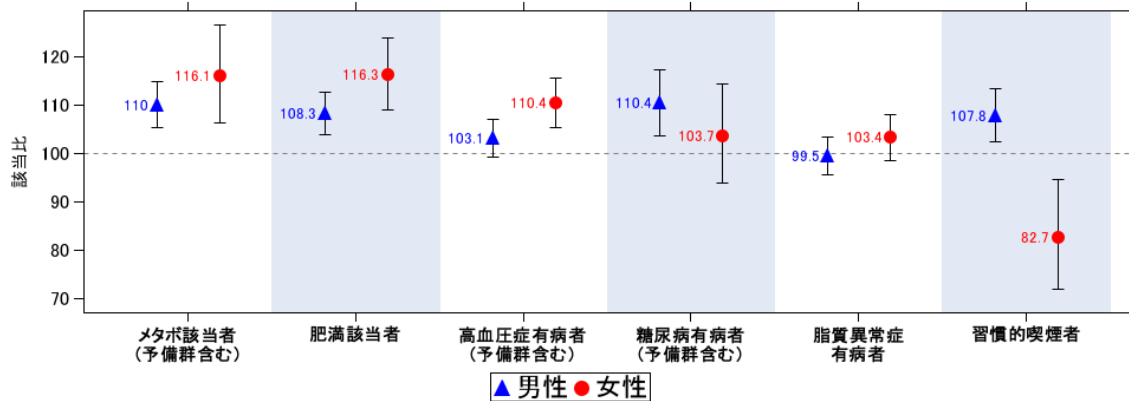
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

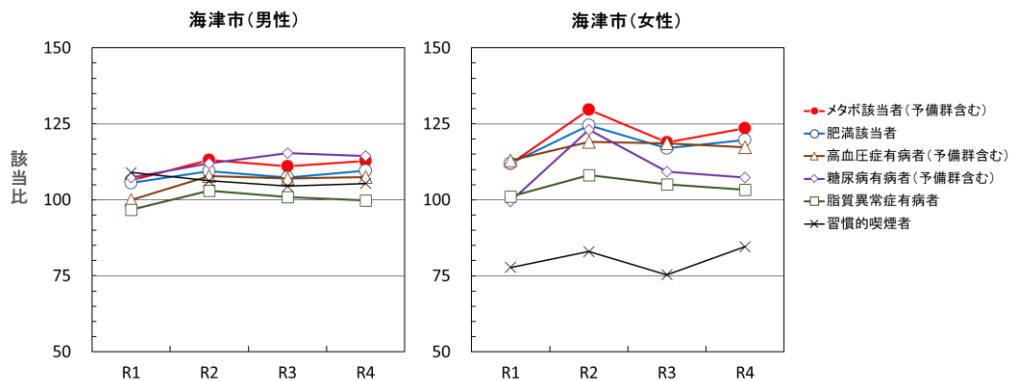
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 海津市)



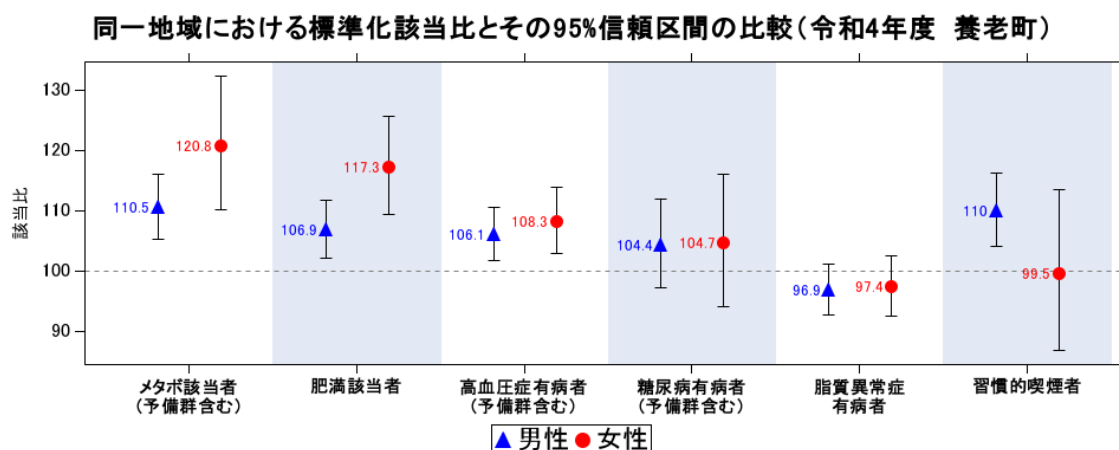
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



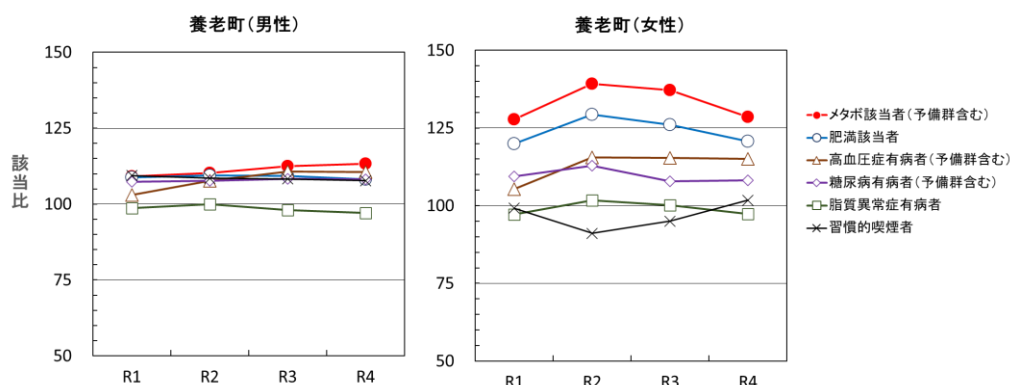
標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

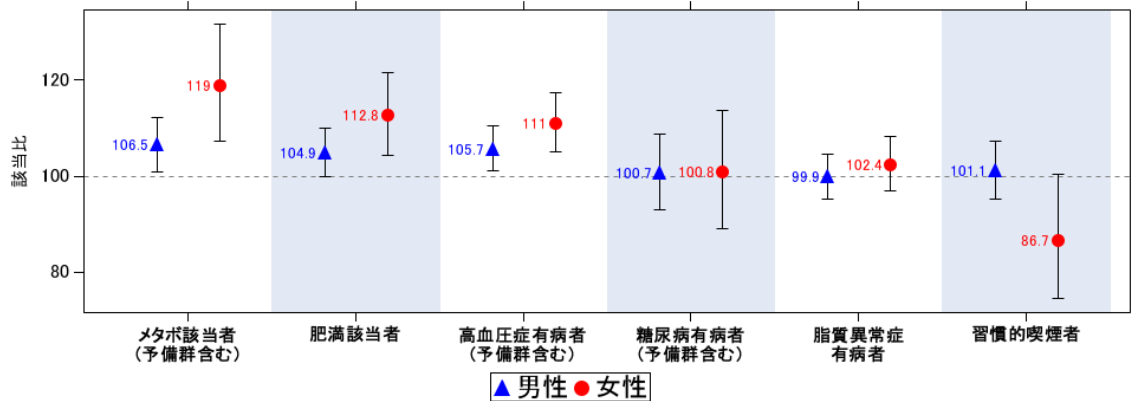
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

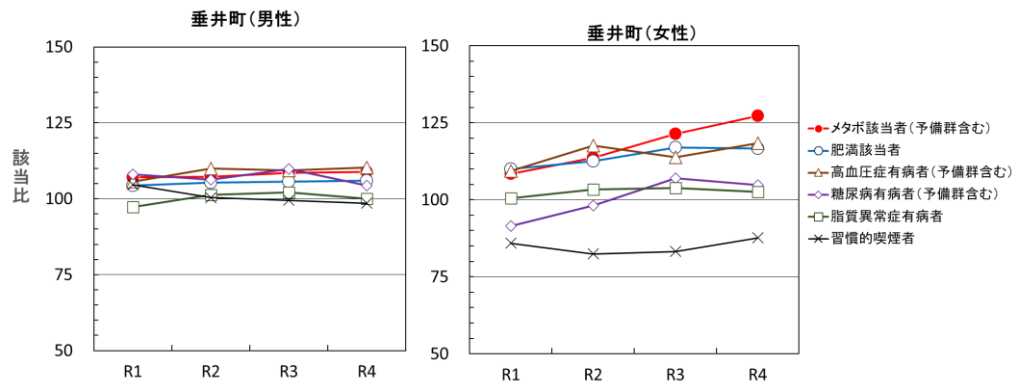
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 垂井町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

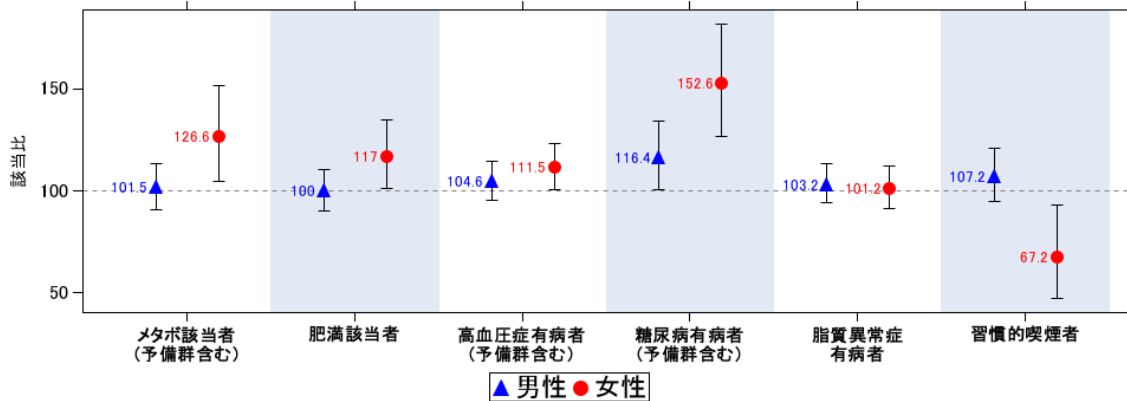
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

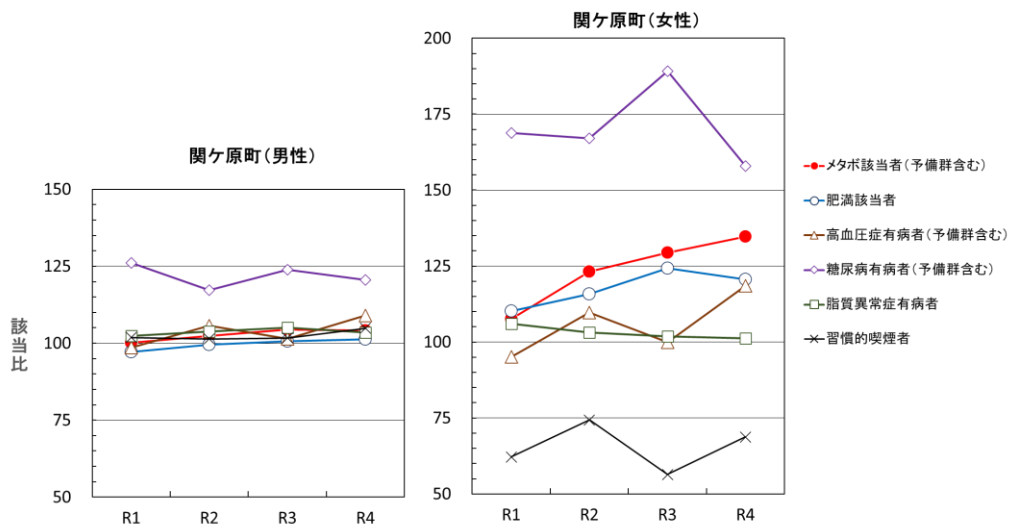
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 関ヶ原町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

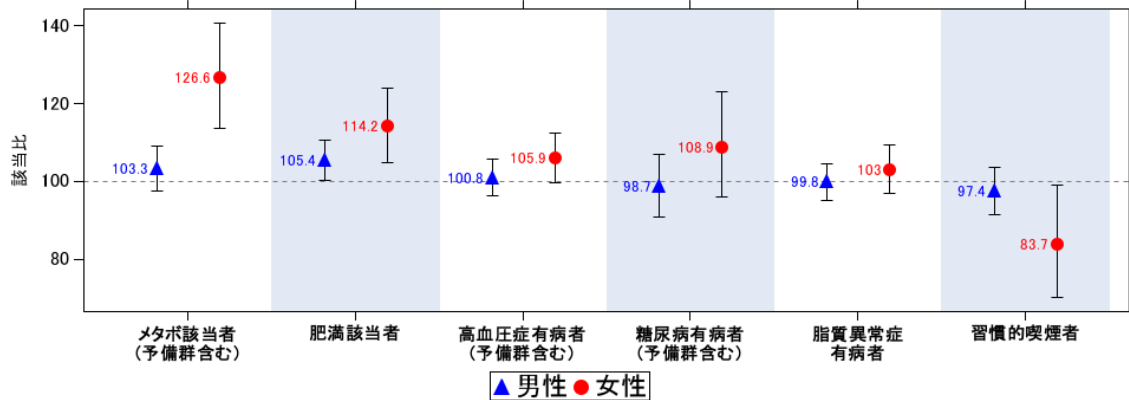
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

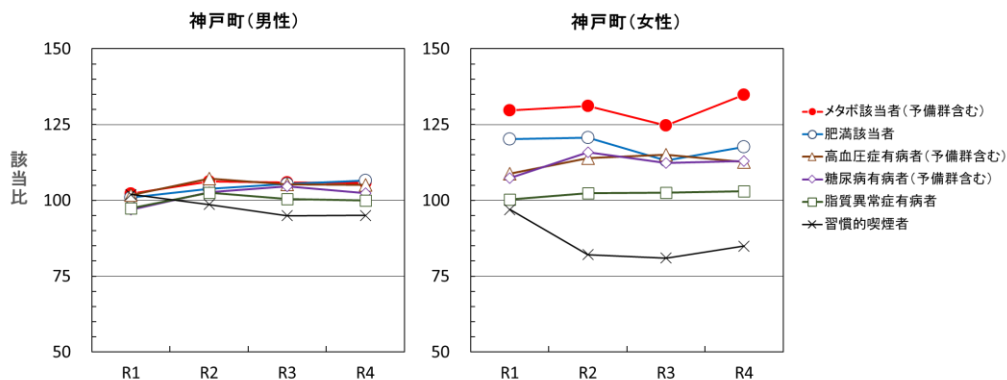
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 神戸町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

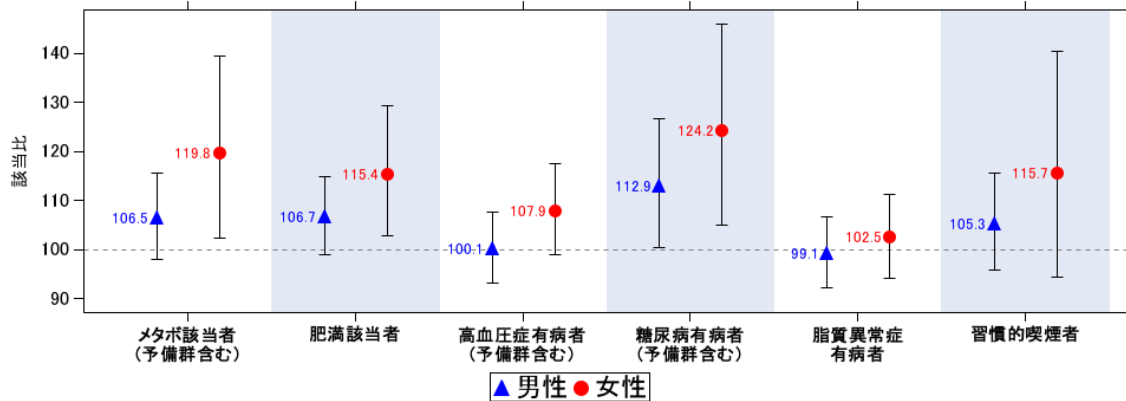
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

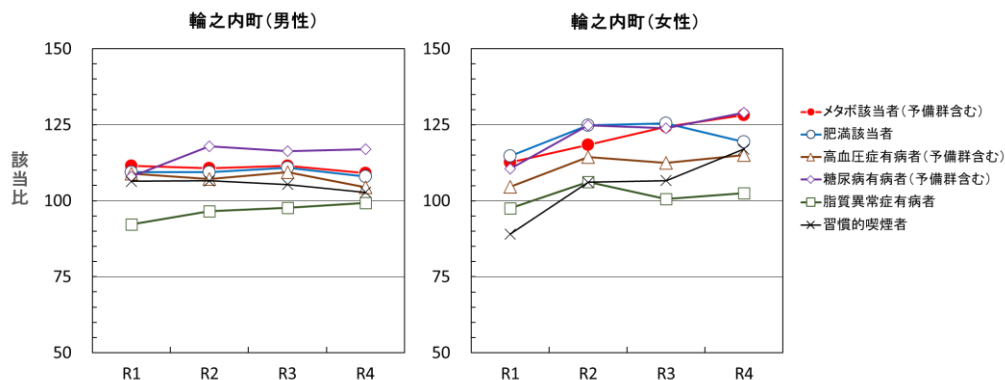
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 輪之内町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

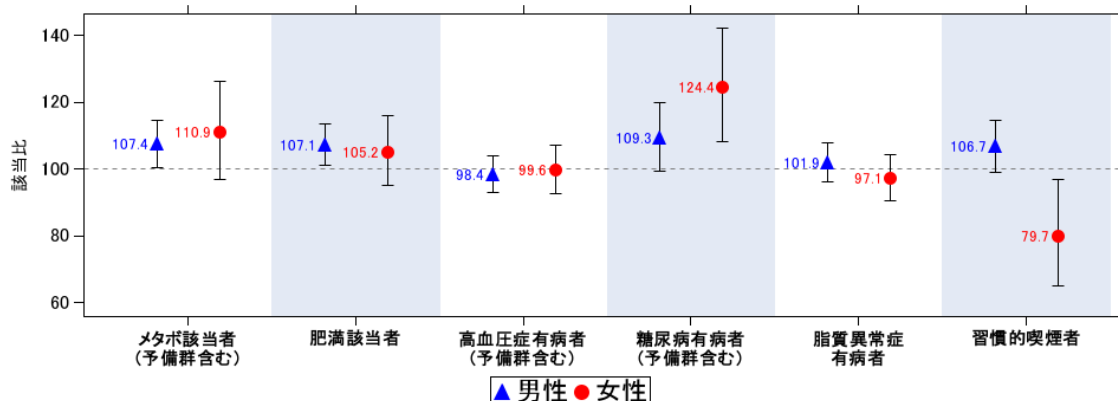
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

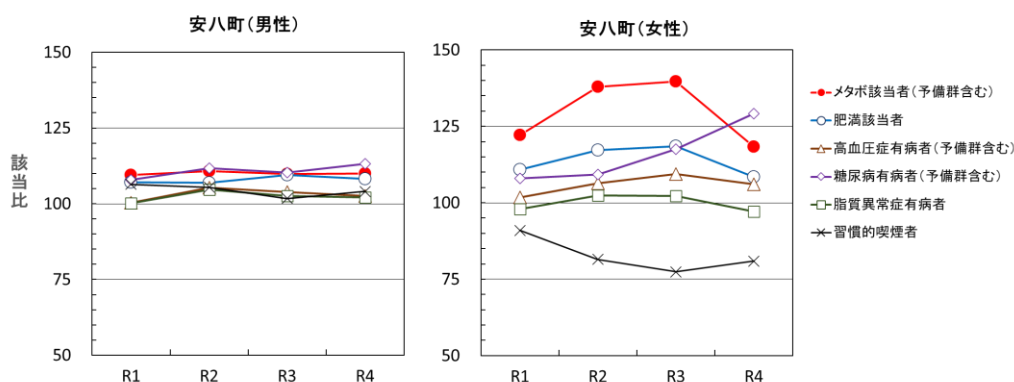
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 安八町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

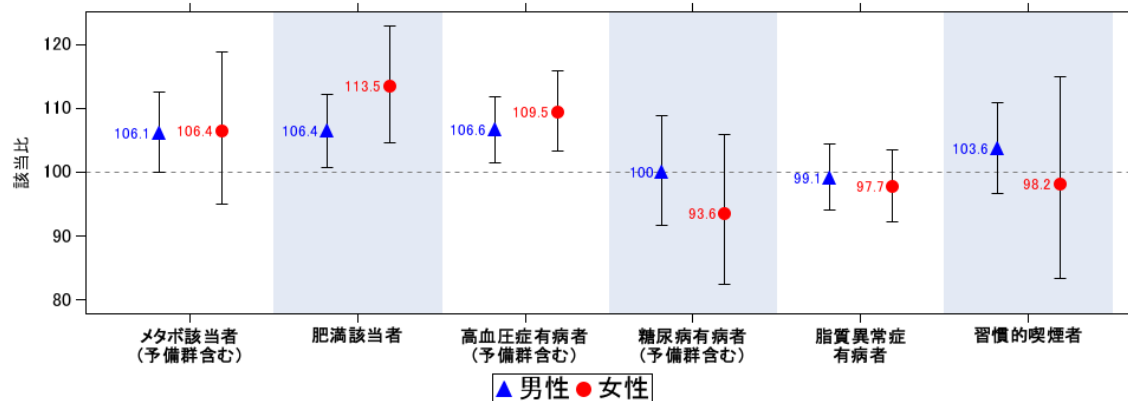
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

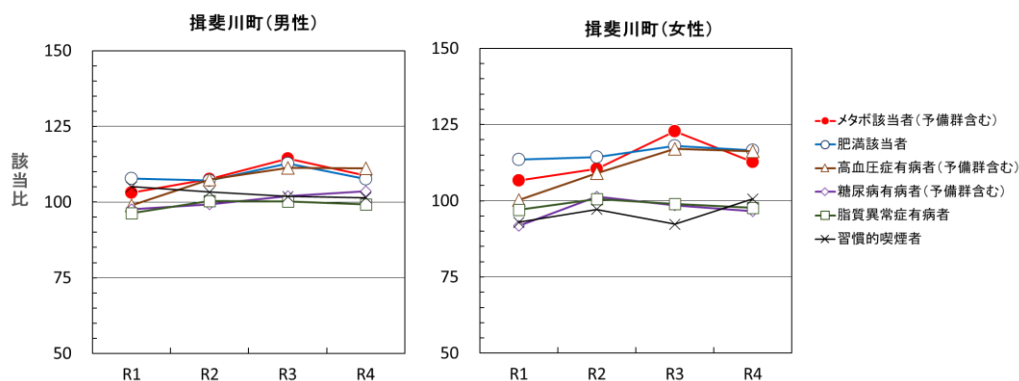
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 揖斐川町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該各市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

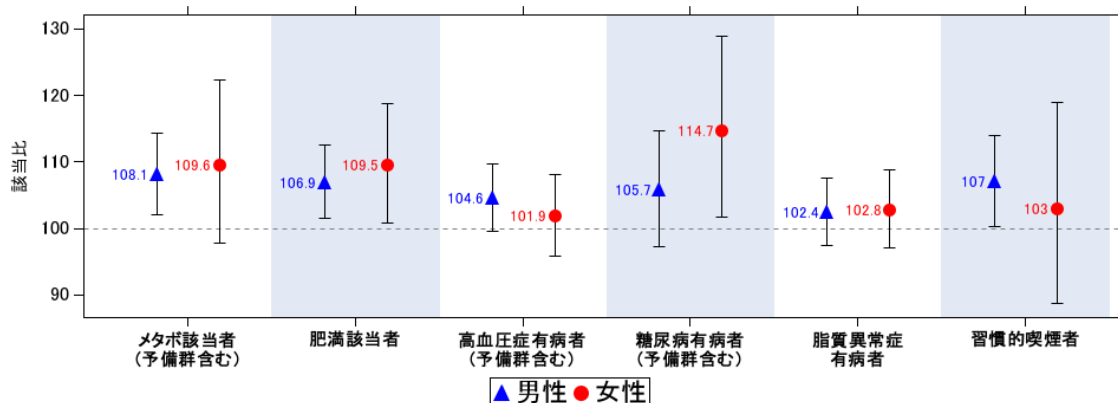
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

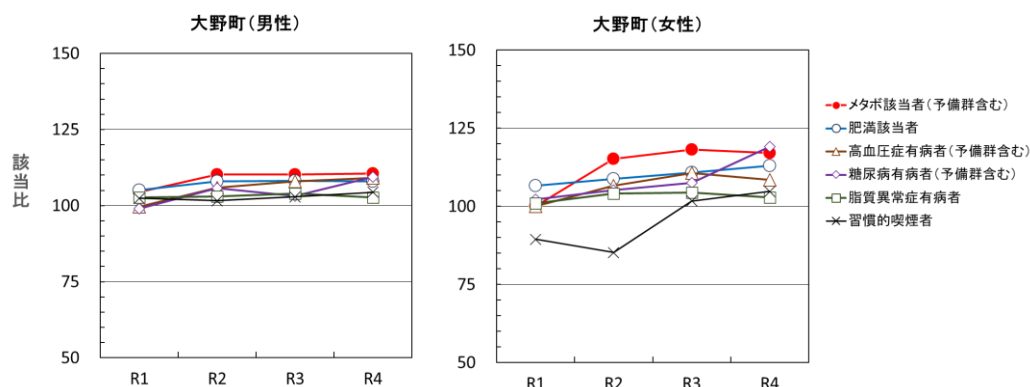
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 大野町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

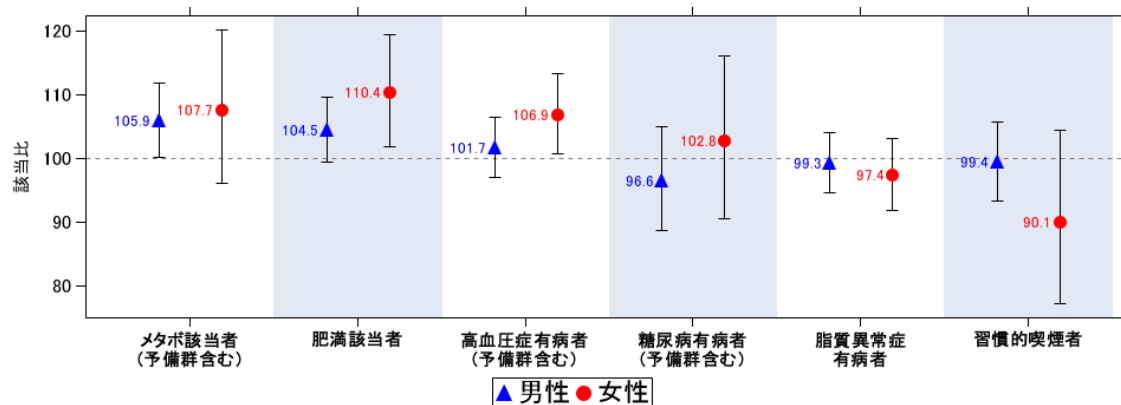
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

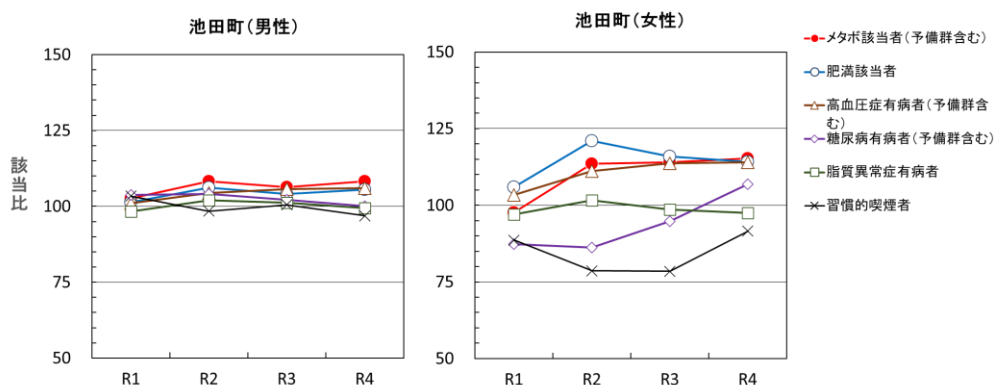
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 池田町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

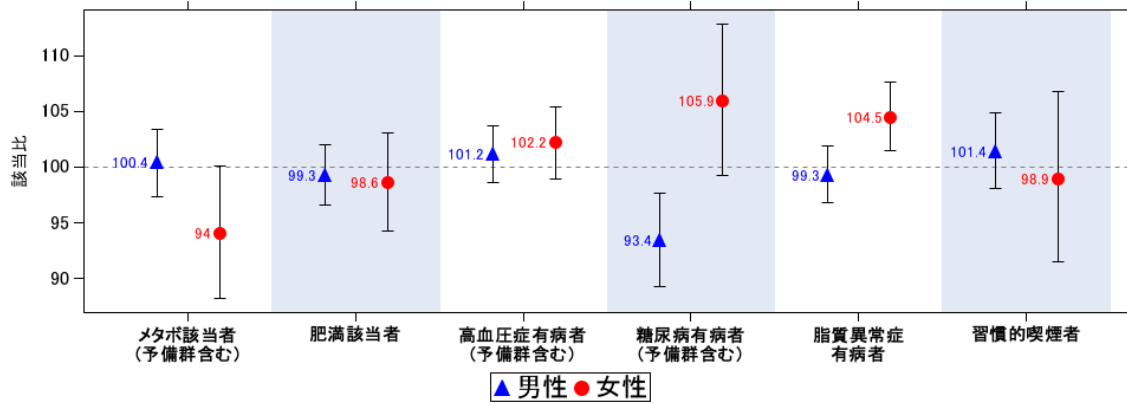
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

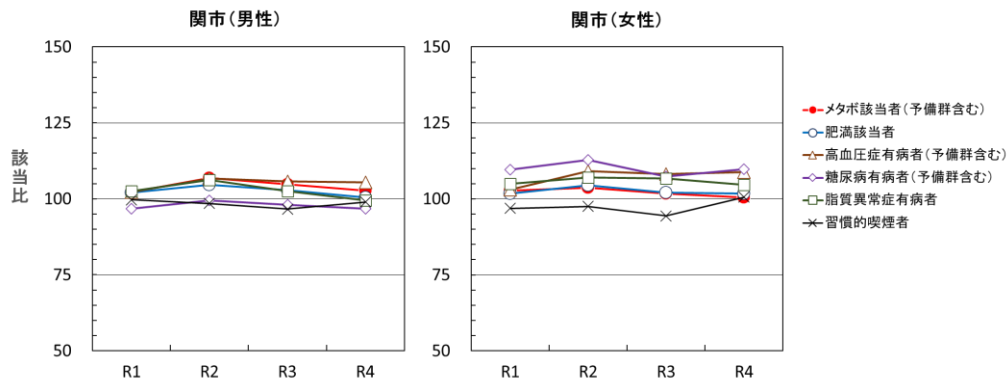
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 関市)



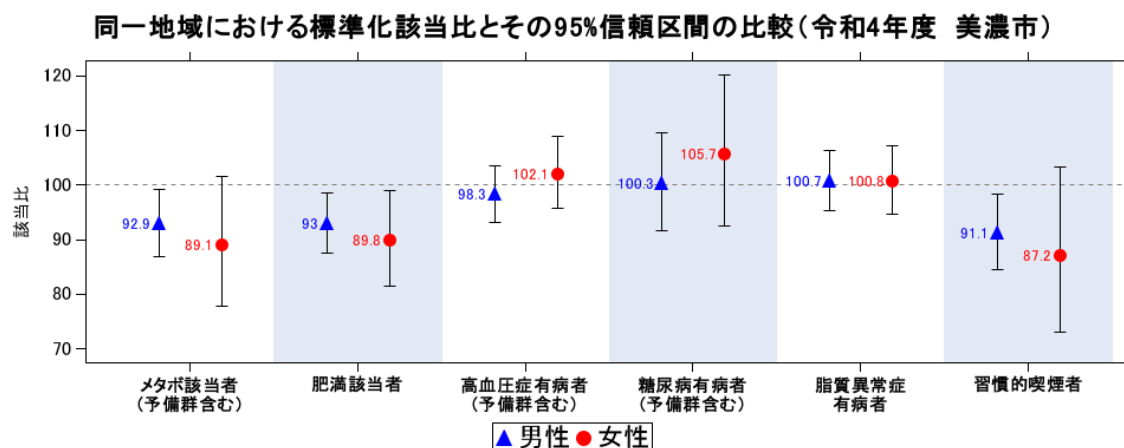
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



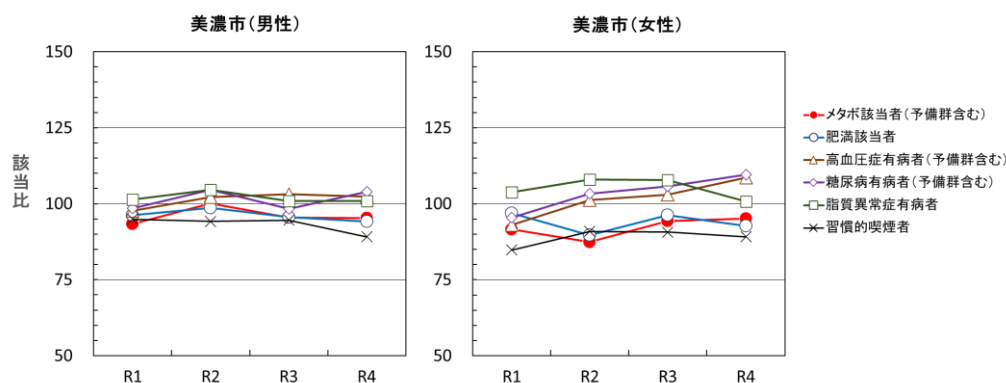
標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

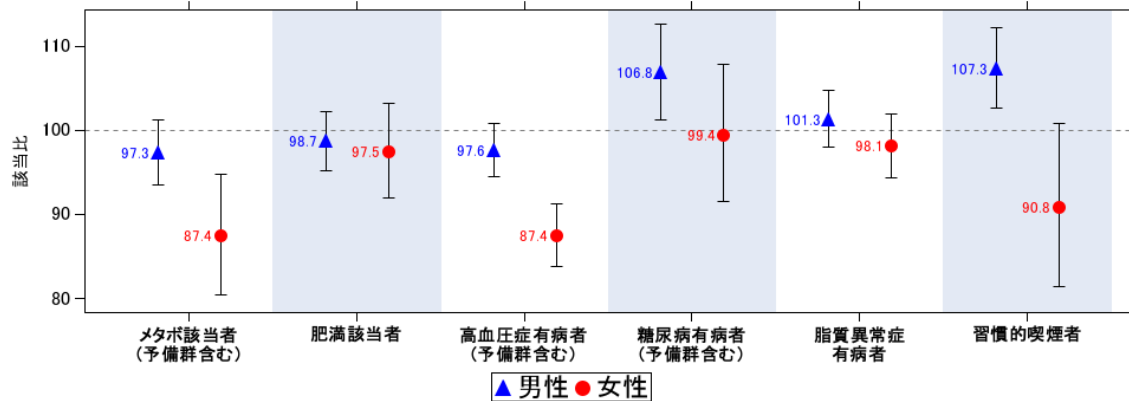
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

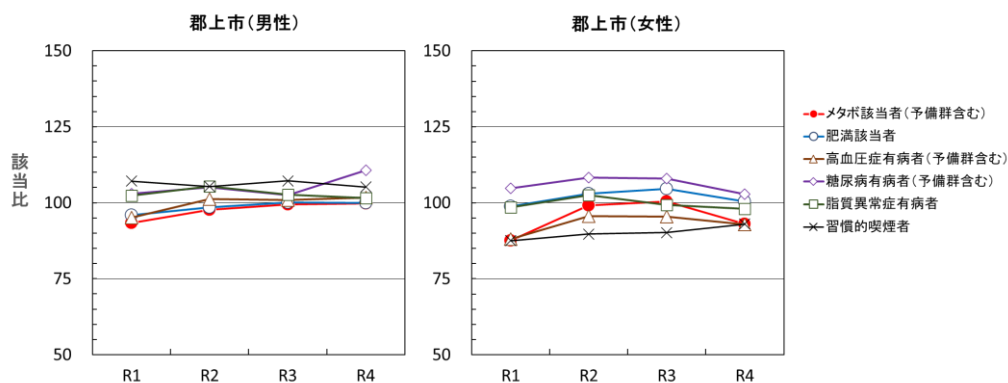
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 郡上市)



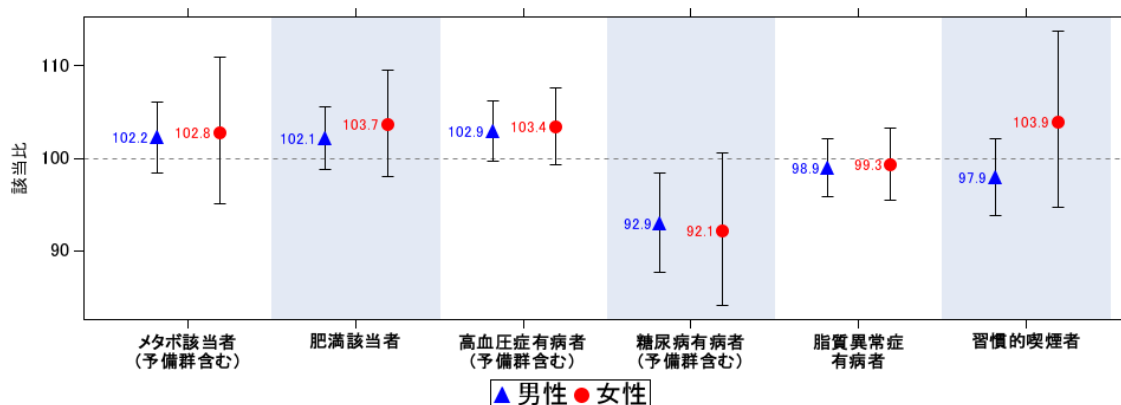
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



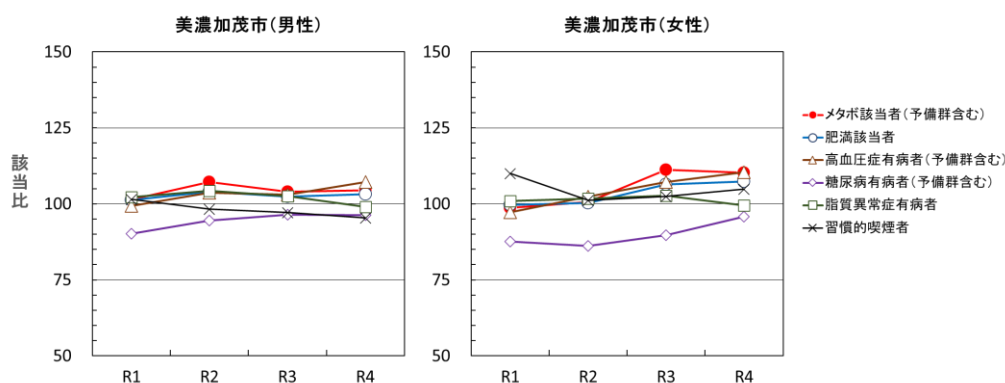
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 美濃加茂市)



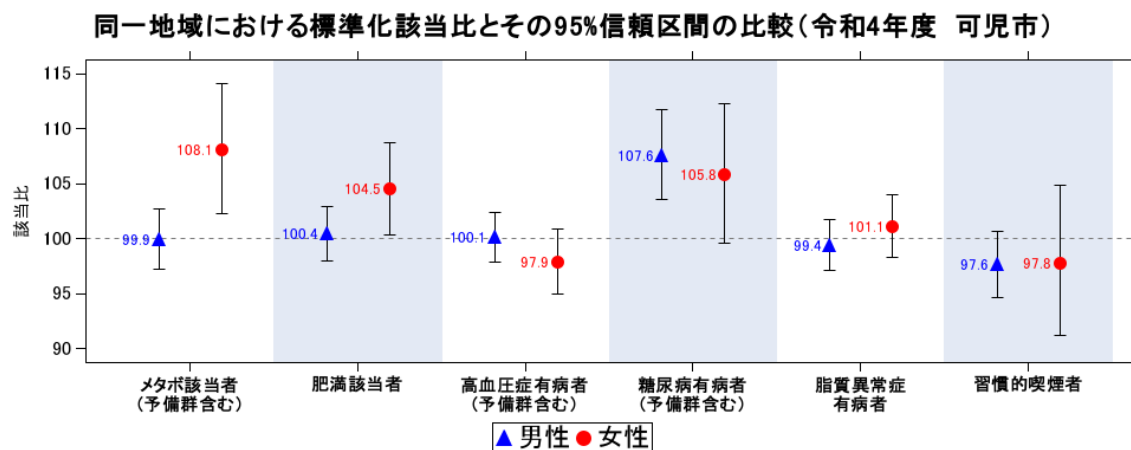
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



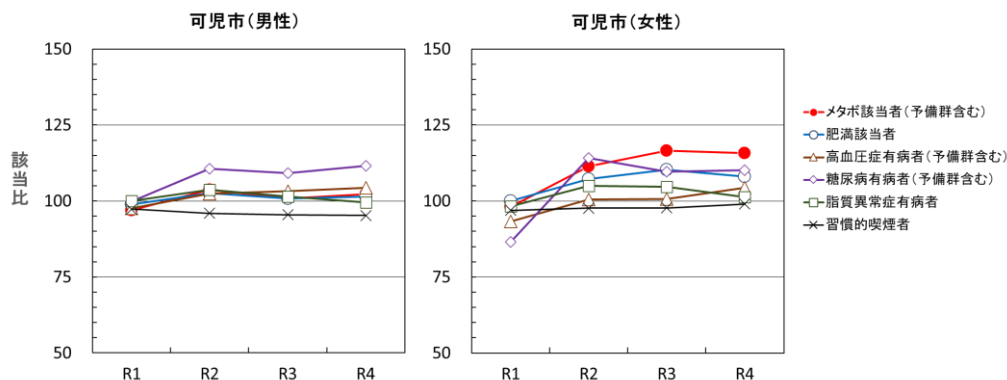
標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

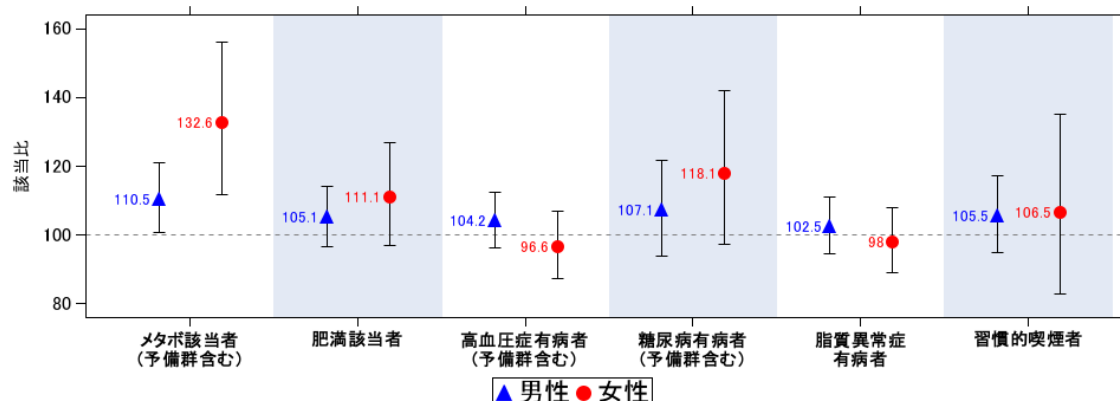
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

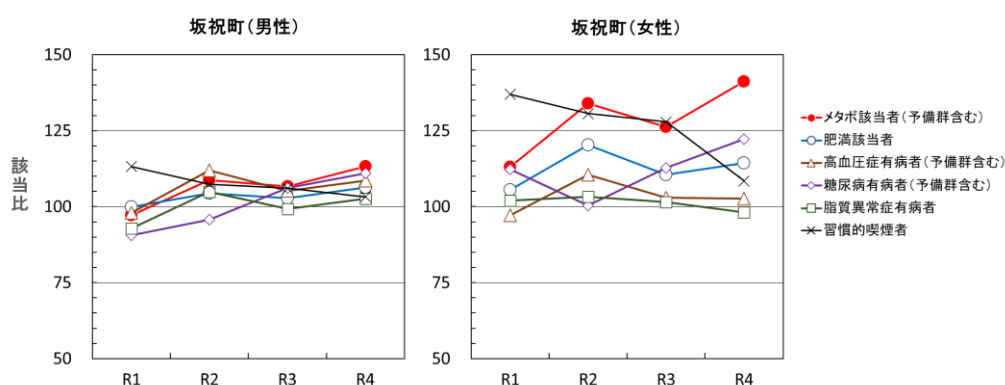
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 坂祝町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体(基準)よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

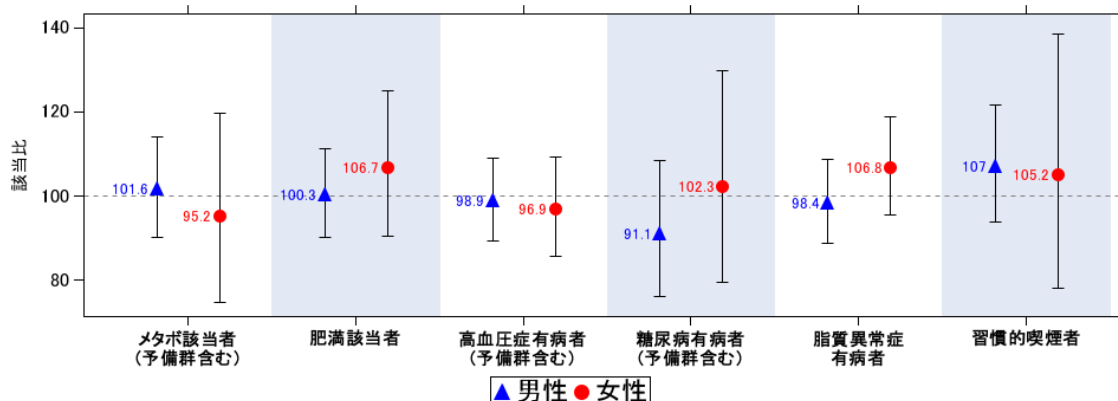
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県(全体)の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県(全体)の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

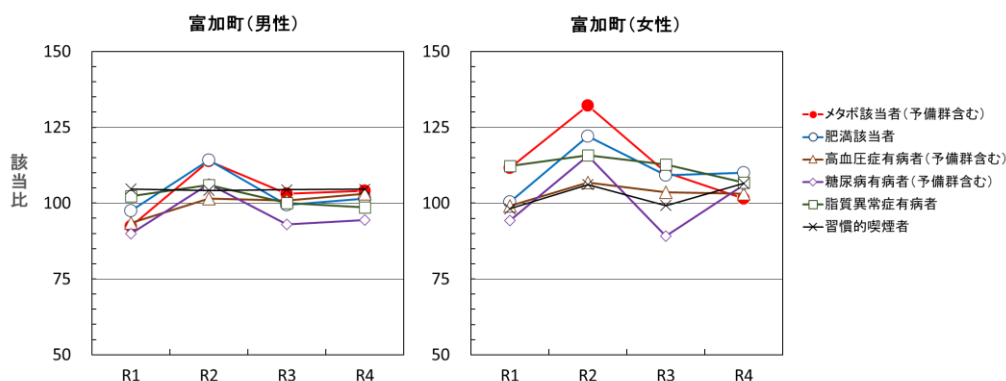
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 富加町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

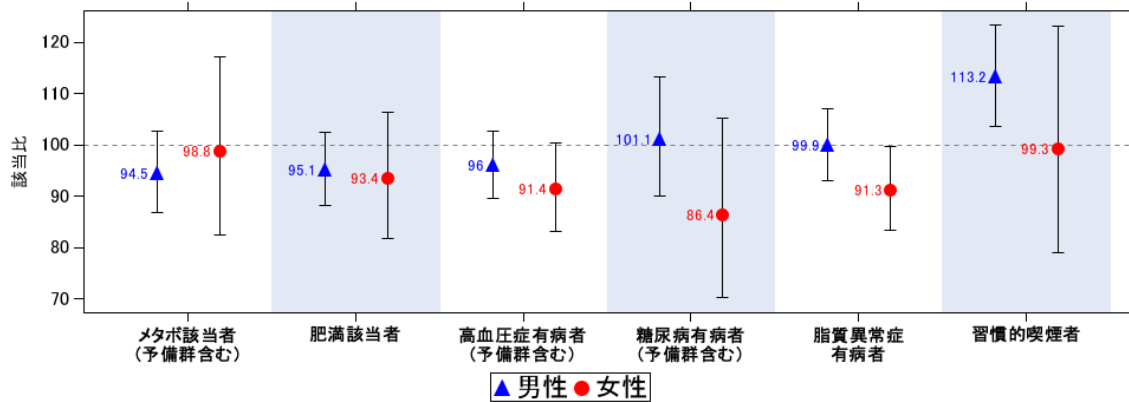
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

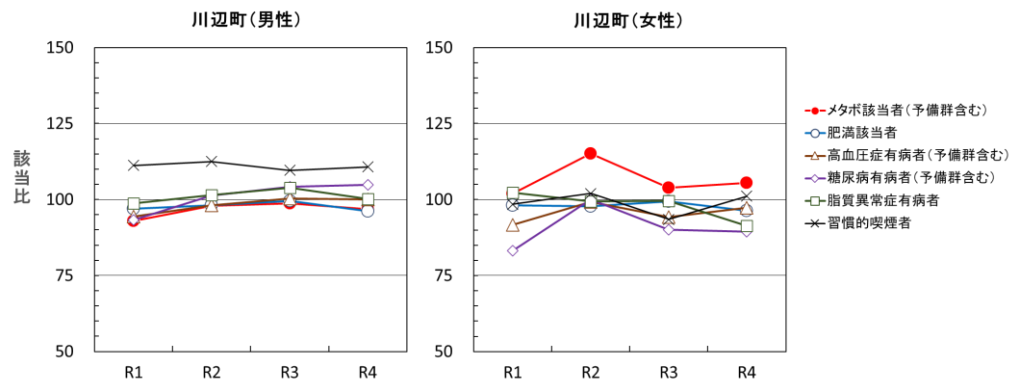
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 川辺町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

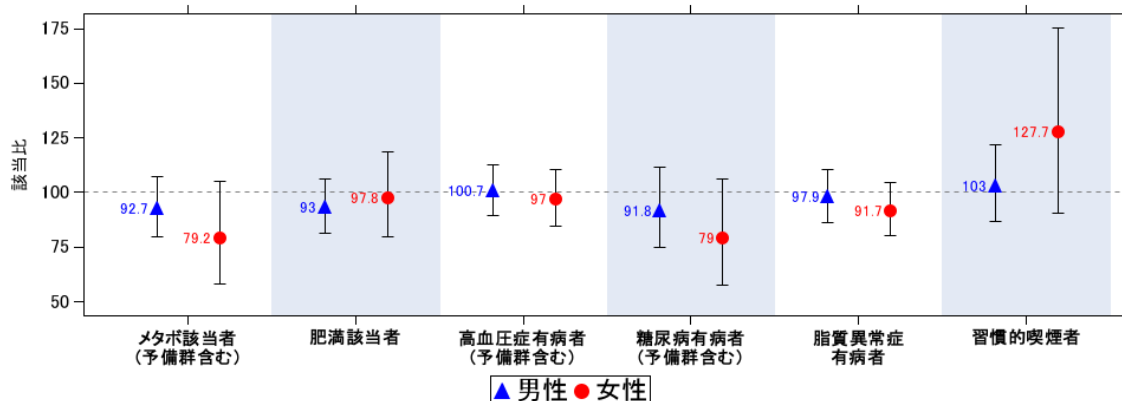
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

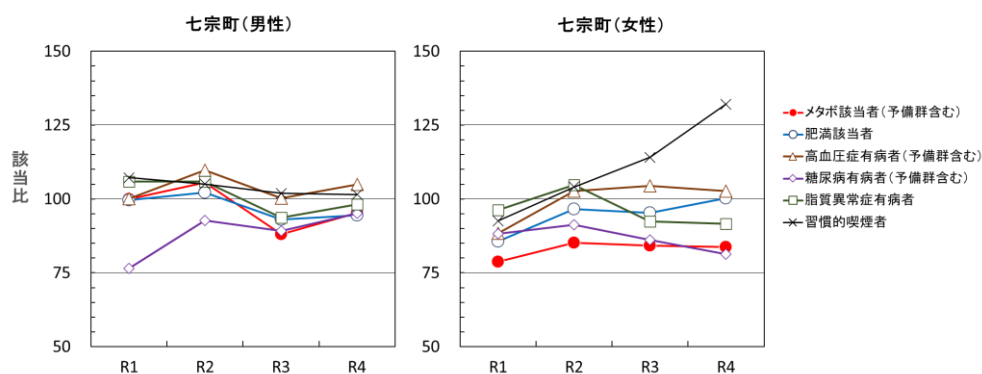
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 七宗町)



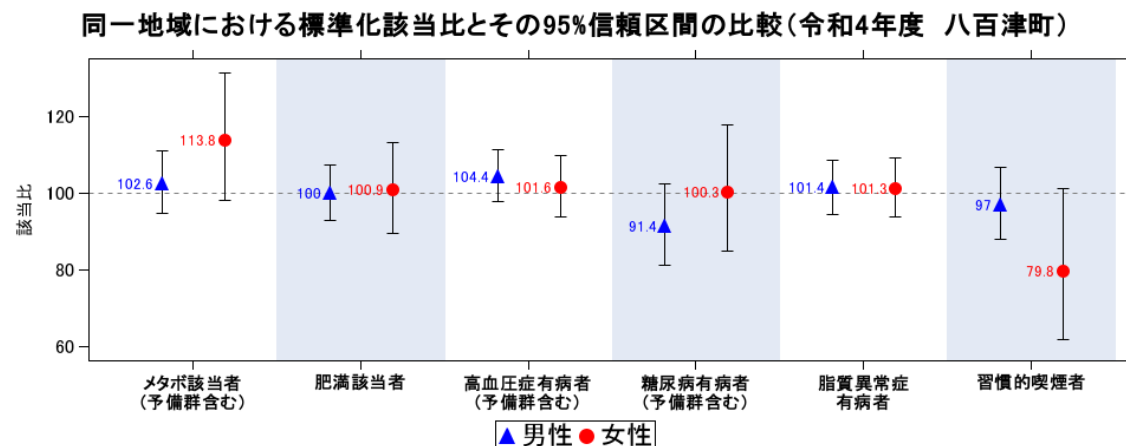
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



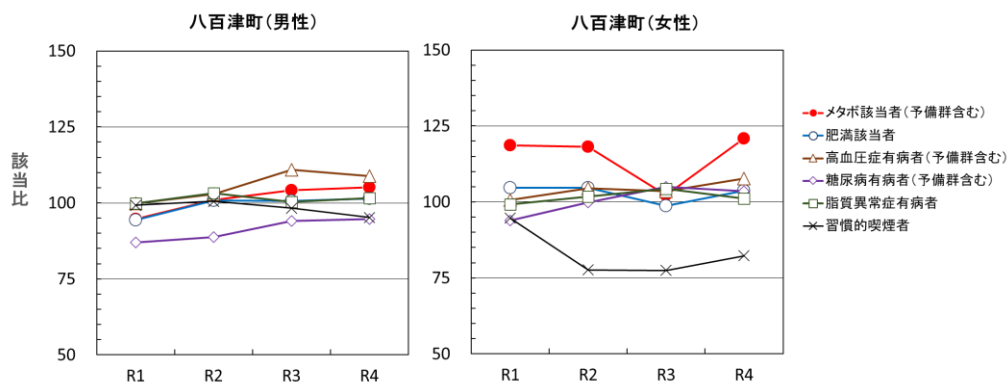
標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。



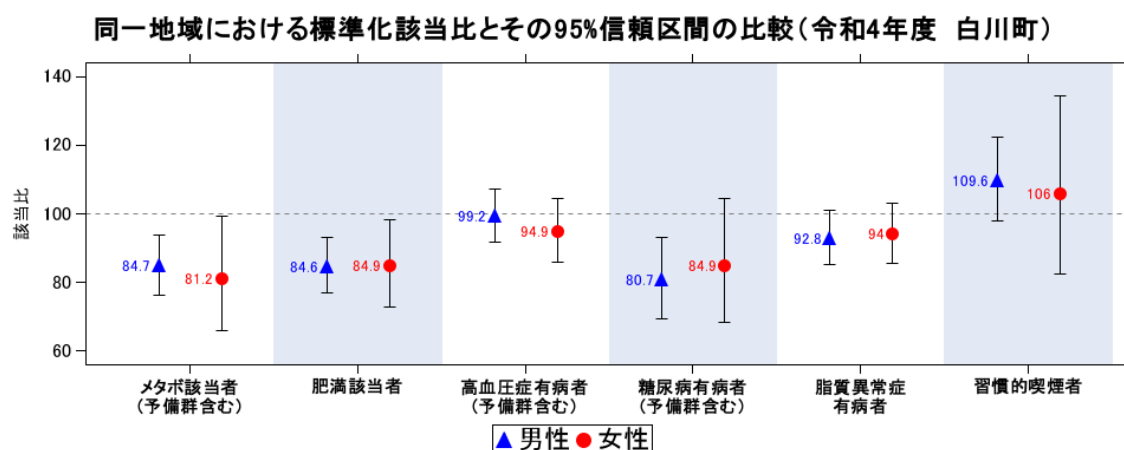
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化

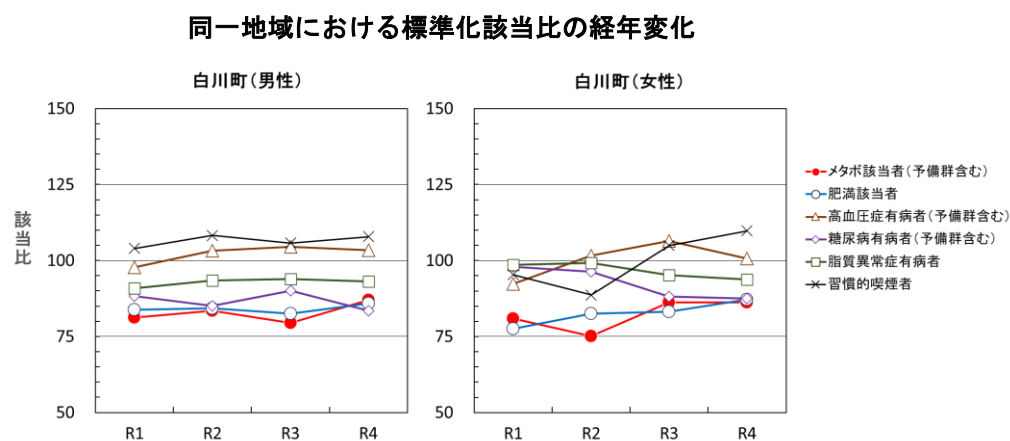


標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。



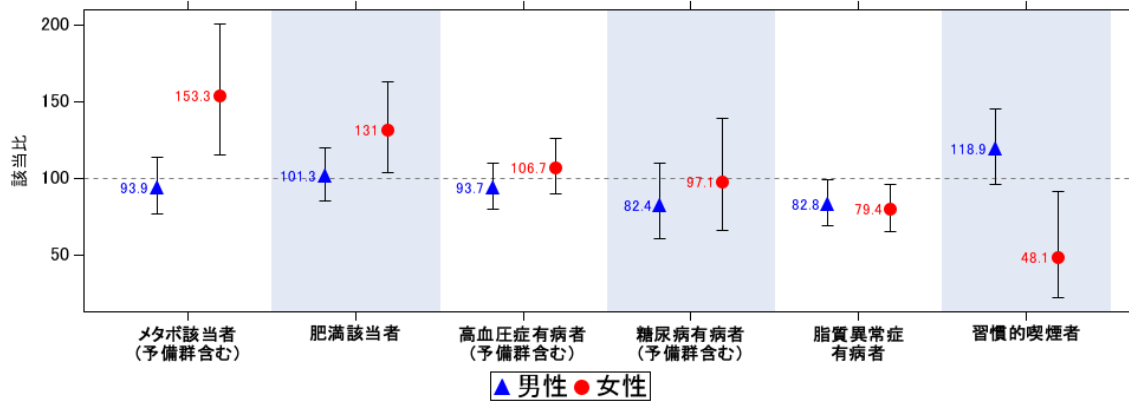
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該各市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区別している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

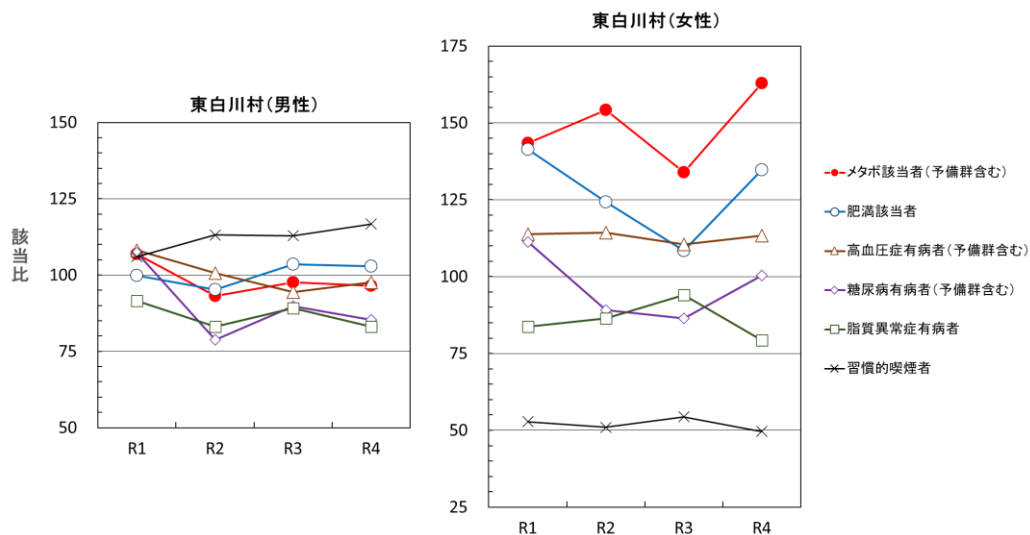
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 東白川村)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該各市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

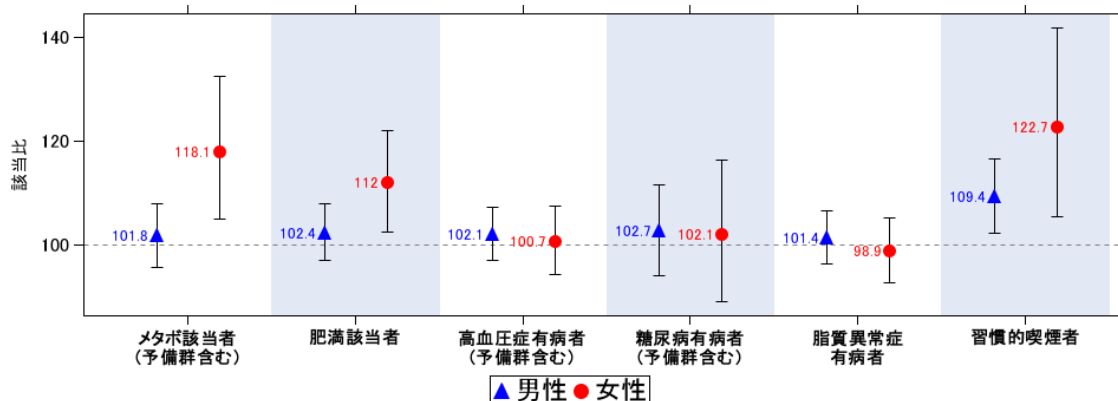
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは平成24年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

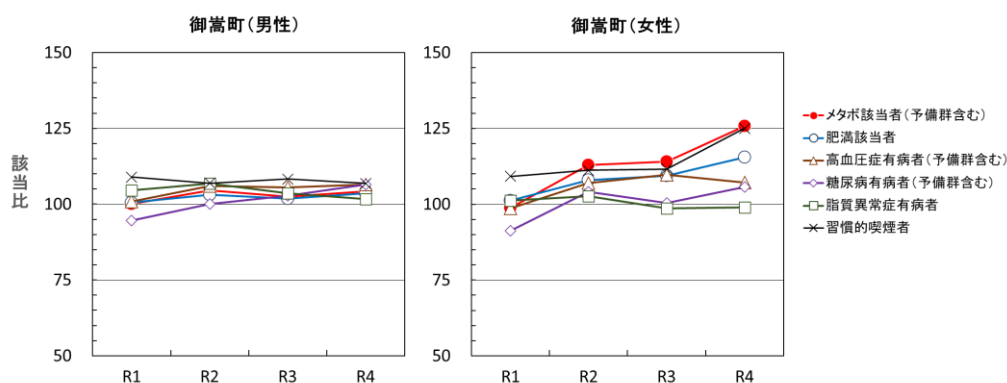
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 御嵩町)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

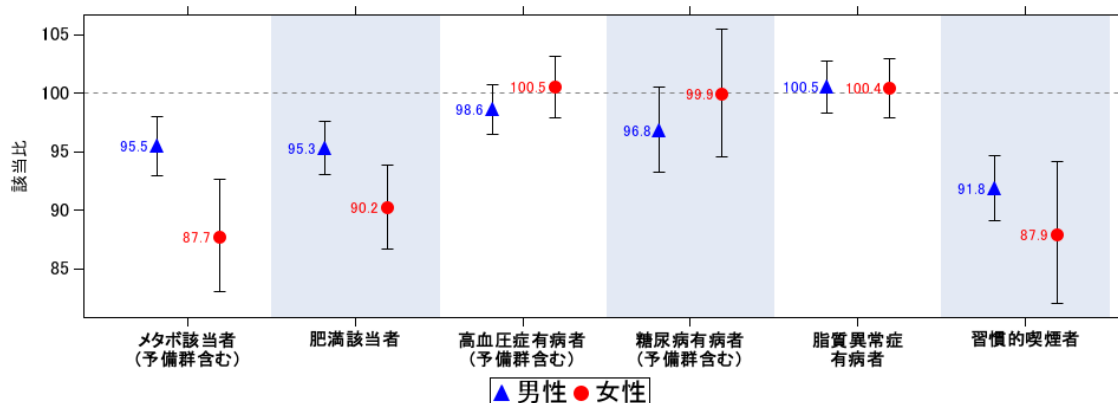
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

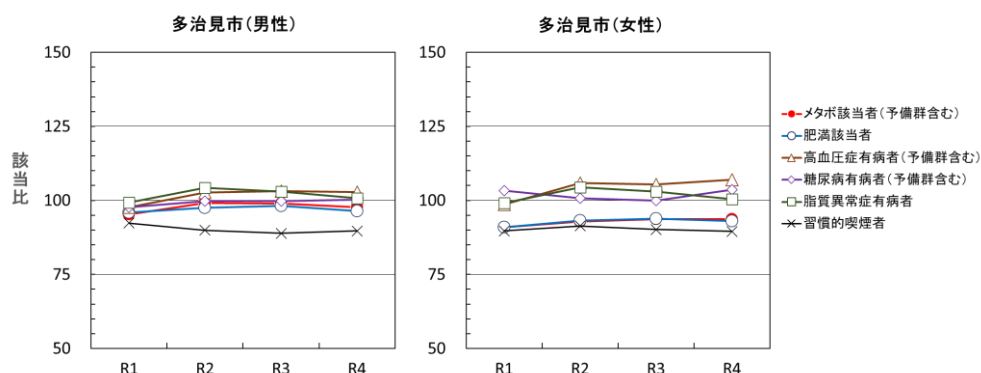
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 多治見市)



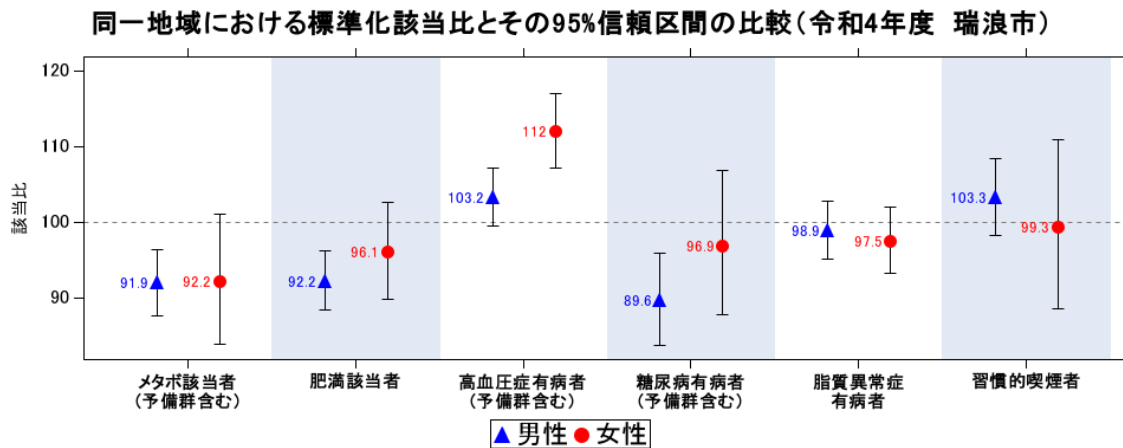
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



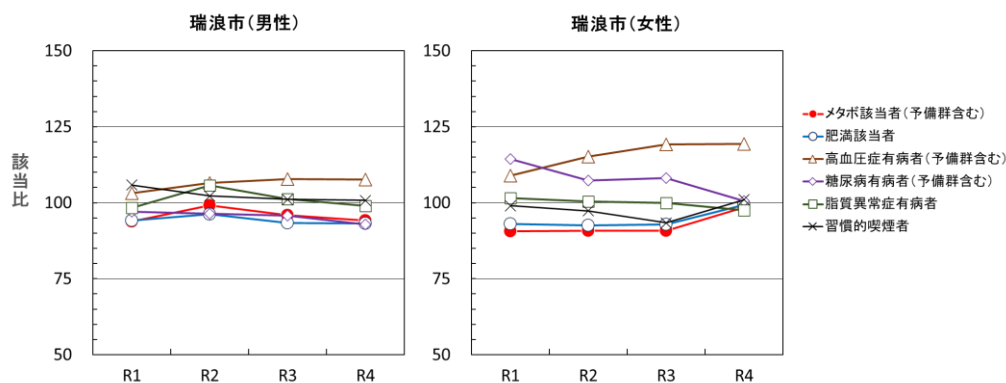
標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

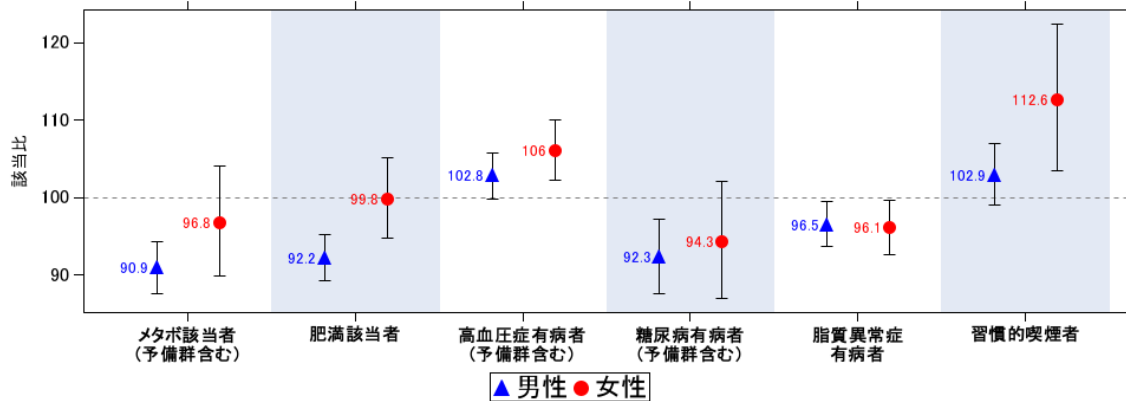
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

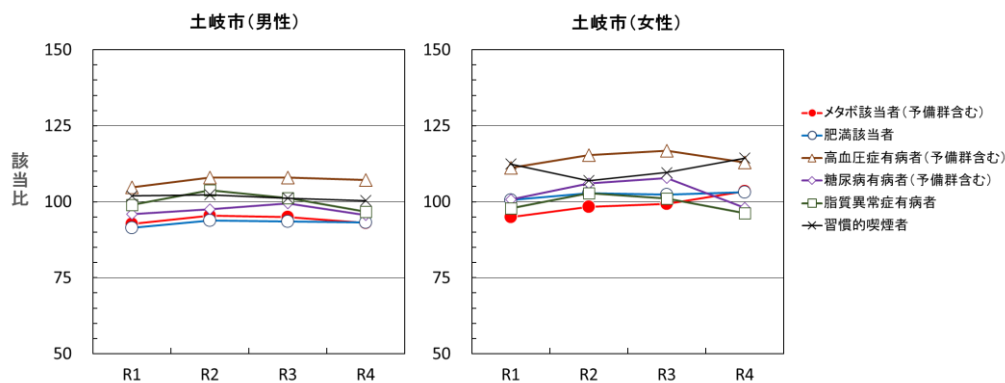
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 土岐市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

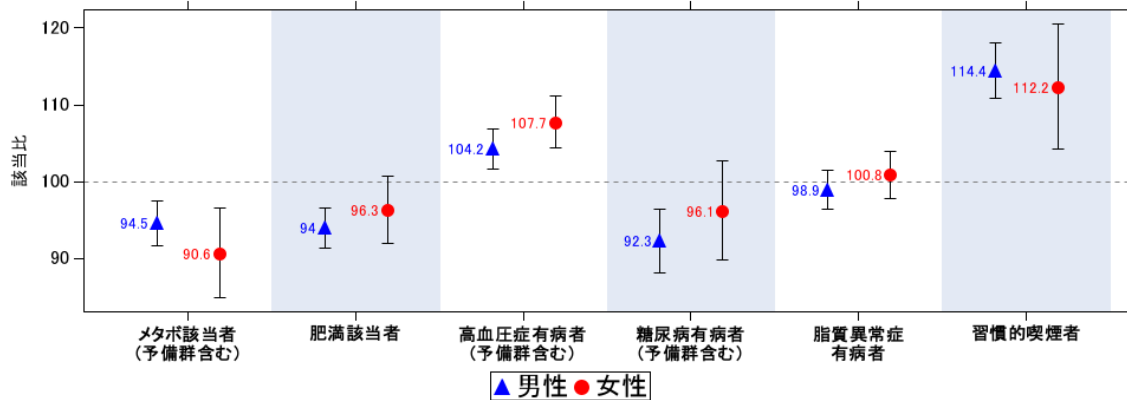
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

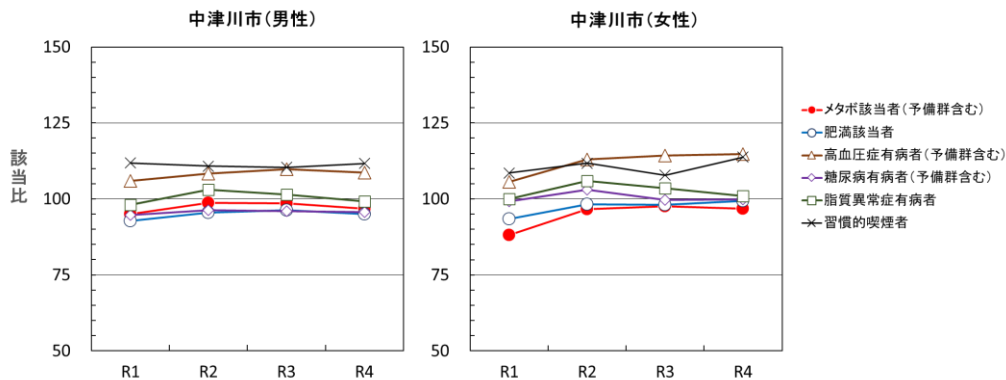
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 中津川市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

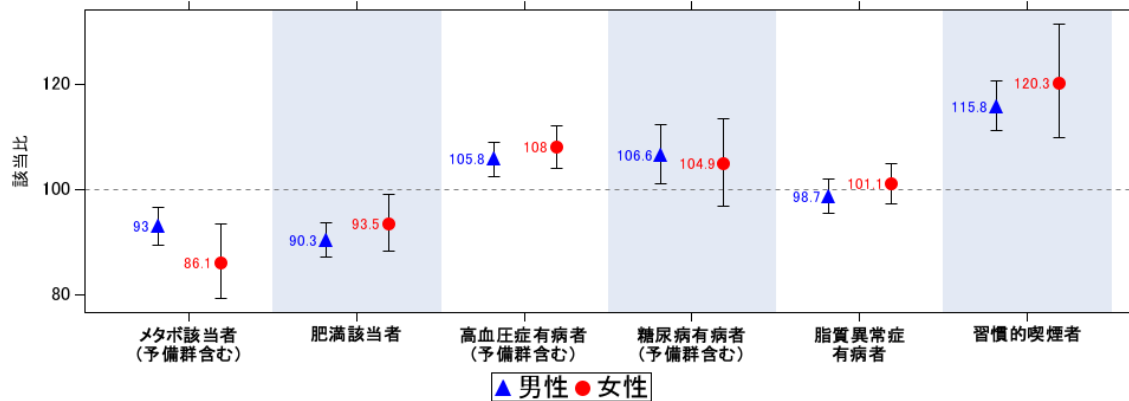
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

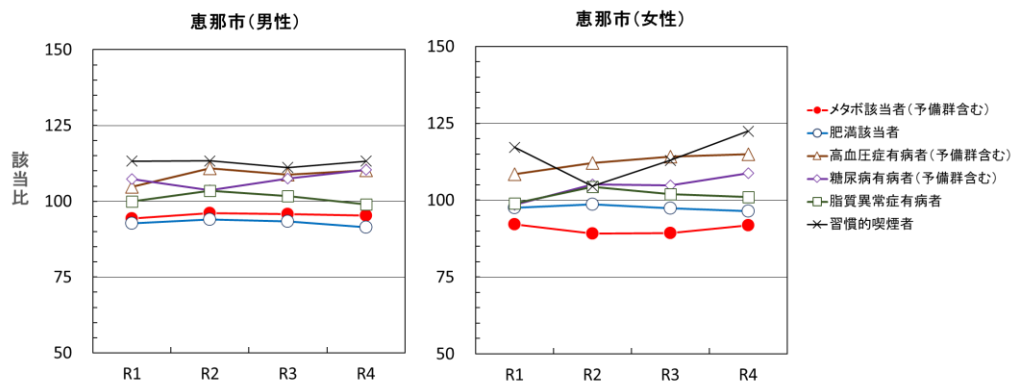
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 恵那市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

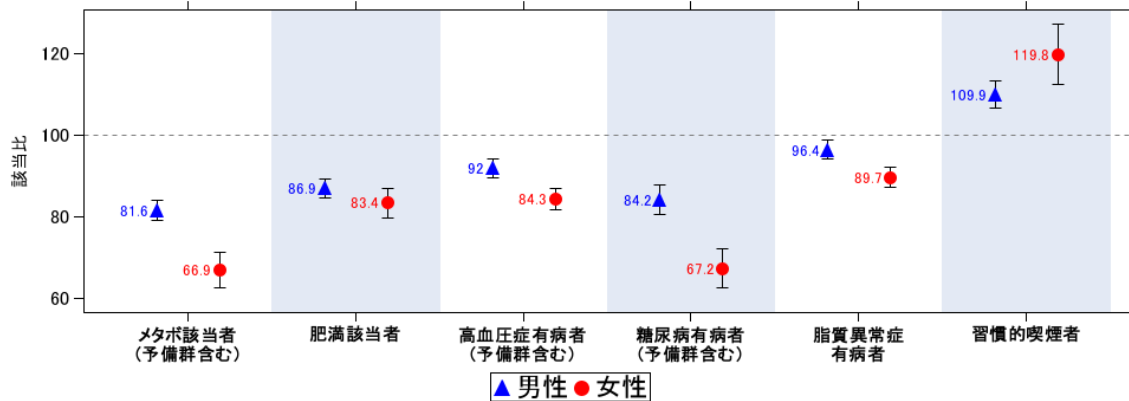
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

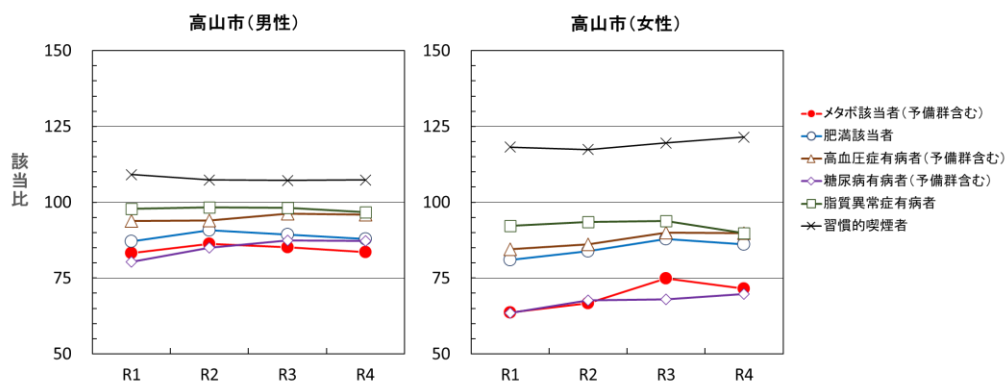
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 高山市)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

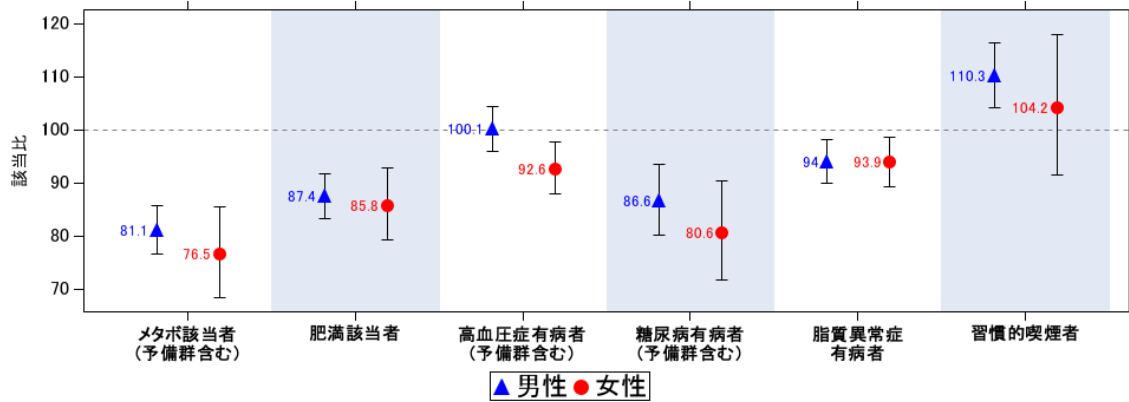
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

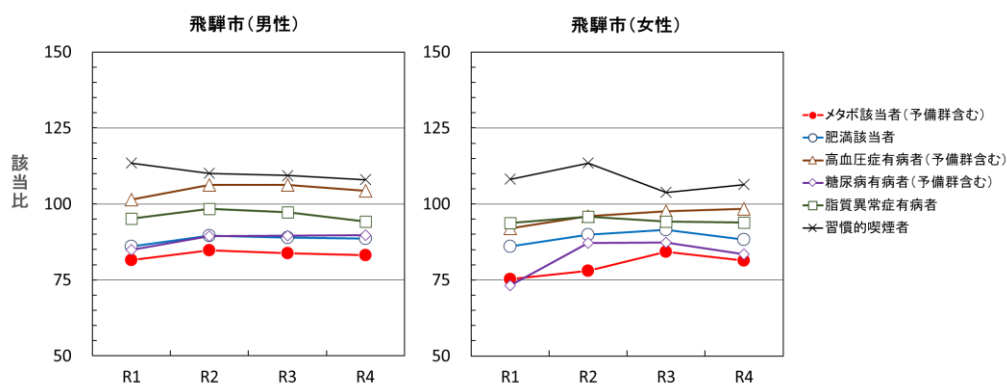
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 飛騨市)



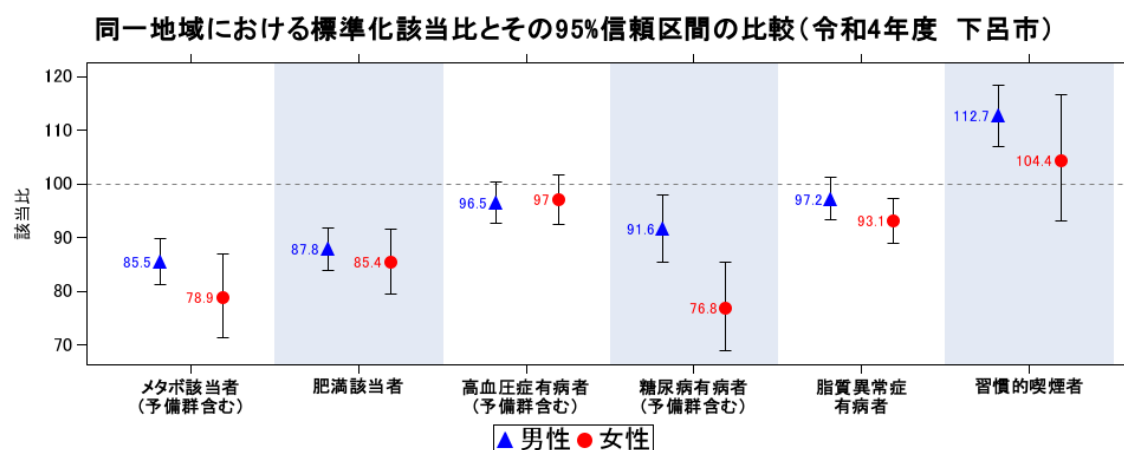
期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



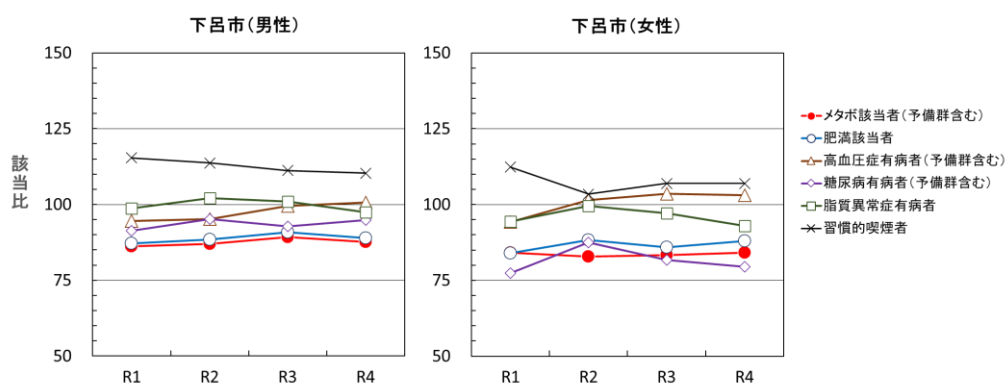
標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性がある。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体(基準)よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体(基準)よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

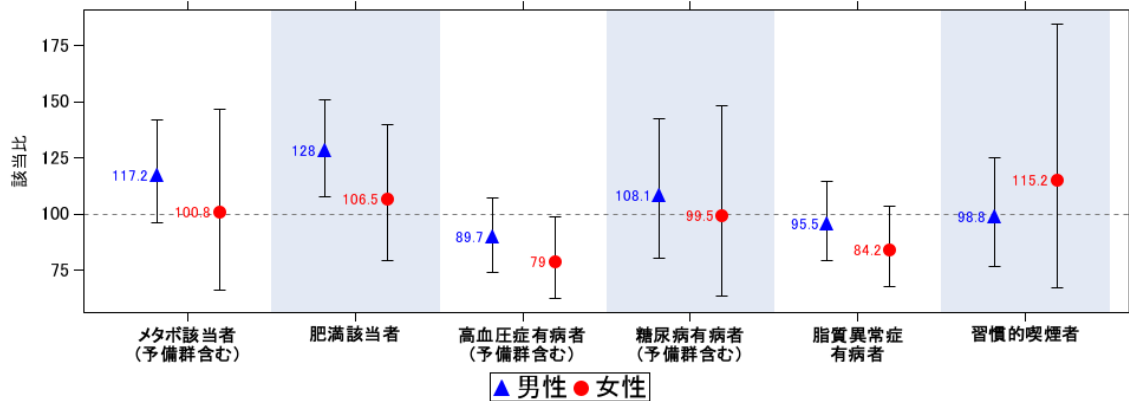
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体(基準)と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体(基準)と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県(全体)の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性があると考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県(全体)の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

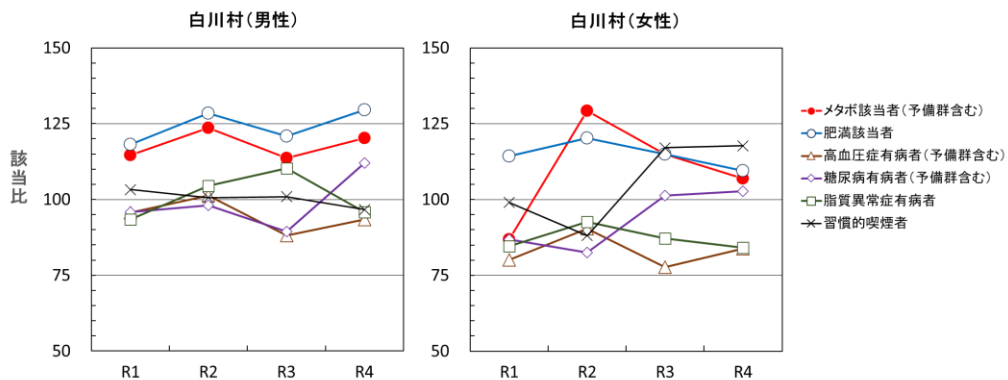
同一地域における標準化該当比とその95%信頼区間の比較(令和4年度 白川村)



期待者数は、当該年度における岐阜県全体での該当者出現率から算出した各市町村での予想該当者数である。標準化該当比は、実際の該当者数をこの期待者数で除し、これに100を乗じたものである。この値が100より大きい場合は、当該市町村における該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも多いことを示す。逆に100より小さい場合は、該当者の数が岐阜県全体（基準）よりも少ないことを示す。図中のエラーバーは標準化該当比の95%信頼区間を示しており、本報告書では、この該当比と95%信頼区間を基に、これらのデータを以下のように4段階に区分している。なお、「有意」とは、統計学的に信頼性が十分に高いことを表している。

- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限<100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に少ない
- 「標準化該当比<100」かつ「信頼区間の上限>=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が少ないが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限<=100」の時・・・
今回の結果では、県全体（基準）と比べて該当者の数が多いが、変動する可能性がある
- 「標準化該当比>100」かつ「信頼区間の下限>100」の時・・・
県全体（基準）と比べて、該当者の数が有意に多い

同一地域における標準化該当比の経年変化



標準化該当比の経年変化をグラフ化した。ただし、基準となる岐阜県（全体）の該当者出現率が各年で変動した場合、その影響を受けて各市町村の標準化該当比も変動する可能性が考えられる。そのため本グラフでは令和元年度における岐阜県（全体）の該当者出現率を基に、各年度の標準化該当比を算出した。

4 医療保険者別集計

(1) 国民健康保険

ア 健診受診者数及び検査項目別平均値

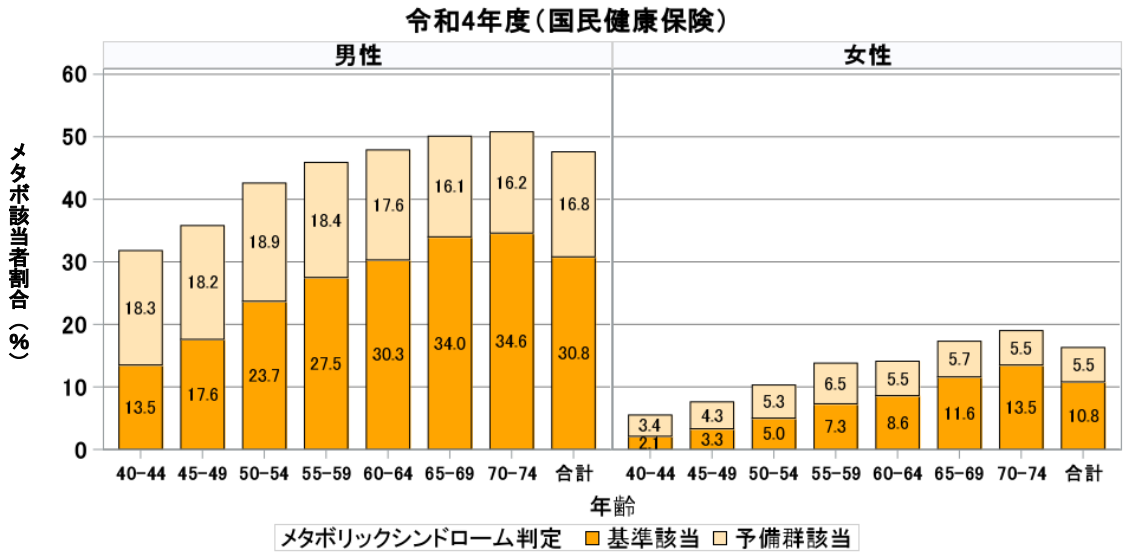
国民健康保険 受診者数

		年代別							合計
		40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	人数	2,436	3,363	3,843	3,466	4,997	11,991	54,035
		割合(%)	4.5	6.2	7.1	6.4	9.3	22.2	100
	女性	人数	2,307	2,989	3,508	3,892	7,714	17,500	67,741
		割合(%)	3.4	4.4	5.2	5.8	11.4	25.8	100
	合計	人数	4,743	6,352	7,351	7,358	12,711	29,491	121,776
		割合(%)	3.9	5.2	6.0	6.0	10.4	24.2	100
令和3年度	男性	人数	2,551	3,658	3,773	3,521	5,024	13,129	57,191
		割合(%)	4.5	6.4	6.6	6.2	8.8	23.0	100
	女性	人数	2,476	3,257	3,647	4,108	8,224	18,546	71,945
		割合(%)	3.4	4.5	5.1	5.7	11.4	25.8	100
	合計	人数	5,027	6,915	7,420	7,629	13,248	31,675	129,136
		割合(%)	3.9	5.4	5.8	5.9	10.3	24.5	100
令和2年度	男性	人数	2,524	3,413	3,275	3,301	4,894	13,251	55,564
		割合(%)	4.5	6.1	5.9	5.9	8.8	23.9	100
	女性	人数	2,310	2,963	3,099	3,909	8,035	18,901	69,475
		割合(%)	3.3	4.3	4.5	5.6	11.6	27.2	100
	合計	人数	4,834	6,376	6,374	7,210	12,929	32,152	125,039
		割合(%)	3.9	5.1	5.1	5.8	10.3	25.7	100

検査項目別平均値（国民健康保険）

		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
BMI	度数	54,035	67,737	57,186	71,941	55,562	69,471
	平均値 (kg/m ²)	23.8	22.3	23.8	22.4	23.7	22.4
	標準偏差 (kg/m ²)	3.4	3.6	3.4	3.6	3.3	3.6
腹囲	度数	54,024	67,733	57,179	71,932	55,558	69,467
	平均値 (cm)	85.8	80.9	85.8	81.1	85.7	81.3
	標準偏差 (cm)	9.3	10.1	9.2	10.0	9.1	9.9
収縮期血圧	度数	54,032	67,740	57,190	71,945	55,563	69,474
	平均値 (mmHg)	129.9	128.3	130.2	128.7	130.4	128.7
	標準偏差 (mmHg)	16.5	17.5	16.5	17.5	16.4	17.2
拡張期血圧	度数	54,030	67,737	57,189	71,943	55,563	69,473
	平均値 (mmHg)	77.6	74.2	77.5	74.4	77.5	74.3
	標準偏差 (mmHg)	11.1	10.7	11.1	10.7	11.0	10.6
中性脂肪	度数	54,025	67,741	57,179	71,942	55,558	69,474
	平均値 (mg/dl)	136.7	109.9	137.9	111.3	138.4	112.1
	標準偏差 (mg/dl)	96.6	64.9	99.1	66.4	98.3	66.2
HDL コレステロール	度数	54,030	67,737	57,182	71,935	55,557	69,470
	平均値 (mg/dl)	57.9	69.3	57.8	68.8	57.8	68.8
	標準偏差 (mg/dl)	15.8	17.1	15.6	16.9	15.9	16.9
LDL コレステロール	度数	53,981	67,715	57,123	71,894	55,508	69,432
	平均値 (mg/dl)	116.2	123.6	117.8	125.1	118.8	126.7
	標準偏差 (mg/dl)	30.0	29.9	30.6	30.5	30.5	30.8
GOT	度数	54,035	67,741	57,189	71,943	55,562	69,473
	平均値 (IU/L)	24.8	22.8	25.4	23.1	25.3	23.1
	標準偏差 (IU/L)	13.0	8.8	13.9	9.5	12.6	9.5
GPT	度数	54,035	67,741	57,189	71,942	55,562	69,474
	平均値 (IU/L)	24.3	18.9	25.0	19.4	24.7	19.2
	標準偏差 (IU/L)	16.3	11.6	17.6	12.3	17.0	12.9
γ-GTP	度数	54,014	67,734	57,162	71,937	55,543	69,464
	平均値 (IU/L)	43.8	25.1	44.6	25.2	45.4	25.2
	標準偏差 (IU/L)	53.5	25.7	55.6	26.2	55.4	25.1
空腹時血糖	度数	35,471	45,503	36,084	45,730	33,558	42,294
	平均値 (mg/dl)	100.1	94.0	100.3	94.1	100.1	94.0
	標準偏差 (mg/dl)	20.7	15.4	21.3	15.7	21.6	16.0
HbA1c	度数	53,563	67,161	56,693	71,321	55,086	68,917
	平均値 (%)	5.8	5.7	5.8	5.7	5.8	5.7
	標準偏差 (%)	0.7	0.6	0.7	0.6	0.7	0.6

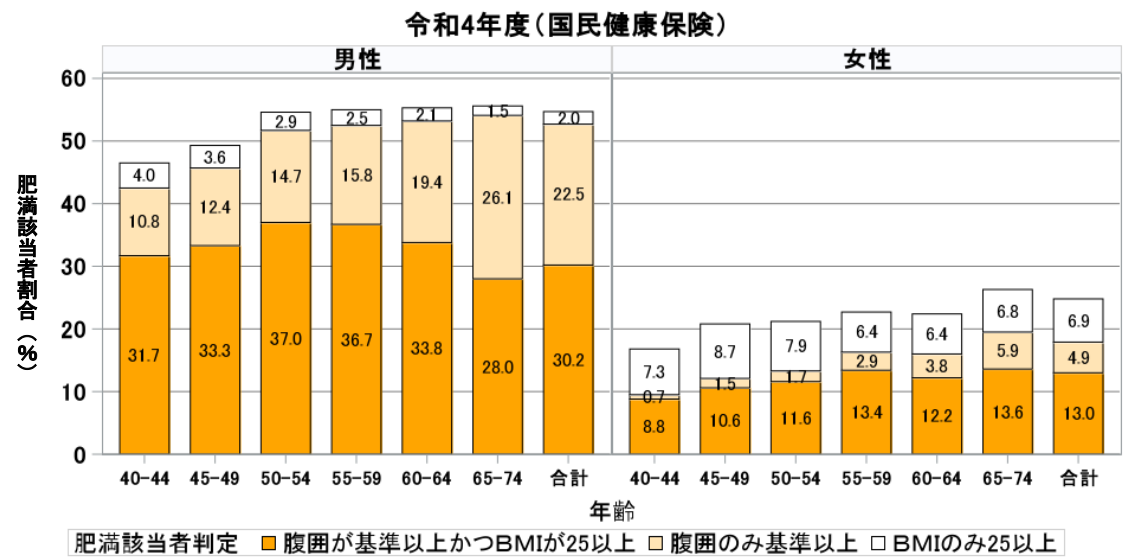
イ 検査項目別該当者割合
○メタボリックシンドローム該当者



メタボリックシンドローム該当者の割合(国民健康保険)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	329	591	910	954	1,516	4,080	8,273	16,653
			割合(%)	13.5	17.6	23.7	27.5	30.3	34.0	34.6	30.8
		予備群該当	人数	445	611	728	637	878	1,925	3,878	9,102
			割合(%)	18.3	18.2	18.9	18.4	17.6	16.1	16.2	16.8
		非該当	人数	1,662	2,161	2,205	1,874	2,602	5,981	11,784	28,269
			割合(%)	68.2	64.3	57.4	54.1	52.1	49.9	49.2	52.3
	女性	合計	人数	2,436	3,363	3,843	3,465	4,996	11,986	23,935	54,024
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		基準該当	人数	48	99	175	284	666	2,025	4,021	7,318
			割合(%)	2.1	3.3	5.0	7.3	8.6	11.6	13.5	10.8
		予備群該当	人数	78	130	187	251	423	991	1,640	3,700
			割合(%)	3.4	4.3	5.3	6.5	5.5	5.7	5.5	5.5
	非該当	人数	2,181	2,760	3,146	3,356	6,625	14,481	24,166	56,715	56,715
		割合(%)	94.5	92.3	89.7	86.3	85.9	82.8	81.0	81.0	83.7
	合計	人数	2,307	2,989	3,508	3,891	7,714	17,497	29,827	67,733	67,733
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

○肥満該当者

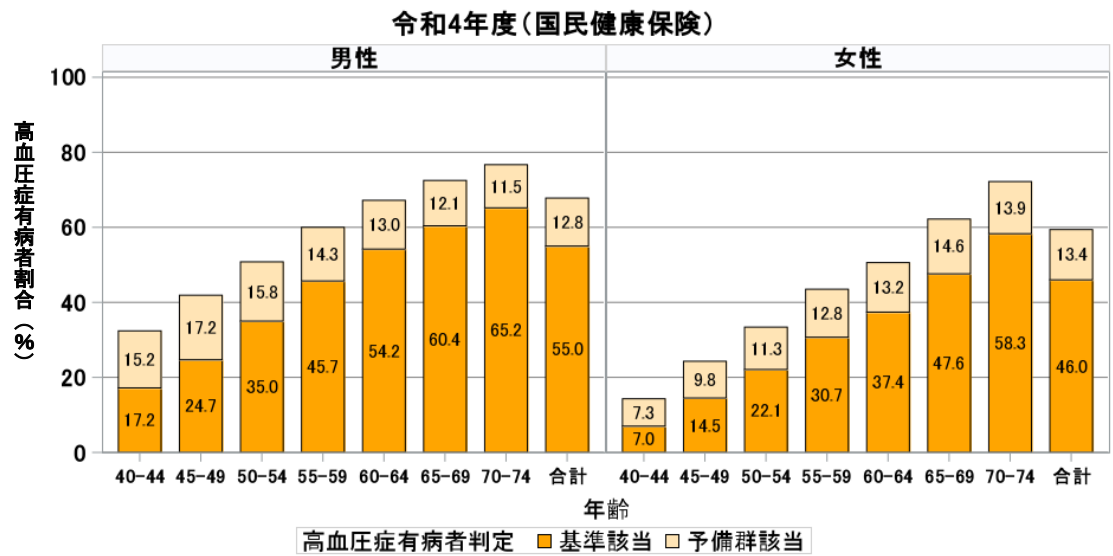


肥満該当者の割合(国民健康保険)

				年代別						合計	
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	※65-74歳		
令和4年度	男性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	98	122	112	87	105	534	1,058
				割合(%)	4	3.6	2.9	2.5	2.1	1.5	2
			腹囲のみ基準以上	人数	263	416	565	549	971	9,369	12,133
				割合(%)	10.8	12.4	14.7	15.8	19.4	26.1	22.5
		腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	772	1,119	1,422	1,272	1,689	10,051	16,325	
			割合(%)	31.7	33.3	37	36.7	33.8	28	30.2	
		非該当	人数	1,303	1,706	1,744	1,557	2,231	15,967	24,508	
			割合(%)	53.5	50.7	45.4	44.9	44.7	44.5	45.4	
		合計	人数	2,436	3,363	3,843	3,465	4,996	35,921	54,024	
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	女性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	169	260	278	248	494	3,215	4,664
				割合(%)	7.3	8.7	7.9	6.4	6.4	6.8	6.9
			腹囲のみ基準以上	人数	17	44	61	111	295	2,811	3,339
				割合(%)	0.7	1.5	1.7	2.9	3.8	5.9	4.9
		腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	202	316	408	521	939	6,449	8,835	
			割合(%)	8.8	10.6	11.6	13.4	12.2	13.6	13	
		非該当	人数	1,919	2,368	2,761	3,011	5,986	34,847	50,892	
			割合(%)	83.2	79.3	78.7	77.4	77.6	73.6	75.1	
		合計	人数	2,307	2,988	3,508	3,891	7,714	47,322	67,730	
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位としないよう、ここでは65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

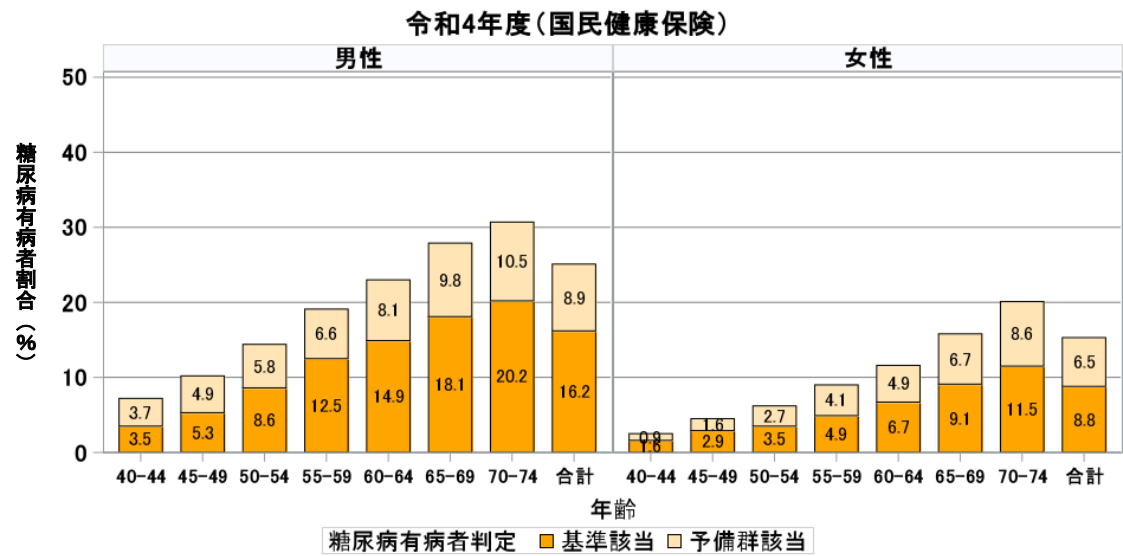
○高血圧症有病者



高血圧症有病者の割合(国民健康保険)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	420	832	1,345	1,583	2,708	7,243	15,604	29,735
			割合 (%)	17.2	24.7	35.0	45.7	54.2	60.4	65.2	55.0
		予備群該当	人数	370	577	607	495	649	1,456	2,745	6,899
			割合 (%)	15.2	17.2	15.8	14.3	13.0	12.1	11.5	12.8
		非該当	人数	1,646	1,954	1,891	1,388	1,640	3,291	5,589	17,399
			割合 (%)	67.6	58.1	49.2	40.0	32.8	27.4	23.3	32.2
		合計	人数	2,436	3,363	3,843	3,466	4,997	11,990	23,938	54,033
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女性	基準該当	人数	161	434	774	1,194	2,887	8,337	17,390	31,177
			割合 (%)	7.0	14.5	22.1	30.7	37.4	47.6	58.3	46.0
		予備群該当	人数	168	293	397	498	1,020	2,554	4,143	9,073
			割合 (%)	7.3	9.8	11.3	12.8	13.2	14.6	13.9	13.4
		非該当	人数	1,978	2,262	2,337	2,200	3,807	6,609	8,297	27,490
			割合 (%)	85.7	75.7	66.6	56.5	49.4	37.8	27.8	40.6
		合計	人数	2,307	2,989	3,508	3,892	7,714	17,500	29,830	67,740
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

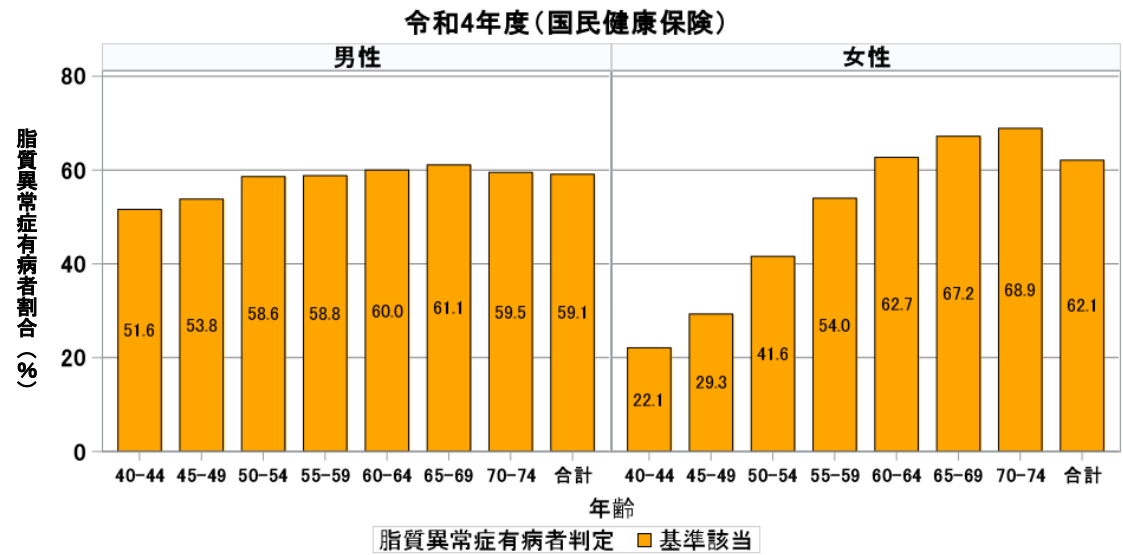
○糖尿病有病者



糖尿病有病者の割合(国民健康保険)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	86	177	329	434	742	2,166	4,827	8,761
			割合(%)	3.5	5.3	8.6	12.5	14.9	18.1	20.2	16.2
		予備群該当	人数	89	165	222	227	405	1,172	2,512	4,792
			割合(%)	3.7	4.9	5.8	6.6	8.1	9.8	10.5	8.9
		非該当	人数	2,260	3,017	3,286	2,801	3,843	8,640	16,576	40,423
			割合(%)	92.8	89.8	85.6	80.9	77.0	72.1	69.3	74.9
	女性	基準該当	人数	36	86	124	192	517	1,585	3,420	5,960
			割合(%)	1.6	2.9	3.5	4.9	6.7	9.1	11.5	8.8
		予備群該当	人数	21	48	93	159	379	1,169	2,557	4,426
			割合(%)	0.9	1.6	2.7	4.1	4.9	6.7	8.6	6.5
		非該当	人数	2,248	2,850	3,288	3,535	6,807	14,725	23,825	57,278
			割合(%)	97.5	95.5	93.8	91.0	88.4	84.2	79.9	84.7
	合計	人数	人数	2,305	2,984	3,505	3,886	7,703	17,479	29,802	67,664
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

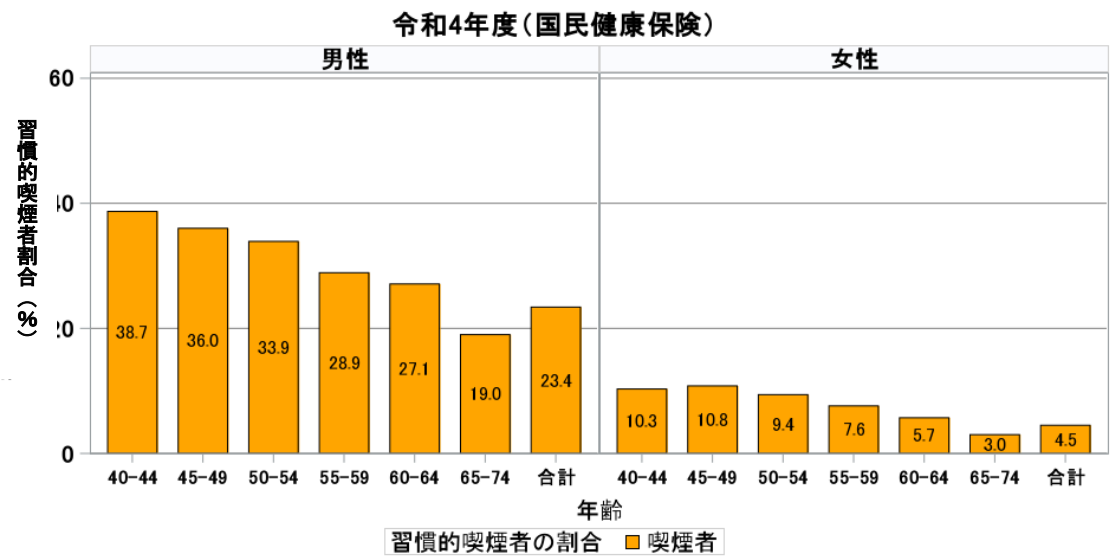
○脂質異常症有病者



脂質異常症有病者の割合(国民健康保険)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	1,257	1,809	2,253	2,038	2,995	7,324	14,240	31,916
			割合(%)	51.6	53.8	58.6	58.8	60.0	61.1	59.5	59.1
		非該当	人数	1,179	1,553	1,590	1,428	2,000	4,661	9,688	22,099
			割合(%)	48.4	46.2	41.4	41.2	40.0	38.9	40.5	40.9
	合計	人数	2,436	3,362	3,843	3,466	4,995	11,985	23,928	54,015	
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	女性	基準該当	人数	511	875	1,460	2,103	4,834	11,766	20,542	42,091
			割合(%)	22.1	29.3	41.6	54.0	62.7	67.2	68.9	62.1
非該当		人数	1,796	2,114	2,048	1,789	2,879	5,733	9,288	25,647	
		割合(%)	77.9	70.7	58.4	46.0	37.3	32.8	31.1	37.9	
合計		人数	2,307	2,989	3,508	3,892	7,713	17,499	29,830	67,738	
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

○習慣的喫煙者



習慣的喫煙者の割合(国民健康保険)

				年代別						合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	※65-74歳	
令和4年度	男性	喫煙者	人数	943	1,209	1,303	1,000	1,355	6,816	12,626
			割合(%)	38.7	36.0	33.9	28.9	27.1	19.0	23.4
		非喫煙者	人数	1,493	2,154	2,540	2,466	3,642	29,114	41,409
			割合(%)	61.3	64.0	66.1	71.1	72.9	81.0	76.6
		合計	人数	2,436	3,363	3,843	3,466	4,997	35,930	54,035
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女性	喫煙者	人数	237	322	329	297	437	1,413	3,035
			割合(%)	10.3	10.8	9.4	7.6	5.7	3.0	4.5
		非喫煙者	人数	2,070	2,667	3,179	3,595	7,277	45,918	64,706
			割合(%)	89.7	89.2	90.6	92.4	94.3	97.0	95.5
		合計	人数	2,307	2,989	3,508	3,892	7,714	47,331	67,741
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、ここでは65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

(2) 協会けんぽ（全国健康保険協会岐阜支部）

ア 健診受診者及び検査項目別平均値

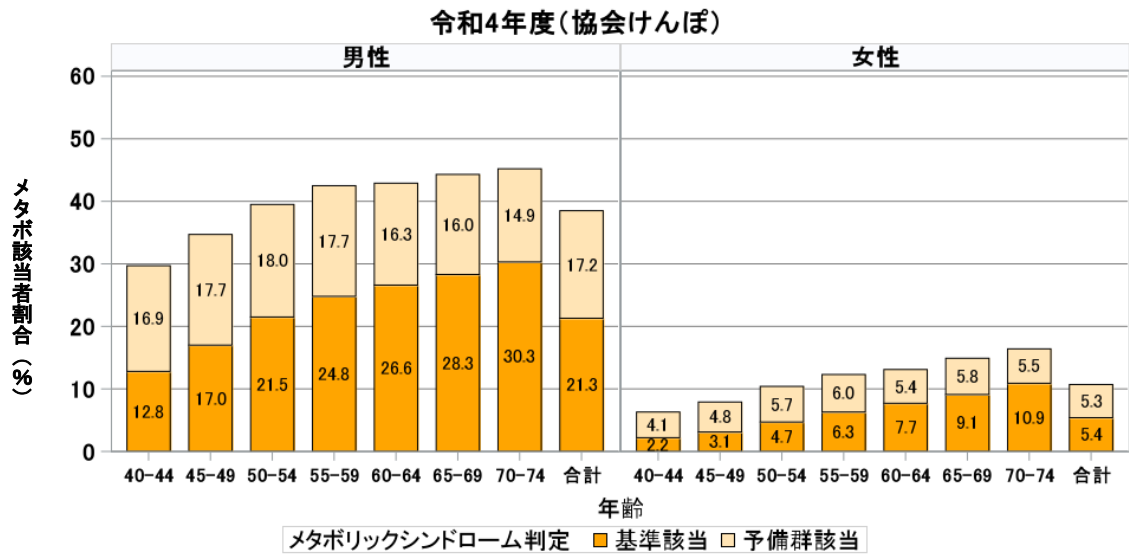
協会けんぽ 受診者数

			年代別							合計
			40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	人数	20,684	26,226	25,705	20,571	16,915	10,835	5,971	126,907
		割合(%)	16.3	20.7	20.3	16.2	13.3	8.5	4.7	100
	女性	人数	13,146	17,077	18,124	15,978	13,108	7,776	4,260	89,469
		割合(%)	14.7	19.1	20.3	17.9	14.7	8.7	4.8	100
	合計	人数	33,830	43,303	43,829	36,549	30,023	18,611	10,231	216,376
		割合(%)	15.6	20.0	20.3	16.9	13.9	8.6	4.7	100
令和3年度	男性	人数	21,684	26,633	24,384	19,531	17,454	11,621	5,967	127,274
		割合(%)	17.0	20.9	19.2	15.4	13.7	9.1	4.7	100
	女性	人数	14,574	19,100	18,951	16,767	14,434	8,103	4,249	96,178
		割合(%)	15.2	19.9	19.7	17.4	15.0	8.4	4.4	100
	合計	人数	36,258	45,733	43,335	36,298	31,888	19,724	10,216	223,452
		割合(%)	16.2	20.5	19.4	16.2	14.3	8.8	4.6	100
令和2年度	男性	人数	21,486	25,654	21,485	18,853	16,297	10,626	5,196	119,597
		割合(%)	18.0	21.5	18.0	15.8	13.6	8.9	4.3	100
	女性	人数	14,063	18,152	16,880	15,928	12,985	7,191	3,672	88,871
		割合(%)	15.8	20.4	19.0	17.9	14.6	8.1	4.1	100
	合計	人数	35,549	43,806	38,365	34,781	29,282	17,817	8,868	208,468
		割合(%)	17.1	21.0	18.4	16.7	14.1	8.6	4.3	100

検査項目別平均値（協会けんぽ）

		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
BMI	度数	126,907	89,468	127,274	96,176	119,597	88,870
	平均値 (kg/m ²)	24.1	22.3	24.1	22.3	24.2	22.3
	標準偏差 (kg/m ²)	3.8	4.0	3.7	3.9	3.7	3.9
腹囲	度数	126,905	89,463	127,270	96,174	119,595	88,866
	平均値 (cm)	84.9	78.7	84.9	78.7	85.0	78.8
	標準偏差 (cm)	10.0	10.3	10.0	10.2	9.9	10.1
収縮期血圧	度数	126,906	89,469	127,274	96,178	119,597	88,871
	平均値 (mmHg)	128.2	122.5	128.2	122.2	128.5	122.2
	標準偏差 (mmHg)	17.0	17.9	17.1	17.9	17.1	17.8
拡張期血圧	度数	126,904	89,469	127,267	96,176	119,592	88,871
	平均値 (mmHg)	80.4	74.2	80.3	74.0	80.5	74.0
	標準偏差 (mmHg)	11.7	11.5	11.7	11.5	11.7	11.4
中性脂肪	度数	126,848	89,446	127,233	96,160	119,552	88,852
	平均値 (mg/dl)	129.6	91.6	130.7	91.9	134.3	92.2
	標準偏差 (mg/dl)	102.5	60.7	102.3	60.7	106.5	61.3
HDL コレステロール	度数	126,868	89,450	127,249	96,164	119,577	88,857
	平均値 (mg/dl)	58.9	72.4	58.8	72.3	58.7	72.3
	標準偏差 (mg/dl)	15.7	17.3	15.7	17.2	15.7	17.4
LDL コレステロール	度数	126,856	89,449	127,203	96,071	119,569	88,855
	平均値 (mg/dl)	124.4	124.3	126.0	125.8	126.8	126.4
	標準偏差 (mg/dl)	31.7	31.3	32.1	31.7	32.2	31.9
GOT	度数	126,868	89,450	127,250	96,163	119,577	88,856
	平均値 (IU/L)	24.2	21.1	24.6	21.2	24.8	21.1
	標準偏差 (IU/L)	12.7	9.2	12.6	9.9	13.4	9.5
GPT	度数	126,866	89,444	127,251	96,158	119,576	88,857
	平均値 (IU/L)	27.5	18.8	28.4	19.0	28.6	18.7
	標準偏差 (IU/L)	19.0	12.9	20.0	14.1	20.4	13.1
γ-GTP	度数	126,832	89,442	127,209	96,157	119,532	88,852
	平均値 (IU/L)	46.2	25.2	47.0	25.0	48.6	25.0
	標準偏差 (IU/L)	54.1	27.1	55.1	27.9	57.7	27.6
空腹時血糖	度数	97,883	64,411	98,474	70,486	92,514	64,417
	平均値 (mg/dl)	100.3	92.7	100.4	92.6	100.4	92.6
	標準偏差 (mg/dl)	21.6	14.7	22.1	14.7	22.5	14.9
HbA1c	度数	97,427	69,548	97,342	74,373	91,105	68,937
	平均値 (%)	5.7	5.6	5.7	5.6	5.7	5.6
	標準偏差 (%)	0.8	0.5	0.8	0.5	0.8	0.5

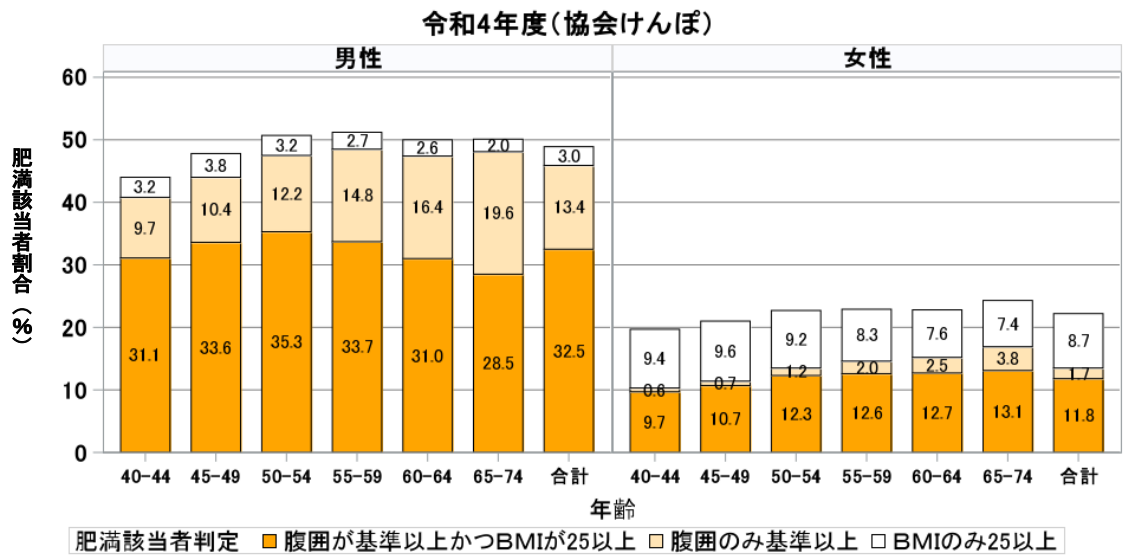
イ 検査項目別該当者割合
○メタボリックシンドローム該当者



メタボリックシンドローム該当者の割合(協会けんぽ)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	2,638	4,458	5,522	5,102	4,495	3,069	1,806	27,090
			割合(%)	12.8	17.0	21.5	24.8	26.6	28.3	30.3	21.3
		予備群該当	人数	3,489	4,644	4,626	3,632	2,754	1,738	890	21,773
			割合(%)	16.9	17.7	18.0	17.7	16.3	16.0	14.9	17.2
	女性	非該当	人数	14,557	17,123	15,557	11,837	9,666	6,027	3,274	78,041
			割合(%)	70.4	65.3	60.5	57.5	57.1	55.6	54.8	61.5
		合計	人数	20,684	26,225	25,705	20,571	16,915	10,834	5,970	126,904
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
令和4年度	女性	基準該当	人数	292	527	859	1,008	1,014	705	465	4,870
			割合(%)	2.2	3.1	4.7	6.3	7.7	9.1	10.9	5.4
		予備群該当	人数	545	818	1,040	952	712	454	234	4,755
			割合(%)	4.1	4.8	5.7	6.0	5.4	5.8	5.5	5.3
	女性	非該当	人数	12,304	15,732	16,225	14,018	11,381	6,617	3,561	79,838
			割合(%)	93.6	92.1	89.5	87.7	86.8	85.1	83.6	89.2
		合計	人数	13,141	17,077	18,124	15,978	13,107	7,776	4,260	89,463
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

○肥満該当者

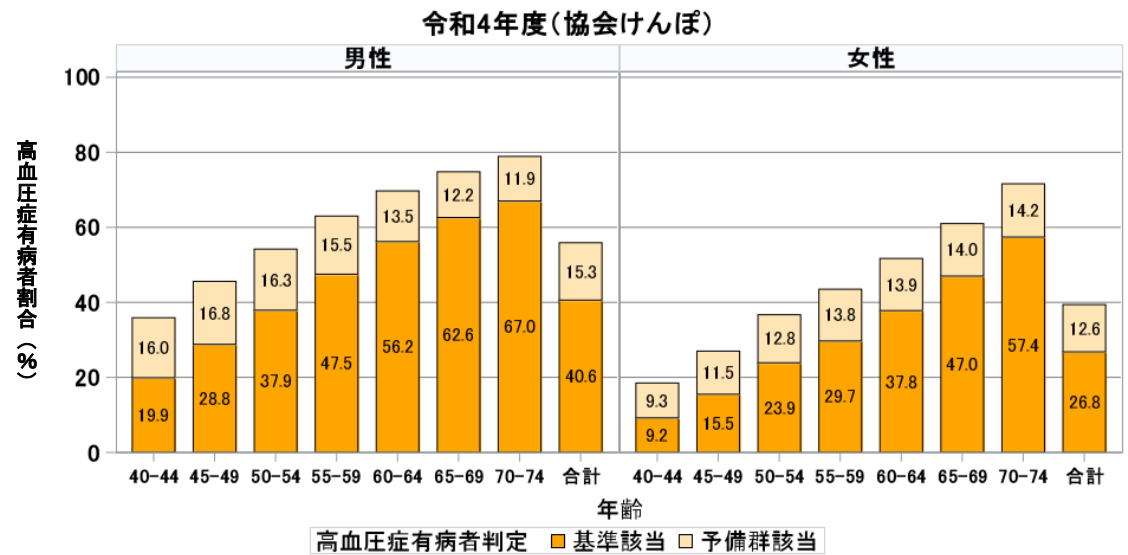


肥満該当者の割合(協会けんぽ)

					年代別						合計
					40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	※65-74歳	
令和4年度	男性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	655	998	825	552	432	333	3,795
				割合(%)	3.2	3.8	3.2	2.7	2.6	2	3
		腹囲のみ基準以上	人数	2,002	2,739	3,136	3,047	2,778	3,296	16,998	
			割合(%)	9.7	10.4	12.2	14.8	16.4	19.6	13.4	
		腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	6,424	8,819	9,082	6,941	5,250	4,782	41,298	
			割合(%)	31.1	33.6	35.3	33.7	31	28.5	32.5	
		非該当	人数	11,603	13,669	12,662	10,031	8,455	8,394	64,814	
			割合(%)	56.1	52.1	49.3	48.8	50	49.9	51.1	
		合計	人数	20,684	26,225	25,705	20,571	16,915	16,805	126,905	
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	女性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	1,235	1,640	1,669	1,320	997	893	7,754
				割合(%)	9.4	9.6	9.2	8.3	7.6	7.4	8.7
		腹囲のみ基準以上	人数	74	128	217	325	325	453	1,522	
			割合(%)	0.6	0.7	1.2	2	2.5	3.8	1.7	
		腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	1,273	1,824	2,236	2,017	1,664	1,573	10,587	
			割合(%)	9.7	10.7	12.3	12.6	12.7	13.1	11.8	
		非該当	人数	10,559	13,484	14,002	12,316	10,121	9,117	69,599	
			割合(%)	80.4	79	77.3	77.1	77.2	75.7	77.8	
		合計	人数	13,141	17,076	18,124	15,978	13,107	12,036	89,462	
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、この年代は65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

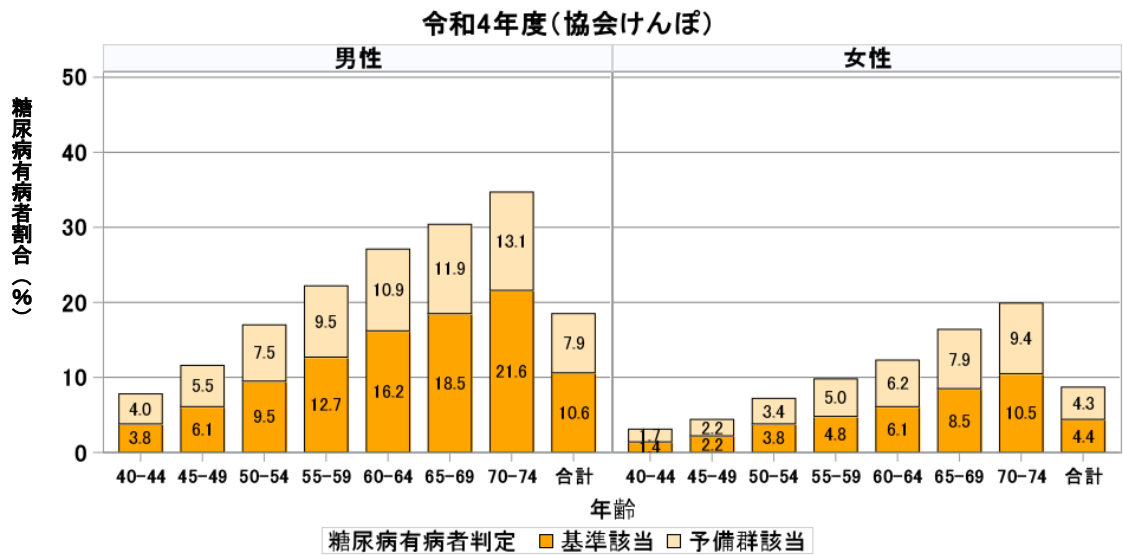
○高血圧症有病者



高血圧症有病者の割合(協会けんぽ)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	4,111	7,546	9,739	9,773	9,504	6,787	4,003	51,463
			割合 (%)	19.9	28.8	37.9	47.5	56.2	62.6	67.0	40.6
		予備群該当	人数	3,303	4,400	4,195	3,182	2,285	1,319	708	19,392
			割合 (%)	16.0	16.8	16.3	15.5	13.5	12.2	11.9	15.3
	女性	非該当	人数	13,270	14,280	11,771	7,616	5,126	2,729	1,260	56,052
			割合 (%)	64.2	54.4	45.8	37.0	30.3	25.2	21.1	44.2
		合計	人数	20,684	26,226	25,705	20,571	16,915	10,835	5,971	126,907
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
令和4年度	女性	基準該当	人数	1,211	2,653	4,336	4,753	4,959	3,658	2,445	24,015
			割合 (%)	9.2	15.5	23.9	29.7	37.8	47.0	57.4	26.8
		予備群該当	人数	1,220	1,960	2,327	2,209	1,828	1,086	604	11,234
			割合 (%)	9.3	11.5	12.8	13.8	13.9	14.0	14.2	12.6
	女性	非該当	人数	10,715	12,464	11,461	9,016	6,321	3,032	1,211	54,220
			割合 (%)	81.5	73.0	63.2	56.4	48.2	39.0	28.4	60.6
		合計	人数	13,146	17,077	18,124	15,978	13,108	7,776	4,260	89,469
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

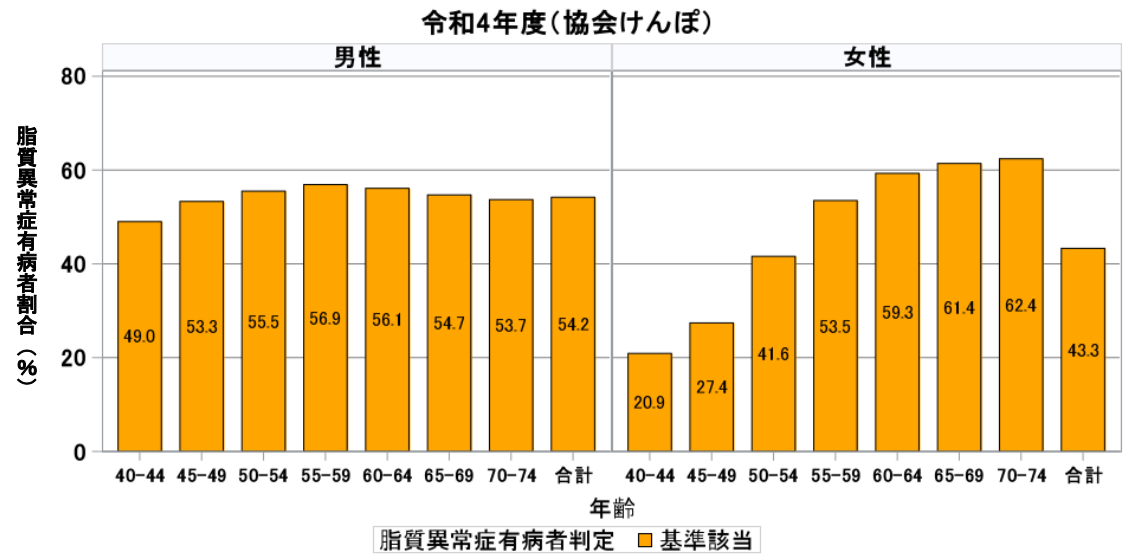
○糖尿病有病者



糖尿病有病者の割合(協会けんぽ)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	779	1,580	2,432	2,594	2,722	1,989	1,282	13,378
			割合(%)	3.8	6.1	9.5	12.7	16.2	18.5	21.6	10.6
		予備群該当	人数	823	1,440	1,907	1,949	1,824	1,276	776	9,995
			割合(%)	4.0	5.5	7.5	9.5	10.9	11.9	13.1	7.9
		非該当	人数	18,945	23,044	21,216	15,896	12,242	7,501	3,866	102,710
			割合(%)	92.2	88.4	83.0	77.8	72.9	69.7	65.3	81.5
	女性	基準該当	人数	179	373	675	762	799	650	440	3,878
			割合(%)	1.4	2.2	3.8	4.8	6.1	8.5	10.5	4.4
		予備群該当	人数	217	372	609	795	811	605	393	3,802
			割合(%)	1.7	2.2	3.4	5.0	6.2	7.9	9.4	4.3
		非該当	人数	12,655	16,193	16,711	14,303	11,383	6,418	3,341	81,004
			割合(%)	97.0	95.6	92.9	90.2	87.6	83.6	80.0	91.3
	合計	人数	13,051	16,938	17,995	15,860	12,993	7,673	4,174	88,684	
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

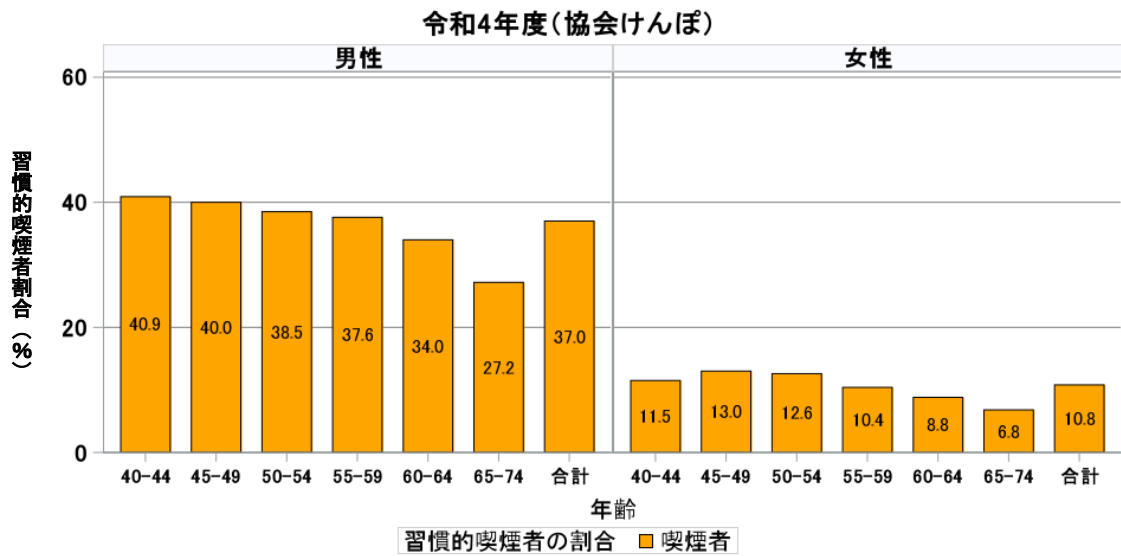
○脂質異常症有病者



脂質異常症有病者の割合(協会けんぽ)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	10,126	13,984	14,273	11,705	9,489	5,923	3,204	68,704
			割合(%)	49.0	53.3	55.5	56.9	56.1	54.7	53.7	54.2
		非該当	人数	10,548	12,237	11,430	8,856	7,422	4,909	2,763	58,165
			割合(%)	51.0	46.7	44.5	43.1	43.9	45.3	46.3	45.8
	女性	基準該当	人数	2,747	4,677	7,534	8,544	7,772	4,774	2,659	38,707
			割合(%)	20.9	27.4	41.6	53.5	59.3	61.4	62.4	43.3
		非該当	人数	10,396	12,397	10,587	7,433	5,330	2,999	1,600	50,742
			割合(%)	79.1	72.6	58.4	46.5	40.7	38.6	37.6	56.7
	合計	人数	13,143	17,074	18,121	15,977	13,102	7,773	4,259		89,449
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

○習慣的喫煙者



習慣的喫煙者の割合(協会けんぽ)

				年代別						合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	*65-74歳	
令和4年度	男性	喫煙者	人数	8,456	10,492	9,905	7,728	5,755	4,565	46,901
			割合(%)	40.9	40.0	38.5	37.6	34.0	27.2	37.0
		非喫煙者	人数	12,228	15,734	15,800	12,843	11,160	12,241	80,006
			割合(%)	59.1	60.0	61.5	62.4	66.0	72.8	63.0
		合計	人数	20,684	26,226	25,705	20,571	16,915	16,806	126,907
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女性	喫煙者	人数	1,509	2,213	2,276	1,660	1,157	813	9,628
			割合(%)	11.5	13.0	12.6	10.4	8.8	6.8	10.8
		非喫煙者	人数	11,637	14,864	15,848	14,318	11,951	11,223	79,841
			割合(%)	88.5	87.0	87.4	89.6	91.2	93.2	89.2
		合計	人数	13,146	17,077	18,124	15,978	13,108	12,036	89,469
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、ここでは65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

(3) 健保組合

ア 健診受診者及び検査項目別平均値

健保組合 受診者数

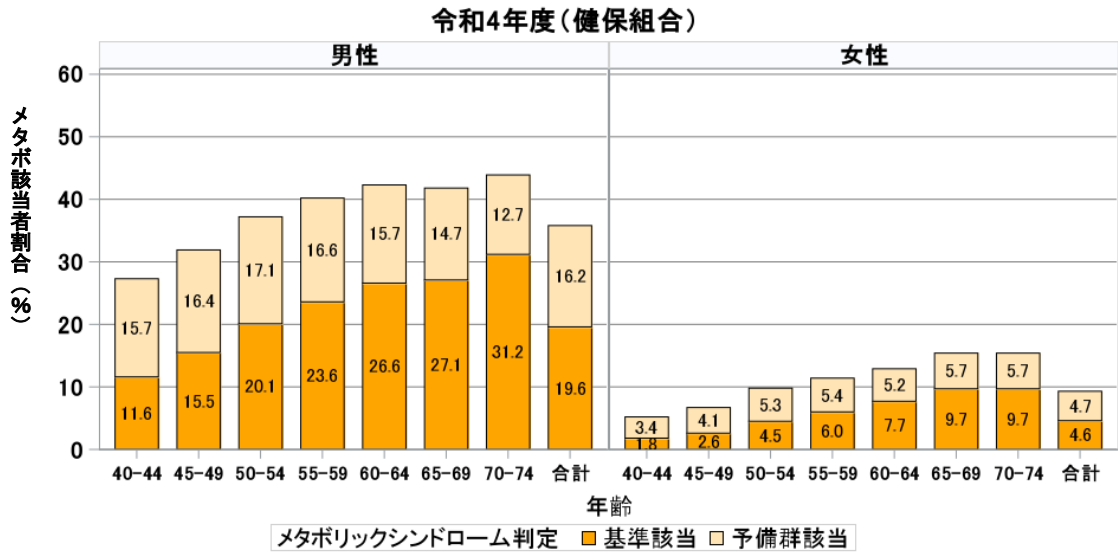
			年代別							合計
			40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	人数	11,252	13,085	13,369	11,282	8,212	2,880	1,094	61,174
		割合(%)	18.4	21.4	21.9	18.4	13.4	4.7	1.8	100
	女性	人数	7,073	8,784	9,723	7,807	5,224	1,744	815	41,170
		割合(%)	17.2	21.3	23.6	19.0	12.7	4.2	2.0	100
	合計	人数	18,325	21,869	23,092	19,089	13,436	4,624	1,909	102,344
		割合(%)	17.9	21.4	22.6	18.7	13.1	4.5	1.9	100
令和3年度	男性	人数	11,686	13,930	13,564	11,196	7,866	2,912	1,075	62,229
		割合(%)	18.8	22.4	21.8	18.0	12.6	4.7	1.7	100
	女性	人数	7,258	9,117	9,490	7,352	4,791	1,688	831	40,527
		割合(%)	17.9	22.5	23.4	18.1	11.8	4.2	2.1	100
	合計	人数	18,944	23,047	23,054	18,548	12,657	4,600	1,906	102,756
		割合(%)	18.4	22.4	22.4	18.1	12.3	4.5	1.9	100
令和2年度	男性	人数	12,036	14,244	13,030	11,295	7,676	2,855	952	62,088
		割合(%)	19.4	22.9	21.0	18.2	12.4	4.6	1.5	100
	女性	人数	7,353	9,169	8,660	7,261	4,391	1,621	761	39,216
		割合(%)	18.8	23.4	22.1	18.5	11.2	4.1	1.9	100
	合計	人数	19,389	23,413	21,690	18,556	12,067	4,476	1,713	101,304
		割合(%)	19.1	23.1	21.4	18.3	11.9	4.4	1.7	100

検査項目別平均値（健保組合）

		男性	女性	男性	女性	男性	女性
		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
		度数	平均値	度数	平均値	度数	平均値
BMI	度数	61,172	41,169	62,228	40,526	62,087	39,216
	平均値 (kg/m ²)	24.0	22.1	24.0	22.1	24.1	22.2
	標準偏差 (kg/m ²)	3.6	3.9	3.6	3.9	3.6	3.9
腹囲	度数	61,171	41,155	62,225	40,519	62,081	39,208
	平均値 (cm)	84.5	78.0	84.5	78.0	84.6	78.1
	標準偏差 (cm)	9.7	10.2	9.6	10.1	9.5	10.0
収縮期血圧	度数	61,172	41,161	62,229	40,525	62,080	39,213
	平均値 (mmHg)	126.0	120.5	126.0	120.2	126.4	120.5
	標準偏差 (mmHg)	16.0	17.7	16.1	17.6	16.2	17.6
拡張期血圧	度数	61,169	41,161	62,228	40,525	62,080	39,213
	平均値 (mmHg)	79.7	73.4	79.5	73.1	79.8	73.4
	標準偏差 (mmHg)	11.4	11.7	11.4	11.6	11.5	11.7
中性脂肪	度数	61,161	41,154	62,205	40,517	62,072	39,207
	平均値 (mg/dl)	125.0	87.1	125.3	86.2	128.8	86.7
	標準偏差 (mg/dl)	95.0	55.8	94.8	54.6	99.6	55.2
HDL コレステロール	度数	61,168	41,156	62,213	40,511	62,079	39,207
	平均値 (mg/dl)	59.3	73.0	59.1	73.1	59.0	73.1
	標準偏差 (mg/dl)	15.5	17.3	15.5	17.3	15.6	17.3
LDL コレステロール	度数	61,160	41,153	62,204	40,507	62,070	39,204
	平均値 (mg/dl)	124.9	124.0	125.9	124.9	127.0	125.6
	標準偏差 (mg/dl)	30.6	30.6	30.9	31.1	31.0	31.3
GOT	度数	61,168	41,164	62,215	40,518	62,078	39,210
	平均値 (IU/L)	23.7	20.5	24.1	20.7	24.3	20.6
	標準偏差 (IU/L)	11.2	8.1	11.5	9.1	11.7	8.8
GPT	度数	61,167	41,164	62,216	40,516	62,078	39,209
	平均値 (IU/L)	27.5	18.3	28.3	18.3	28.6	18.2
	標準偏差 (IU/L)	19.3	13.0	19.8	12.4	20.2	13.1
γ-GTP	度数	61,153	41,163	62,201	40,516	62,056	39,209
	平均値 (IU/L)	44.4	24.4	44.9	24.2	46.2	24.1
	標準偏差 (IU/L)	50.6	26.2	50.4	26.8	51.5	25.3
空腹時血糖	度数	48,390	33,759	49,779	33,511	49,488	32,677
	平均値 (mg/dl)	100.0	92.5	99.7	92.7	99.6	92.6
	標準偏差 (mg/dl)	19.3	13.3	19.2	13.7	19.4	14.0
HbA1c	度数	60,026	40,088	61,069	39,395	60,831	38,112
	平均値 (%)	5.7	5.6	5.6	5.5	5.6	5.5
	標準偏差 (%)	0.7	0.5	0.7	0.5	0.7	0.5

イ 検査項目別該当者割合

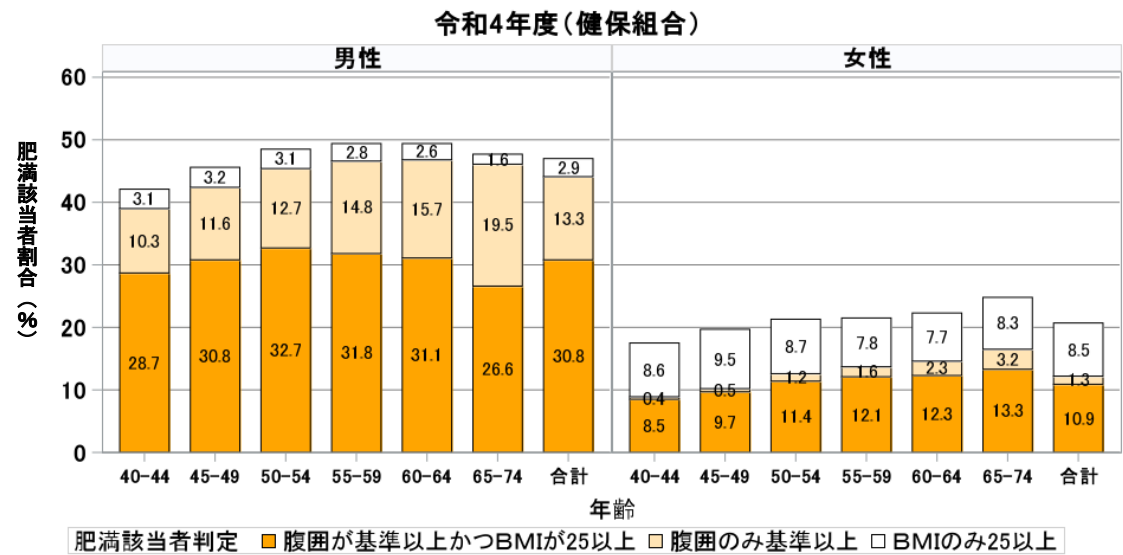
○メタボリックシンドローム該当者



メタボリックシンドローム該当者の割合(健保組合)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	1,310	2,026	2,692	2,660	2,188	780	341	11,997
			割合 (%)	11.6	15.5	20.1	23.6	26.6	27.1	31.2	19.6
		予備群該当	人数	1,764	2,147	2,280	1,877	1,287	423	139	9,917
			割合 (%)	15.7	16.4	17.1	16.6	15.7	14.7	12.7	16.2
		非該当	人数	8,177	8,912	8,396	6,745	4,736	1,677	614	39,257
			割合 (%)	72.7	68.1	62.8	59.8	57.7	58.2	56.1	64.2
		合計	人数	11,251	13,085	13,368	11,282	8,211	2,880	1,094	61,171
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女性	基準該当	人数	129	232	434	468	401	169	79	1,912
			割合 (%)	1.8	2.6	4.5	6.0	7.7	9.7	9.7	4.6
		予備群該当	人数	243	358	518	419	270	99	46	1,953
			割合 (%)	3.4	4.1	5.3	5.4	5.2	5.7	5.7	4.7
		非該当	人数	6,694	8,189	8,771	6,918	4,553	1,475	689	37,289
			割合 (%)	94.7	93.3	90.2	88.6	87.2	84.6	84.6	90.6
		合計	人数	7,066	8,779	9,723	7,805	5,224	1,743	814	41,154
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

○肥満該当者

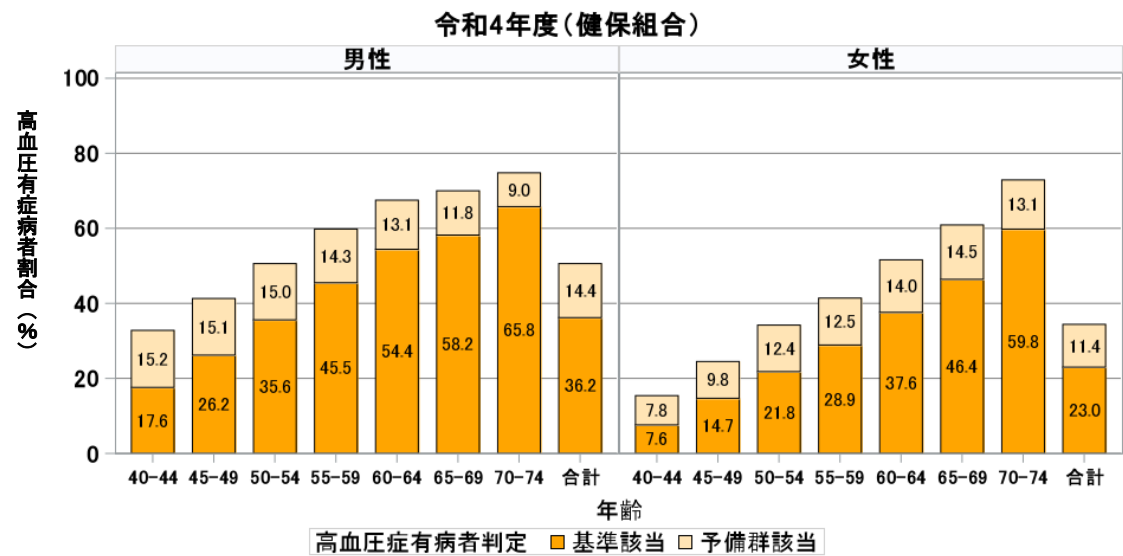


肥満該当者の割合（健保組合）

				年代別						合計	
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	※65-74歳		
令和4年度	男性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	344	425	416	312	215	65	1,777
				割合(%)	3.1	3.2	3.1	2.8	2.6	1.6	2.9
			腹囲のみ基準以上	人数	1,159	1,519	1,703	1,673	1,293	776	8,123
				割合(%)	10.3	11.6	12.7	14.8	15.7	19.5	13.3
		腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	3,228	4,027	4,377	3,587	2,555	1,057	18,831	
			割合(%)	28.7	30.8	32.7	31.8	31.1	26.6	30.8	
		非該当	人数	6,520	7,112	6,872	5,710	4,148	2,076	32,438	
	割合(%)		58	54.4	51.4	50.6	50.5	52.2	53		
	合計		人数	11,251	13,083	13,368	11,282	8,211	3,974	61,169	
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	女性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	607	836	849	610	400	212	3,514
				割合(%)	8.6	9.5	8.7	7.8	7.7	8.3	8.5
			腹囲のみ基準以上	人数	31	45	118	125	118	82	519
				割合(%)	0.4	0.5	1.2	1.6	2.3	3.2	1.3
			腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	603	848	1,107	946	642	341	4,487
				割合(%)	8.5	9.7	11.4	12.1	12.3	13.3	10.9
			非該当	人数	5,825	7,050	7,649	6,123	4,064	1,923	32,634
割合(%)				82.4	80.3	78.7	78.5	77.8	75.2	79.3	
合計		人数	7,066	8,779	9,723	7,804	5,224	2,558	41,154		
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、ここでは65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

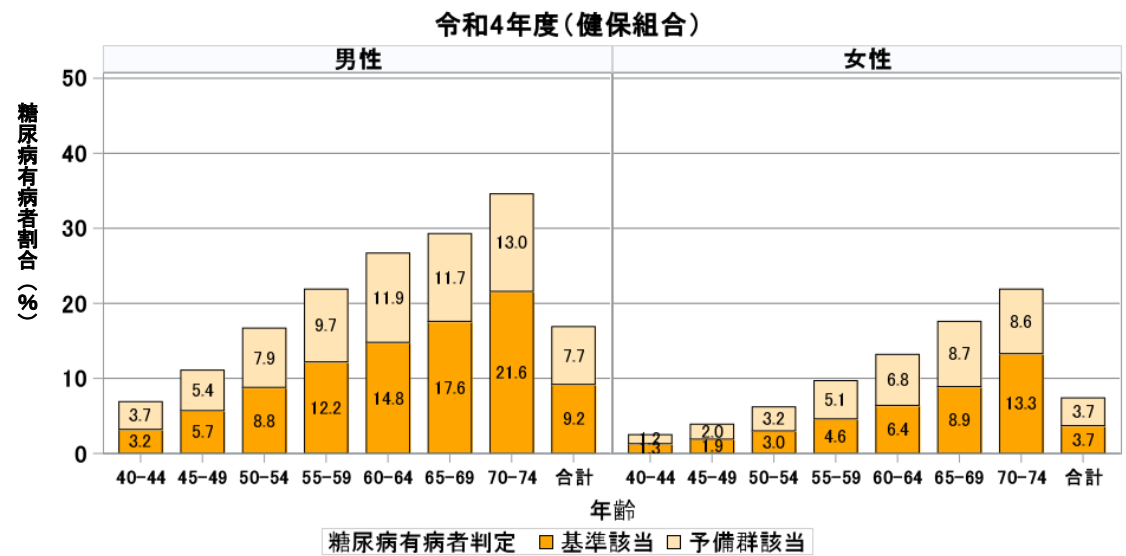
○高血圧症有病者



高血圧症有病者の割合(健保組合)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	1,984	3,430	4,760	5,135	4,467	1,675	720	22,171
			割合 (%)	17.6	26.2	35.6	45.5	54.4	58.2	65.8	36.2
		予備群該当	人数	1,706	1,978	2,001	1,608	1,076	339	99	8,807
			割合 (%)	15.2	15.1	15.0	14.3	13.1	11.8	9.0	14.4
		非該当	人数	7,562	7,676	6,608	4,539	2,669	865	275	30,194
			割合 (%)	67.2	58.7	49.4	40.2	32.5	30.0	25.1	49.4
		合計	人数	11,252	13,084	13,369	11,282	8,212	2,879	1,094	61,172
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女性	基準該当	人数	540	1,289	2,120	2,256	1,965	809	487	9,466
			割合 (%)	7.6	14.7	21.8	28.9	37.6	46.4	59.8	23.0
		予備群該当	人数	552	862	1,209	978	731	253	107	4,692
			割合 (%)	7.8	9.8	12.4	12.5	14.0	14.5	13.1	11.4
		非該当	人数	5,981	6,633	6,393	4,571	2,526	681	221	27,006
			割合 (%)	84.6	75.5	65.8	58.6	48.4	39.1	27.1	65.6
		合計	人数	7,073	8,784	9,722	7,805	5,222	1,743	815	41,164
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

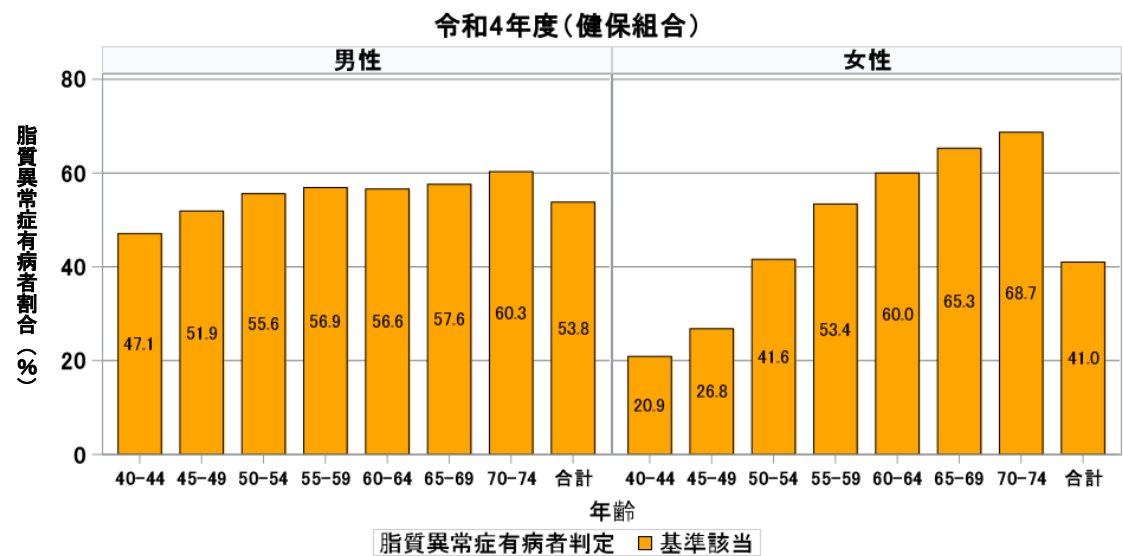
○糖尿病有病者



糖尿病有病者の割合(健保組合)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	360	739	1,172	1,371	1,216	506	236	5,600
			割合(%)	3.2	5.7	8.8	12.2	14.8	17.6	21.6	9.2
		予備群該当	人数	420	702	1,055	1,090	979	337	142	4,725
			割合(%)	3.7	5.4	7.9	9.7	11.9	11.7	13.0	7.7
		非該当	人数	10,452	11,625	11,126	8,808	6,005	2,028	715	50,759
			割合(%)	93.1	89.0	83.3	78.2	73.2	70.6	65.4	83.1
	合計	人数	11,232	13,066	13,353	11,269	8,200	2,871	1,093	61,084	
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	女性	基準該当	人数	90	169	292	359	334	154	108	1,506
			割合(%)	1.3	1.9	3.0	4.6	6.4	8.9	13.3	3.7
		予備群該当	人数	85	178	307	394	353	151	70	1,538
			割合(%)	1.2	2.0	3.2	5.1	6.8	8.7	8.6	3.7
非該当		人数	6,889	8,415	9,102	7,033	4,521	1,433	634	38,027	
		割合(%)	97.5	96.0	93.8	90.3	86.8	82.5	78.1	92.6	
合計	人数	7,064	8,762	9,701	7,786	5,208	1,738	812	41,071		
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

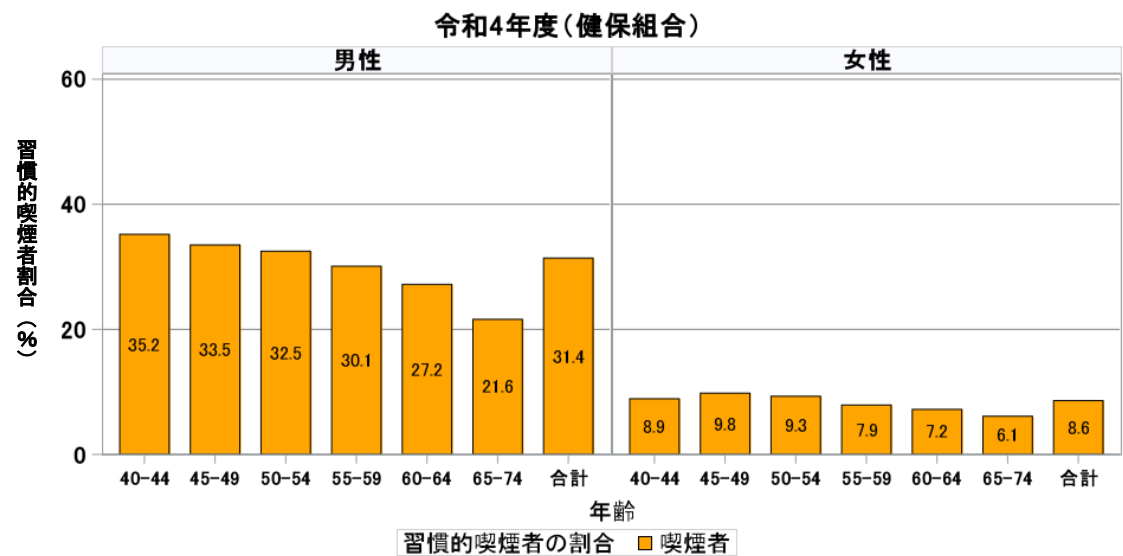
○脂質異常症有病者



脂質異常症有病者の割合(健保組合)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	5,296	6,796	7,430	6,422	4,645	1,658	659	32,906
			割合(%)	47.1	51.9	55.6	56.9	56.6	57.6	60.3	53.8
		非該当	人数	5,953	6,288	5,938	4,859	3,567	1,221	434	28,260
			割合(%)	52.9	48.1	44.4	43.1	43.4	42.4	39.7	46.2
	女性	基準該当	人数	11,249	13,084	13,368	11,281	8,212	2,879	1,093	61,166
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		非該当	人数	1,479	2,352	4,044	4,169	3,130	1,137	559	16,870
			割合(%)	20.9	26.8	41.6	53.4	60.0	65.3	68.7	41.0

○習慣的喫煙者



習慣的喫煙者の割合(健保組合)

				年代別						合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	*65-74歳	
令和4年度	男性	喫煙者	人数	3,963	4,386	4,344	3,397	2,234	859	19,183
			割合(%)	35.2	33.5	32.5	30.1	27.2	21.6	31.4
		非喫煙者	人数	7,288	8,697	9,024	7,885	5,978	3,115	41,987
			割合(%)	64.8	66.5	67.5	69.9	72.8	78.4	68.6
	女性	喫煙者	人数	630	859	903	614	374	157	3,537
			割合(%)	8.9	9.8	9.3	7.9	7.2	6.1	8.6
		非喫煙者	人数	6,442	7,925	8,819	7,193	4,850	2,402	37,631
			割合(%)	91.1	90.2	90.7	92.1	92.8	93.9	91.4
	合計	人数	人数	7,072	8,784	9,722	7,807	5,224	2,559	41,168
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、ここでは65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

(4) 共済組合

ア 健診受診者及び検査項目別平均値

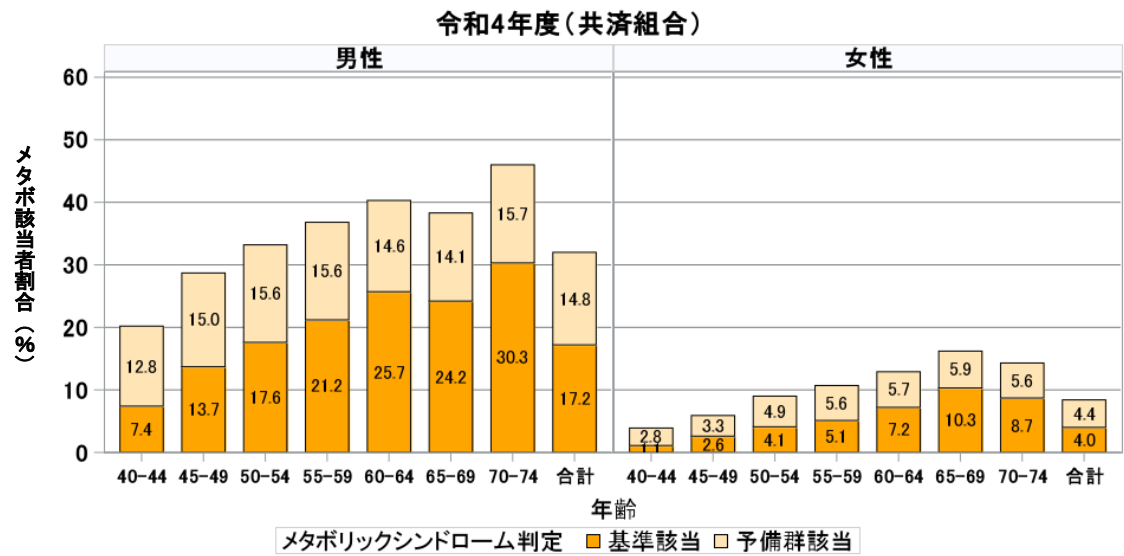
共済組合 受診者数

		年代別							合計
		40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	人数	3,543	4,743	5,188	4,508	2,874	703	21,744
		割合(%)	16.3	21.8	23.9	20.7	13.2	3.2	100
	女性	人数	3,416	4,349	4,752	3,765	2,048	437	19,019
		割合(%)	18.0	22.9	25.0	19.8	10.8	2.3	100
	合計	人数	6,959	9,092	9,940	8,273	4,922	1,140	40,763
		割合(%)	17.1	22.3	24.4	20.3	12.1	2.8	100
令和3年度	男性	人数	3,833	5,128	5,119	4,731	2,868	620	22,468
		割合(%)	17.1	22.8	22.8	21.1	12.8	2.8	100
	女性	人数	3,613	4,744	4,656	3,898	1,882	394	19,442
		割合(%)	18.6	24.4	24.0	20.1	9.7	2.0	100
	合計	人数	7,446	9,872	9,775	8,629	4,750	1,014	41,910
		割合(%)	17.8	23.6	23.3	20.6	11.3	2.4	100
令和2年度	男性	人数	3,977	5,321	4,946	4,860	2,728	532	22,509
		割合(%)	17.7	23.6	22.0	21.6	12.1	2.4	100
	女性	人数	3,576	4,795	4,224	3,720	1,738	331	18,632
		割合(%)	19.2	25.7	22.7	20.0	9.3	1.8	100
	合計	人数	7,553	10,116	9,170	8,580	4,466	863	41,141
		割合(%)	18.4	24.6	22.3	20.9	10.9	2.1	100

検査項目別平均値（共済組合）

		男性	女性	男性	女性	男性	女性
		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
BMI	度数	21,743	19,018	22,468	19,442	22,509	18,632
	平均値 (kg/m ²)	24.0	22.0	24.0	22.1	24.0	22.1
	標準偏差 (kg/m ²)	3.5	3.8	3.5	3.8	3.5	3.8
腹囲	度数	21,742	19,011	22,466	19,424	22,509	18,615
	平均値 (cm)	84.0	77.9	84.0	77.9	84.1	78.0
	標準偏差 (cm)	9.4	10.0	9.3	9.9	9.2	9.9
収縮期血圧	度数	21,744	19,019	22,467	19,433	22,508	18,623
	平均値 (mmHg)	123.6	116.8	123.7	116.7	124.2	117.1
	標準偏差 (mmHg)	15.5	16.4	15.8	16.6	15.6	16.3
拡張期血圧	度数	21,744	19,019	22,466	19,432	22,507	18,622
	平均値 (mmHg)	78.4	71.4	78.5	71.3	78.8	71.5
	標準偏差 (mmHg)	11.5	11.4	11.4	11.4	11.4	11.3
中性脂肪	度数	21,739	19,017	22,465	19,439	22,505	18,631
	平均値 (mg/dl)	121.1	85.0	121.6	84.2	123.2	82.8
	標準偏差 (mg/dl)	89.6	51.2	87.5	52.0	92.4	51.8
HDL コレステロール	度数	21,742	19,017	22,467	19,441	22,506	18,631
	平均値 (mg/dl)	59.4	72.5	59.0	72.5	58.8	72.4
	標準偏差 (mg/dl)	15.2	16.7	15.2	16.6	15.1	16.6
LDL コレステロール	度数	21,739	19,014	22,466	19,439	22,505	18,630
	平均値 (mg/dl)	124.8	123.3	125.6	123.3	126.8	123.6
	標準偏差 (mg/dl)	30.3	30.3	30.7	30.5	30.9	30.7
GOT	度数	21,742	19,017	22,466	19,441	22,507	18,631
	平均値 (IU/L)	23.9	20.5	24.2	20.6	24.2	20.4
	標準偏差 (IU/L)	11.7	9.1	11.4	8.4	11.5	8.3
GPT	度数	21,742	19,017	22,466	19,441	22,507	18,631
	平均値 (IU/L)	27.6	18.5	28.1	18.3	28.3	18.0
	標準偏差 (IU/L)	20.1	14.5	19.4	12.8	19.8	12.9
γ-GTP	度数	21,735	19,017	22,458	19,441	22,501	18,631
	平均値 (IU/L)	42.7	23.4	43.4	23.1	43.9	22.6
	標準偏差 (IU/L)	49.3	24.5	48.8	24.5	48.0	24.1
空腹時血糖	度数	19,493	16,407	19,727	16,506	19,633	15,536
	平均値 (mg/dl)	99.0	92.5	99.0	92.3	99.5	92.6
	標準偏差 (mg/dl)	17.9	12.8	18.3	13.1	18.9	12.9
HbA1c	度数	20,231	17,917	21,037	18,408	20,982	17,590
	平均値 (%)	5.7	5.6	5.6	5.5	5.7	5.6
	標準偏差 (%)	0.6	0.5	0.7	0.5	0.7	0.5

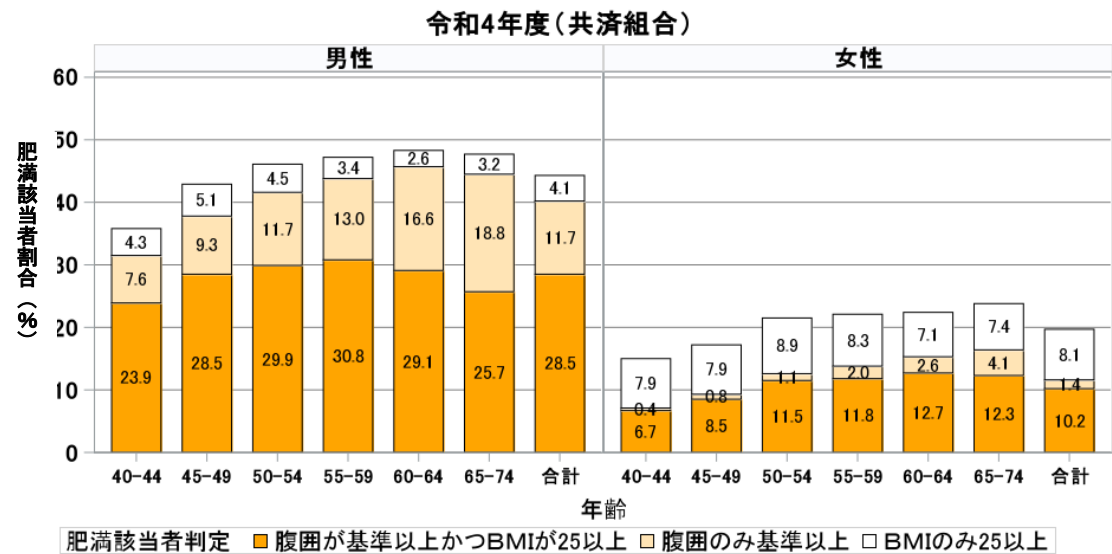
イ 検査項目別該当者割合
○メタボリックシンドローム該当者



メタボリックシンドローム該当者の割合(共済組合)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	263	649	911	957	738	170	56	3,744
			割合 (%)	7.4	13.7	17.6	21.2	25.7	24.2	30.3	17.2
		予備群該当	人数	452	710	810	702	420	99	29	3,222
			割合 (%)	12.8	15.0	15.6	15.6	14.6	14.1	15.7	14.8
		非該当	人数	2,828	3,384	3,467	2,849	1,714	434	100	14,776
			割合 (%)	79.8	71.3	66.8	63.2	59.7	61.7	54.1	68.0
	女性	合計	人数	3,543	4,743	5,188	4,508	2,872	703	185	21,742
			割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		基準該当	人数	37	112	195	193	148	45	22	752
			割合 (%)	1.1	2.6	4.1	5.1	7.2	10.3	8.7	4.0
		予備群該当	人数	94	144	233	210	116	26	14	837
			割合 (%)	2.8	3.3	4.9	5.6	5.7	5.9	5.6	4.4
	非該当	人数	3,284	4,092	4,324	3,361	1,779	366	216	17,422	17,422
		割合 (%)	96.2	94.1	91.0	89.3	87.1	83.8	85.7	91.6	91.6
	合計	人数	3,415	4,348	4,752	3,764	2,043	437	252	19,011	19,011
		割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

○肥満該当者

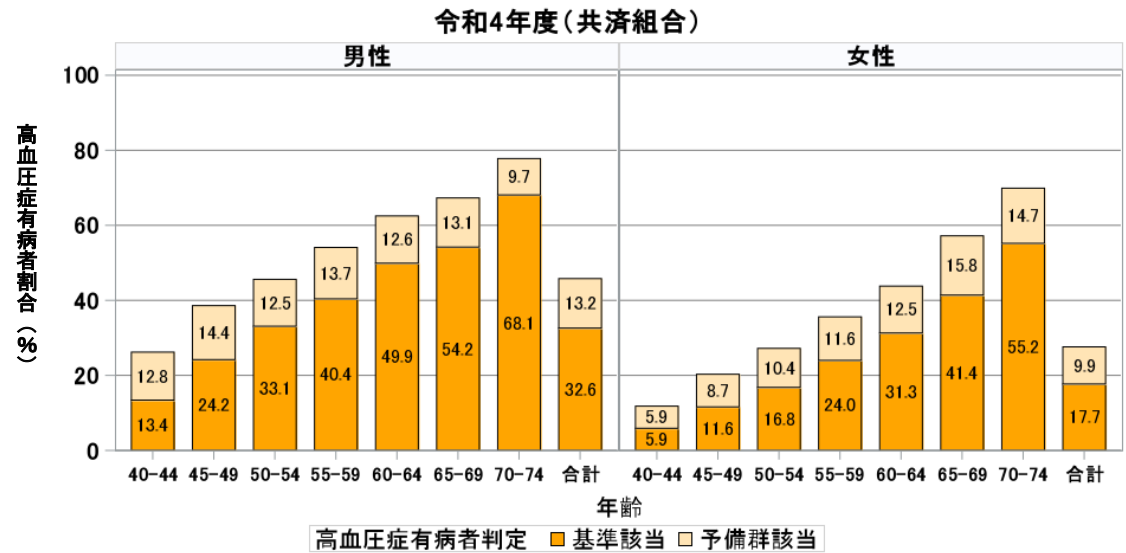


肥満該当者の割合（共済組合）

				年代別						合計	
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	※65-74歳		
令和4年度	男性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	151	243	233	152	74	28	881
			割合(%)	4.3	5.1	4.5	3.4	2.6	3.2	4.1	
		腹囲のみ基準以上	人数	268	440	606	585	476	167	2,542	
			割合(%)	7.6	9.3	11.7	13	16.6	18.8	11.7	
		腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	848	1,354	1,552	1,388	835	228	6,205	
			割合(%)	23.9	28.5	29.9	30.8	29.1	25.7	28.5	
		非該当		人数	2,276	2,706	2,797	2,383	1,486	465	12,113
				割合(%)	64.2	57.1	53.9	52.9	51.8	52.4	55.7
		合計		人数	3,543	4,743	5,188	4,508	2,871	888	21,741
				割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女性	肥満該当	BMIのみ25以上	人数	268	342	424	311	146	51	1,542
			割合(%)	7.9	7.9	8.9	8.3	7.1	7.4	8.1	
		腹囲のみ基準以上	人数	13	36	51	75	54	28	257	
			割合(%)	0.4	0.8	1.1	2	2.6	4.1	1.4	
		腹囲が基準以上かつBMIが25以上	人数	229	368	547	443	260	85	1,932	
			割合(%)	6.7	8.5	11.5	11.8	12.7	12.3	10.2	
		非該当		人数	2,904	3,602	3,730	2,935	1,583	525	15,279
				割合(%)	85.1	82.8	78.5	78	77.5	76.2	80.4
		合計		人数	3,414	4,348	4,752	3,764	2,043	689	19,010
				割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

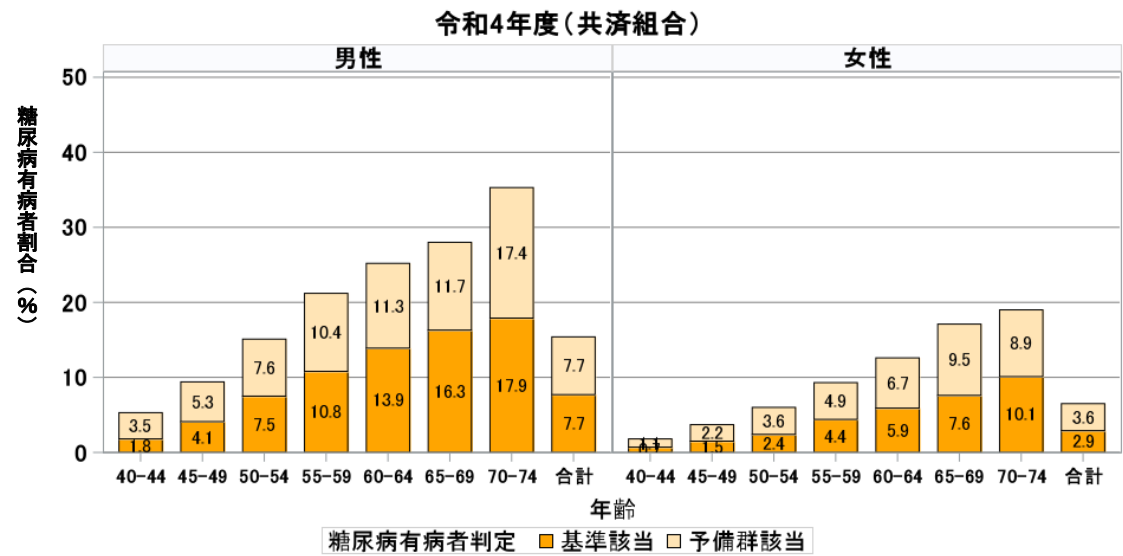
※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、ここでは65歳から74歳までの集計結果を表示しています。

○高血圧症有病者



高血圧症有病者の割合(共済組合)												
				年代別								合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳		
令和4年度	男性	基準該当	人数	474	1,146	1,716	1,820	1,433	381	126	7,096	
			割合 (%)	13.4	24.2	33.1	40.4	49.9	54.2	68.1	32.6	
		予備群該当	人数	454	683	651	619	362	92	18	2,879	
			割合 (%)	12.8	14.4	12.5	13.7	12.6	13.1	9.7	13.2	
		非該当	人数	2,615	2,914	2,821	2,069	1,079	230	41	11,769	
			割合 (%)	73.8	61.4	54.4	45.9	37.5	32.7	22.2	54.1	
	合計	人数	3,543	4,743	5,188	4,508	2,874	703	185	21,744		
		割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	女性	基準該当	人数	200	505	797	904	640	181	139	3,366	
			割合 (%)	5.9	11.6	16.8	24.0	31.3	41.4	55.2	17.7	
		予備群該当	人数	200	379	496	436	257	69	37	1,874	
			割合 (%)	5.9	8.7	10.4	11.6	12.5	15.8	14.7	9.9	
非該当		人数	3,016	3,465	3,459	2,425	1,151	187	76	13,779		
		割合 (%)	88.3	79.7	72.8	64.4	56.2	42.8	30.2	72.4		
合計	人数	3,416	4,349	4,752	3,765	2,048	437	252	19,019			
	割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			

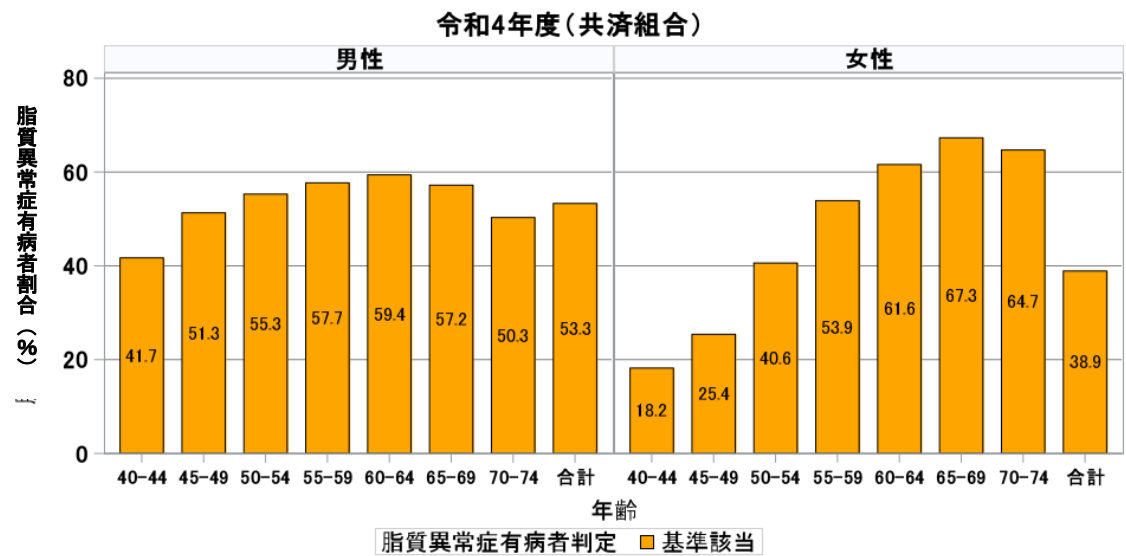
○糖尿病有病者



糖尿病有病者の割合(共済組合)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	64	196	388	484	398	114	33	1,677
			割合 (%)	1.8	4.1	7.5	10.8	13.9	16.3	17.9	7.7
		予備群該当	人数	122	253	393	466	324	82	32	1,672
			割合 (%)	3.5	5.3	7.6	10.4	11.3	11.7	17.4	7.7
		非該当	人数	3,346	4,287	4,403	3,550	2,145	505	119	18,355
			割合 (%)	94.7	90.5	84.9	78.9	74.8	72.0	64.7	84.6
	女性	基準該当	人数	25	65	114	166	120	33	25	548
			割合 (%)	0.7	1.5	2.4	4.4	5.9	7.6	10.1	2.9
		予備群該当	人数	37	96	172	185	137	41	22	690
			割合 (%)	1.1	2.2	3.6	4.9	6.7	9.5	8.9	3.6
		非該当	人数	3,333	4,165	4,446	3,395	1,785	359	200	17,683
			割合 (%)	98.2	96.3	94.0	90.6	87.4	82.9	81.0	93.5
	合計	人数	3,395	4,326	4,732	3,746	2,042	433	247	18,921	18,921
		割合 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

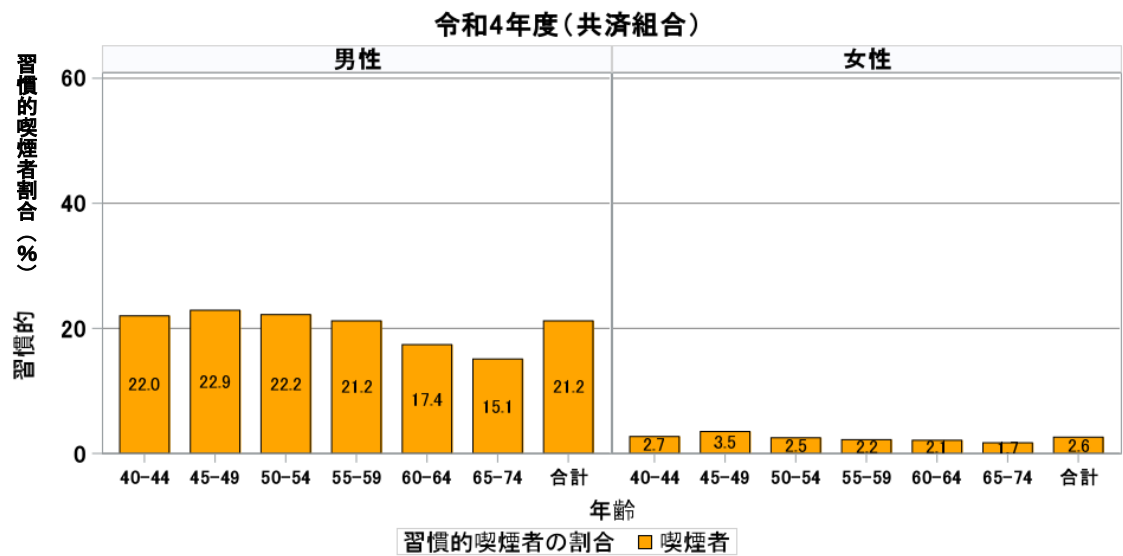
○脂質異常症有病者



脂質異常症有病者の割合(共済組合)

				年代別							合計
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	
令和4年度	男性	基準該当	人数	1,476	2,431	2,870	2,600	1,708	402	93	11,580
			割合(%)	41.7	51.3	55.3	57.7	59.4	57.2	50.3	53.3
		非該当	人数	2,067	2,311	2,317	1,907	1,166	301	92	10,161
			割合(%)	58.3	48.7	44.7	42.3	40.6	42.8	49.7	46.7
		合計	人数	3,543	4,742	5,187	4,507	2,874	703	185	21,741
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女性	基準該当	人数	620	1,106	1,928	2,031	1,262	294	163	7,404
			割合(%)	18.2	25.4	40.6	53.9	61.6	67.3	64.7	38.9
		非該当	人数	2,795	3,243	2,821	1,734	786	143	89	11,611
			割合(%)	81.8	74.6	59.4	46.1	38.4	32.7	35.3	61.1
		合計	人数	3,415	4,349	4,749	3,765	2,048	437	252	19,015
			割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

○習慣的喫煙者



習慣的喫煙者の割合(共済組合)

				年代別						合計	
				40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	※65-74歳		
令和4年度	男性	喫煙者	人数	779	1,086	1,151	954	500	134	4,604	
			割合(%)	22.0	22.9	22.2	21.2	17.4	15.1	21.2	
		非喫煙者	人数	2,764	3,657	4,037	3,554	2,374	754	17,140	
			割合(%)	78.0	77.1	77.8	78.8	82.6	84.9	78.8	
	合計	人数	3,543	4,743	5,188	4,508	2,874	888	21,744		
		割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		女性	喫煙者	人数	93	151	117	81	42	12	496
				割合(%)	2.7	3.5	2.5	2.2	2.1	1.7	2.6
非喫煙者	人数		3,323	4,198	4,635	3,684	2,006	677	18,523		
	割合(%)		97.3	96.5	97.5	97.8	97.9	98.3	97.4		
合計	人数	3,416	4,349	4,752	3,765	2,048	689	19,019			
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			

※「匿名医療保険等関連情報データベース（NDB）の利用に関するガイドライン第3版」（令和6年11月 厚生労働省保険局）に従い、該当者数が10人未満の集計単位とならないよう、ここでは65歳から74歳までの集計結果を表示しています。